

厚生労働科学研究費補助金
厚生労働科学特別研究事業

エビデンスに基づいた診療報酬改定を行うための
レセプトデータ利活用の手法についての研究
(H25 - 特別 - 指定 - 016)

平成25年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 伏見 清秀

平成26(2014)年 3月

目 次

・ 総括研究報告	
エビデンスに基づいた診療報酬改定を行うためのレセプトデータ利活用の 手法についての研究	1
（ H25 - 特別 - 指定 - 016 ）	
伏見 清秀	
・ 分担研究報告	
1 ． 診療報酬改定にレセプトデータを活用するための基礎的研究	7
藤森 研司、石川 ベンジャミン 光一、伏見 清秀、堀口 裕正、井高 貴之	
2 ． サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールの プロトタイプの試作	37
石川 ベンジャミン 光一、堀口 裕正、藤森 研司、井高 貴之	
3 ． レセプトデータ分析システム開発に関する研究	69
堀口 裕正	
4 ． 診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールに係る仕様案の策定と 具体的活用手法の提案	71
松田 晋哉、伏見 清秀、井高 貴之	
・ 研究成果の刊行に関する一覧表	159

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）

総括研究報告書

エビデンスに基づいた診療報酬改定を行うためのレセプトデータ利活用の手法についての
研究

研究代表者	伏見 清秀	東京医科歯科大学大学院	教授
分担研究者	石川ハナツバシ光一	国立がん研究センター	室長
	藤森 研司	東北大学大学院	教授
	松田 晋哉	産業医科大学医学部	教授
	堀口 裕正	国立病院機構本部総合研究センター	主席研究員
研究協力者	井高 貴之	国立病院機構本部総合研究センター	主任研究員

研究要旨：

研究目的

レセプトデータを各種審議会における診療報酬改定等に係る議論を支えるツールとして活用することを目指し、レセプトデータの利活用のためのデータベース・分析ツールを構築することを検討する。そして、実際のレセプトデータを用いてプロトタイプを試作しつつ、データベース・分析ツールに求められる機能要件等の検討、データベースの規模や処理能力の設計、ツールとしての実現可能性や有用性に係る検証等を行い、データベース・分析ツールに係る仕様案を策定することを目的とした。

研究方法

レセプトデータを診療報酬改定に利活用するに当たり、各種審議会資料の確認や厚生労働省へのヒアリング調査を行った。そして、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータ、および厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを分析資料として、求められる機能や機能実現のための具体的手法等を検討した。また、上記の分析資料を用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、データベースの規模や動作の確認、処理能力の設計等の開発に係る各種検討、分析ツールに求められる機能の実現可能性や有用性についての検討を行った。そして、前述までの検討結果を踏まえ、データベース・分析ツールに係る仕様案の策定等を行った。

研究結果

改定に係る作業では、任意の項目に対して BI ツールを用いて柔軟性の高いアドホック分析を行うことが中心となる。集計用のファクトテーブルには多くのディメンションを準備しておく必要があり、また、一部の集計ではディメンション内の項目数が圧倒的に多くなることとなる。一定程度の処理速度を実現するために、事前に準備したファクトテーブルを用いて行う集計と、集計の都度、条件に該当するレセプトを抽出し随時ファクトテー

ブルを作成して行う集計を区別して整理し、処理の効率化と柔軟性を両立する仕組みを提示した。そして、データベース・分析ツールの構築プロセスを整理し、求められる機能を実現するための各種データマート、ファクトテーブルの設計、集計処理の方法論等、具体的手法を示した。

さらに、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータを用いて、データベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、処理プロセスの整理や実際の動作確認とともに、求められている機能の実現可能性があることを確認した。厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて、本データベース・分析ツールで必要となる処理の動作確認を行うとともに、主な処理に要する時間も明らかにした。本来求めている処理速度等を実現するためには、分散処理による方法や、全数データを用いた集計と抽出データで行う集計を区別して実施する方法等が考えられた。

上記の結果を踏まえて、診療報酬改定に係る作業のためのデータベース・分析ツールの仕様案を策定するとともに、本データベース・分析ツールを用いたレセプトデータ分析の応用可能性を検討し、研究や行政等における具体的な活用例を示した。

考察・結論

本研究は、これまでの診療報酬改定に係る作業等を踏まえ、レセプトデータの基本的性質・精度を把握しつつ、NDB に格納されたレセプトデータを活用するための具体的な活用手法を明らかにした。また、NDB データのデータサイズが圧倒的に大きい中、診療報酬改定の作業で非定型の集計が中心となることを踏まえ、効率的かつ簡便に集計するためのビット演算を用いた「算定日 bit」の方法論を提案した。さらに、実際のレセプトデータを用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、一連の処理プロセスの整理や動作確認を行いながら、求められている機能の実現可能性があることを示した。今後のデータベース・分析ツールの構築において、実用化に向けた研究開発を一定程度進めることができ、その意義は大きいと考える。今後、データベース・分析ツールの仕様案にもとづいて実用化に向けた各種検討が進められること、また、本研究の成果を通じて、未だ実績が少ない NDB データを用いた研究や行政等におけるレセプトデータの活用が進み、医療の標準化や質向上に向けた様々な取り組みにも活用されていくことが期待される。

A．研究目的

近年、レセプトの電子化が進み、大部分のレセプトが電子的に収集されレセプト情報・特定健診等情報データベース（以下、「NDB」という。）としてデータベース化されている中、様々な場において医療情報の利活用が提言されている。

従来、保険局医療課では、統計情報部が

所有する社会医療診療行為別調査のデータを特別集計の枠組みで活用し、中医協などの各種審議会にレセプト集計にもとづく調査結果を報告するなどして、エビデンスに基づいた診療報酬改定の遂行に努めてきた。しかしながら、これまでのレセプトデータの利活用は、審議会の議論に対してその都度、調査結果を提出するにとどまり、限定

的かつ受動的なものであった。NDB データを用いた分析の実績も国内で未だ少なく、レセプトデータを診療報酬改定等の議論へ活用するうえでは検討すべき課題が多く残されているのが現状である。

本研究では、レセプトデータを各種審議会における診療報酬改定等に係る議論を支えるツールとして活用することを目指し、診療報酬改定の作業に利活用できるデータベース・分析ツールを構築することを検討する。そして、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータや厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて、実際にプロトタイプを試作しつつ、データベース・分析ツールに求められる機能要件等の検討、データベースの規模や処理能力の設計、ツールとしての実現可能性や有用性に係る検証等を行い、データベース・分析ツールに係る仕様案を策定することを目的とした。

B．研究方法

レセプトデータを診療報酬改定に利活用するに当たり、各種審議会資料の確認や厚生労働省へのヒアリング調査を行い、診療報酬改定の作業プロセスやレセプトデータの特性や限界を明らかにした。そして、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータ、および厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを分析資料として、診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールで必要となるデータ項目や集計・分析内容を整理しながら、求められる機能や機能実現のための具体的手法等を検討した。

また、上記の分析資料を用いて、実際に

データマートやファクトテーブル等のデータベース、Excel/ SQL Server による分析ツールのプロトタイプの試作や各種処理過程における検証等を行い、データベースの規模や動作の確認、処理能力の設計等の開発に係る各種検討、分析ツールに求められる機能の実現可能性や有用性についての検討を行った。

そして、前述までの検討結果を踏まえ、データベース・分析ツールに係る仕様案を策定するとともに、本データベース・分析ツールを用いたレセプトデータ分析の応用可能性を検討した。

（倫理面への配慮）

本研究は「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて行われた。個人情報保護に十分配慮し、構築されたデータベースから個人の特定ができない方式を採用した。また、独立行政法人国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認の下、データの収集・管理には安全管理措置を講じた。

C．研究結果

分担研究報告書に記された各研究者の研究成果を以下に要約する。

1．診療報酬改定にレセプトデータを利用するための基礎的研究

中央社会保険医療協議会等における各種資料の確認や厚生労働省保険局医療課へのヒアリング調査を行い、これまでの診療報酬改定に係る論点や作業スケジュール、現在活用している社会医療診療行為別調査の特別集計の枠組みを把握した。社会医療診療行為別調査の対象は単月の 6 月審査分の

みであり、当該調査データの特別集計ではさらにその一部を抽出したデータを用いているため、NDB の一年間分のデータを用いた集計・分析の意義は大きいと考えられた。

また、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータを用いてレセプトデータの基本的性質・精度を把握し、傷病名の記録の信頼性は一部のデータにおいて必ずしも高くないこと、算定日情報の入力状況は概ね良好であり、算定日単位の集計・分析に用いることが可能であることを明らかにした。

診療報酬改定の検討に当たって求められる絞り込み条件や分析軸、値等の集計内容、必要となるデータ項目を整理するとともに、改定に係る作業では、任意の項目に対して BI ツールを用いて柔軟性の高いアドホック分析を行うことが中心となることを示した。集計用のファクトテーブルには多くのディメンションを準備しておく必要があり、また、各診療報酬の組み合わせや同日算定の状況に関する集計等、一部の集計ではディメンション内の項目数が圧倒的に多くなることとなる。NDB データのデータサイズが圧倒的に大きい中で一定程度の集計処理の速度を実現するため、事前に準備したファクトテーブルを用いて行う集計と、集計の都度、条件に該当するレセプトを抽出し随時ファクトテーブルを作成して行う集計を分けて整理し、処理の効率化と柔軟性を両立する仕組みを提示した。そして、データベース・分析ツールの構築プロセスを「前処理」、「データマート等の作成」、「集計処理」の 3 つに整理し、各種データマート、ファクトテーブルの設計、集計処理の方法論等、求められる機能を実現するための具

体的手法を示した。

2．サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプの試作

まず、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータを用いて、データベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、データマートやファクトテーブルを作成した。そして、Excel/ SQL Server による分析ツールを用いて実際に集計処理を行い、処理プロセスの整理や実際の動作確認とともに、求められている機能の実現可能性があることを確認した。

次に、厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて、同様の処理過程を再現し、本データベース・分析ツールで必要となる処理の動作確認や主な処理に要する時間を明らかにした。実際の診療報酬改定に係る作業を想定した場合、主要なテーブルは一度作成すれば良いことからある程度長時間かかっても問題ないと考えられるが、集計処理は頻回に実施することが想定されるため、比較的短時間で実施できることが望ましい。本来求めている処理速度等を実現するためには、分散処理による方法や、全数データを用いた集計と抽出データで行う集計を区別して実施する方法等も検討し、より一層の処理の効率化を図ることが必要であると考えられた。

3．レセプトデータ分析システム開発に関する研究

レセプトデータの処理に当たって、Excel の PivotTable の処理内容から SQL クエリを作成して実行するシステムを検討し、そ

の実現可能性について検証した。システムとして想定したものは開発できたものの、処理速度については満足な結果が得られず、今後の課題があると考えられた。

４．診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールに係る仕様案の策定と具体的活用手法の提案

診療報酬改定に係る作業のためのデータベース・分析ツールの仕様案を策定した。また、本データベース・分析ツールを用いたレセプトデータ分析の応用可能性を整理し、研究や行政等における具体的な活用例を示した。

あわせて、DPC データと組み合わせたデータセットの整備、レセプトデータの質や精度の向上、レセプトの項目や作成ルールの見直しを図る等、今後のレセプトデータの利活用を推進していくための課題を整理した。

D．考察

本研究は、これまでの診療報酬改定に係る作業等を踏まえ、レセプトデータの基本的性質・精度を把握しつつ、NDB に格納されたレセプトデータを活用するための具体的な活用手法を明らかにした。レセプトデータ分析の基本的な方法論や集計・分析手順、分析に当たっての留意点を整理し、これからレセプトデータ分析に取り組もうと考えている関係者にとっても有用な知見を示したといえる。また、NDB データのデータサイズが圧倒的に大きい中、診療報酬改定の作業で非定型の集計が中心となることを踏まえ、効率的かつ簡便に集計するためのビット演算を用いた「算定日 bit」の方法

論を提案したことは、今後のデータベース・分析ツールの構築においても意義が大きい。さらに、実際のレセプトデータを用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作や各種検証を行い、一連の処理プロセスの整理や動作確認を行いながら、求められている機能の実現可能性があることを示した。実用化に向けた研究開発を一定程度進めることができたと考える。

今後、データベース・分析ツールの仕様案にもとづいて実用化に向けた各種検討が進められること、また、より高度な集計・分析に対応できるよう機能の拡充のための方法論を明らかにし、研究や行政等における具体的な活用が進むことが期待される。また、他のデータと組み合わせたデータセットの整備、レセプトデータの質や精度の向上、レセプトの項目や作成ルールの見直しを進めるなど、さらなるレセプトデータの利活用の推進に向けた基盤整備を図ることで、医療の標準化や質向上に向けた様々な取り組みにも活用されていくことが望まれる。

E．結論

我が国の保健医療行政において限りある財源をいかに適切に配分するかが喫緊の課題である中、本研究の実施により、より高いエビデンスレベルの各種審議会における議論や次期診療報酬改定に繋げるための基盤となり得るデータベース・分析ツールのあり方を検討し、求められる機能やその実現可能性、有用性等を明らかにすることができた。特に、NDB データのデータサイズが圧倒的に大きい中で、効率的かつ簡便に集計するためのビット演算を用いた「算定

日 bit」の方法論を提案したことは今後のデータベース・分析ツールの構築においても有意義である。また、レセプトデータ分析の基本的な方法論や集計・分析手順、分析に当たっての留意点を整理したことは、診療情報の電子化が進み、レセプトデータの利活用の重要性が増す中、これからレセプトデータ分析に取り組もうと考えている関係者にとっても有用な知見になると考える。本研究の成果を通じて、未だ実績が少ない NDB データを用いた研究や行政等におけるレセプトデータの活用が今後より一層進んでいくことが期待される。

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

特になし

H．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究

藤森 研司 東北大学大学院医学系研究科医学部医療管理学分野 教授 分担研究者
石川 ベンジャミン 光一
国立がん研究センターがん対策情報センター 室長 分担研究者
堀口 裕正 国立病院機構本部総合研究センター 主席研究員 分担研究者
井高 貴之 国立病院機構本部総合研究センター 主任研究員 研究協力者

研究要旨：

診療報酬改定の作業プロセスやレセプトデータの特性や限界等を整理しつつ、診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールの開発に当たって求められる機能や機能実現のための具体的な方法論等を検討した。

データベース・分析ツールの構築プロセスは大きく「前処理」、「データマート等の作成」、「集計処理」の3つに整理した。データマート等の設計では、「レセプト属性データセット」、「診断データセット」、「行為データセット」ごとに項目を検討し、実際に集計処理に用いるファクトテーブルの構成を明らかにした。集計処理では、通常集計と各診療報酬の組み合わせや同日算定の状況に関する集計を区別して整理し、前者は、事前に準備したファクトテーブルを用いて集計することとした。また、後者は、テーブル間の突合や本研究で開発した算定日 bit を用いた方法を用いて、集計の都度、条件に該当するレセプトを特定・抽出して随時ファクトテーブルを作成する仕組みを提示した。

今後は、集計・分析の目的に応じた各種マスタの整備を図ること、あるいは行為データを E・F ファイルのように実施年月日単位で1行となるよう縦に情報を展開すること等も検討し、NDB データの規模に対し、開発費用やディスクボリューム等の制約条件とのバランスをとりながらより高度な集計・分析にも対応できるよう、さらなるデータマート等の設計のあり方について確立していくことが求められる。

A．研究目的

レセプトデータは、本来、医療機関が保険診療を行った際に保険者に診療報酬を請求するための診療内容の明細書情報であり、全国統一の共通様式で作成されていることから、全国的な診療実態の把握や医療機関間の比較が可能となるメリットがある。一

方、データの特性に起因する一定の制約もある。具体的には、データの性質上、特定入院料等で診療報酬上包括されている診療行為、あるいは実際に処置を行っていても報酬を算定していない診療行為等はデータ上把握できない。また、一部のデータでは、主傷病の記載がない、あるいは多くが主傷

病とされているなど、主傷病の特定が難しいものもある。さらに、紙レセプト形式を踏襲していることから表記の省略に伴う空欄が生じるなど、電子レセプトの作成ルールによる制約もある。

そうした制約はあるものの、各種審議会においては、議論に客観的なデータが不可欠であるとの指摘が有識者委員より頻繁になされている。大部分のレセプトが電子的に収集されレセプト情報・特定健診等情報データベース（以下、「NDB」という。）としてデータベース化されている中、こうしたレセプトデータを利活用し、より高いエビデンスレベルに基づいた議論に繋げるための方策を検討する意義は大きい。

そこで、本研究では、診療報酬改定の作業に利活用できるデータベース・分析ツールを構築するための基礎研究として、診療報酬改定の作業プロセスやレセプトデータの特性や限界等を明らかにし、診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールの開発に当たって求められる機能や機能実現のための具体的な方法論を検討することを目的とした。

B．研究方法

1．診療報酬改定における論点や作業内容の把握

本研究では、まず、レセプトデータを診療報酬改定に活用するうえでデータベース・分析ツールに求められる要件を定義するために、平成 24 年度診療報酬改定に係る検討状況や、平成 26 年度診療報酬改定の検討が開始された 2012 年度から 2013 年度前半にかけての中央社会保険医療協議会等における各種資料を参考に、レセプトデータ

から継続的にエビデンスを提示すべき論点や、重点的にエビデンスを提示すべき論点の洗い出しを行った。また、厚生労働省保険局医療課にヒアリング調査を実施し、これまでの診療報酬改定に係る作業スケジュールや作業内容等を把握するとともに、現時点で活用している社会医療診療行為別調査の特別集計の枠組みについても確認を行った。そして、今後の診療報酬改定に係る議論に当たって、上記の論点に資する分析を実施するうえで必要となるデータや集計・分析内容の整理、分析の実現可能性の評価等を実施した。

2．レセプト情報の基本的性質および精度の把握

次に、国立病院機構が全国 144 病院から収集している患者 ID の連結可能匿名化された医科レセプトデータ、DPC レセプトデータのうち、2012 年 4 月～2013 年 3 月診療分であって 2012 年 5 月～2013 年 4 月請求分のデータを用いて、レセプトに記載されている各種情報の基本的性質および精度の把握を行った。

具体的には、傷病名の信頼性の評価として、いずれの傷病名に対して診療行為が行われたかの判断に影響を与える一レセプトに記載されている傷病名の数や主傷病の数、また、コード化が一部不完全なことにより精度にばらつきが生じる可能性がある未コード化病名の割合等、傷病名の確度に関する基礎的な情報を把握した。また、平成 24 年度以降、新たに記録が作成されるようになった診療行為等の算定日情報について、データ間の整合性などの記録状況の確認などを行い、その信頼性に関する基礎的な情

報を把握した。

3. レセプト情報を診療報酬改定に活用するための具体的手法に関する検討

前述までの調査を踏まえて、レセプトデータのうち、活用可能性の高い項目、低い項目等を整理しつつ、レセプトデータの特性やデータベースの規模、処理速度等を勘案しながら、診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールに求められる機能、当該機能を実現するための具体的手法等に関する検討を行った。

(倫理面への配慮)

本研究は「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて行われた。個人情報保護に十分配慮し、構築されたデータベースから個人の特定ができない方式を採用した。また、独立行政法人国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認の下、データの収集・管理には安全管理措置を講じた。

C. 研究結果

1. 診療報酬改定における論点や作業内容の把握

中央社会保険医療協議会等の資料をもとに、調査時点までに議論されていた診療報酬改定に関連する主な項目等を洗い出した結果は、図表1のとおりである。継続的にエビデンスを提示すべき論点では、医療機関の運営基盤や提供する医療機能全般に関わる評価、中長期的な対応を要する内容が論点となっていた。一方、重点的にエビデンスを提示すべき論点では、直近の政策課題や特定の領域における医療内容の評価のあり方が論点となっていた。

さらに、厚生労働省保険局医療課へのヒアリング調査を通じて、これまでの診療報酬改定に係る作業スケジュールを把握したところ、改定のシミュレーションに係る集計・分析は改定前年度の9～10月から本格的に開始し、11～12月に集計・分析作業のピークを迎え、翌年1月に最終的な集計・分析を行い、3月に終了する状況であった。作業内容としては、社会医療診療行為別調査のデータを特別集計の枠組みで活用し、以下のような集計を実施することで各診療報酬の設定・調整のシミュレーションを実施していた。

基本的には、各診療報酬を算定しているレセプトの件数、点数、当該診療報酬の算定回数を集計する。ある診療報酬について、特定の条件にもとづいて抽出し、抽出レセプトにおける当該診療報酬の算定回数と単価を用いて集計することもある。特定の診療行為の頻度をみる際には、算定回数とレセプト件数を用いた集計を行うこともある。また、医療機関毎の施設特性を勘案した集計に当たっては、特別集計時に統計情報部において病院報告のデータと突合して集計している。具体的な施設特性としては、病院種別(病院総数、精神科病院、特定機能病院、療養病床を有する病院、一般病院、DPC対象病院)、病床規模別(20～49床、50～99床、100～199床、200～299床、300～499床、500床以上)、診療所(診療所総数、有床診療所、無床診療所)等が挙げられる。

(例 1)

- ・全ての診療報酬について、入院・入院外別に年齢階級別（0歳、1～2歳、3～5歳、6～14歳、15～19歳、20～64歳、65～74歳、75歳以上。ただし、集計内容によって年齢階級の設定は異なる。）の件数、点数、算定回数を集計。

(例 2)

- ・ある特定入院料、医学管理等を算定したことがある医療機関における全ての診療報酬について、入院・入院外別の件数、点数、算定回数を集計。

(例 3)

- ・入院基本料等加算の算定状況を把握するため、各入院基本料ごとに各入院基本料等加算を算定した件数（分子）5/1以降に入院した件数（入院初日のみ算定する加算の分母）4/25以降に入院した件数（入院後1週間に算定する加算の分母）4/18以降に入院した件数（入院後2週間に算定する加算の分母）を集計。

(例 4)

- ・他医療機関受診の状況を見るため、各入院基本料ごとに入院基本料の割合減算があった件数、点数、算定回数を集計。

(例 5)

- ・特掲診療料の算定状況を見るため、例えば、D255、D261、D263～D265の少なくとも一つを算定しているレセプト、
のうち、D261のみを算定しているレセプト、
のうち、D263のみを算定しているレセプト、
のうち、D264のみを算定しているレセプト、

のうち、D265のみを算定しているレセプトの件数、点数、算定回数を集計。

(例 6)

- ・（準）超重症児（者）入院診療加算（6歳未満/6歳以上）について、一般病棟等における算定状況を分析するため、「当該月において一貫して一般病棟入院基本料・結核病棟入院基本料・精神病棟入院基本料・特定機能病院入院基本料又は専門病院入院基本料のいずれかを算定しているレセプト」、各入院基本料ごとに「当該入院基本料を算定し、障害者施設等入院基本料、特殊疾患入院医療管理料、小児入院医療管理料及び特殊疾患病棟入院料のいずれも出現しないレセプト」の年齢階級別の件数、点数、算定回数を集計。

なお、社会医療診療行為別調査については、調査時点で「平成24年社会医療診療行為別調査」が公表されており、医科病院の診療報酬明細書及び保険薬局の調剤報酬明細書では、NDBに蓄積されている全ての診療報酬明細書及び調剤報酬明細書が調査の客体として集計されていた。一方、歯科病院、医科診療所及び歯科診療所の診療報酬明細書では、第一次抽出単位を保険医療機関とし、第二次抽出単位を診療報酬明細書とする層化無作為二段抽出法によって抽出された診療報酬明細書が調査の客体として集計されていた。医科診療における保険医療機関の集計客体数は、18,189施設（うち、医科病院 8,533施設、医科診療所 9,656施設）であり、明細書の集計客対数は、23,290,168件（うち、入院 2,090,725件、入院外 21,199,443件）であった。対象は平

成 24 年 6 月審査分のみではあるが、各診療報酬の算定状況（入院・入院外、施設の種類、保険種別、診療行為区分、傷病分類、年齢階級×レセプト件数、診療実日数、回数、点数）の把握が可能となっていた。さらに、ヒアリング調査で本調査の特別集計の枠組みについて確認したところ、調査客体は集計の迅速化の観点から 6 月審査分でかつ抽出したデータを用いて集計を行っており、統計情報部に依頼後、集計結果が出るまでには仕様の確定に 10 日間、集計に 4 日間程度でおおむね 2 ～ 3 週間程度の期間を要していた。

上記の調査結果等を踏まえ、レセプトデータを用いた集計内容として、絞り込み条件や分析軸、値を検討した結果を図表 2 に示す。また、本集計・分析を前提とした場合、診療報酬改定の検討に当たって必要となることが想定される各レコードの主な項目を整理した結果は、図表 3、図表 4 のとおりである。

2．レセプト情報の基本的性質および精度の把握

レセプトデータの基本的性質および精度を把握することを目的として、国立病院機構の医科レセプトデータ、DPC レセプトデータを用いて、まず傷病関連情報について集計した結果を図表 5～9 に示す。1 レセプト（総括対象レセプト等ベース）に記載されている傷病数は、約 3 割のレセプトで 10 傷病以上となっており、特に入院レセプトにおいて多い傾向にあった。また、医科レセプトにおける主傷病数をみると、5 割以上のレセプトで主傷病が 0 あるいは複数記載されている状況であった。未コード化傷

病名の割合は、全レセプトに記載されている傷病のうちの 5.8%であったが、レセプト単位（総括対象レセプト等ベース）で未コード化傷病名が記載されているレセプトの割合をみると 23.2%であり、後述する一定のルールにもとづいてレセプトごとに 1 つの主傷病を選択すると主傷病が未コード化傷病名のレセプトは 3.6%であった。

次に、診療行為等の算定日情報について、それぞれのレコードの各行における回数の記録と 1 日から 31 日までの算定日情報の合計値を比較したところ、国立病院機構で両者が不一致であったものは、医科レセプトで診療行為レコード 120,050,397 行中 0 行、医薬品レコード 15,060,177 行中 2 行、特定器材レコード 1,819,811 行中 0 行であった。また、DPC レセプトでは、診療行為レコード 8,700,910 行、医薬品レコード 3,742,483 行、特定器材レコード 787,850 行に対してすべて一致していた。算定日情報の入力状況については概ね良好であった。

3．レセプト情報を診療報酬改定に活用するための具体的手法に関する検討

前述までの結果を踏まえ、レセプトデータを診療報酬改定に利活用するためのデータベース・分析ツールを構築していくプロセスを図表 10 のとおり整理した。

プロセスは、大きく「前処理」、「データマート等の作成」、「集計処理」の 3 つに分けられる。具体的には、図表 11 に示す E-R 図（Entity Relationship Diagram）に従って、各行にキー情報、共通情報を付加しつつ、各レコードから必要となる情報を抽出・加工しながらデータマート等を構築し、集計処理を行うこととなる。前処理からデ

ータマートの作成等までの一連のプロセスでは、コアの数が多く必要となり、シーケンシャルに読み込める HDD、シーケンシャルに書き出せる HDD も必要となる（例：8 CORE × 2 HDD）。一方、集計処理では、コアの数よりも速度が重要となるため、SSD を用いる等の工夫を行う必要がある。また、いずれのプロセスにおいても、処理に用いるデータに対して必要に応じて一部のカラムを対象とした index を作成し、作業の効率化を図る必要がある。

前処理

前処理では、まず、医療機関情報レコード（以下、「IR レコード」という）、レセプト共通レコード（以下、「RE レコード」という）、保険者レコード（以下、「HO レコード」という）、傷病名レコード（以下、「SY レコード」という）、傷病レコード（以下、「SB レコード」という）、診療行為レコード（以下、「SI レコード」という）、医薬品レコード（以下、「IY レコード」という）、特定器材レコード（以下、「TO レコード」という）、コーディングデータレコード（以下、「CD レコード」という）について、通年の全てのデータを SQL あるいは Hadoop / MapReduce 等を用いて取り込み、データウェアハウスを構築する。そして、バッチ処理を実行して、中間テーブル（テーブル 01）を作成しながらキー情報や共通情報の付加、集計・分析に用いる項目の加工や付与等を行う。

なお、その後の集計処理を簡便にすることを想定し、HO レコードのデータについては、保険種別ごとに横に展開することとした。また、SY レコード、SB レコードに

ついては、社会医療診療行為別調査で用いられているルールを参考に図表 12、図表 13 のとおりレセプト内の主傷病を判別し、1 レセプト 1 主傷病を付与することとした。

さらに、SI レコード、IY レコード、TO レコード、CD レコードのうち、診療行為データについては、各診療報酬において算定した数量とあわせて 1 回あたりの基本回数、きざみ回数を求め、それぞれにレセプトに記載されている回数に乗じることで各算定回数を算出することとした。また、医薬品データ、特定器材データについては、各薬剤・特定器材において算定した 1 回あたりの使用量に回数に乗じて算定使用量を算出することとした。CD レコードは、実施年月日単位で 1 行となっているデータを他のレコードの算定日情報と同様、日付の列を追加して横に保有する形式に変換することとした。

レセプトデータの摘要情報において、点数の記録は、注加算項目や通則加算項目を基本項目と同じ点数・回数算定単位内に記録して最後の行に合計値を記録することとなっている。そこで、個別の診療報酬の算定点数・金額については、医科診療行為マスタ、医薬品マスタ、特定器材マスタに記載されているレセプト電算コードごとの点数単価・金額単価を用いて、マスタから算出した算定点数・金額も算出することとした。なお、医薬品や特定器材における請求時の算定点数は、本来、算定式の途中で点数変換して小数点を処理するため、ここで算出している算定金額と厳密には異なるが、集計処理での必要性、優先度から本研究では勘案しないこととする。

その他、レセプトデータの性質上、重複

して発生しているデータや、表記の省略に伴って発生している空欄などに対する処理も行う必要がある。具体的に、DPC レセプトのコーディングデータは、「該当月における包括評価による算定を行った期間の診療行為、医薬品及び特定器材の情報を医科点数表の項目に従い入力する。なお、特定入院料等を算定している期間については、当該特定入院料等に包括される診療行為等のうち、コーディングに係る診療行為等も併せて入力する」こととなっており、「包括評価部分に係る診療行為の内容が分かる情報を出来高部分に係る診療行為の情報も含め記録」とされている。包括評価期間中の出来高部分に係る診療報酬の情報が重複して記載されているため、前処理をせずに算定回数を単純に足し合わせてしまうと過剰な値になってしまう。そこで、同一レセプト内でレセ電算コードごとに SI レコード、IY レコード、TO レコードの算定日情報と CD レコードの実施年月日・回数を比較し、同一のレセ電算コードで同日に回数が記録されている場合には重複とみなすという仮定のもと、CD レコードのデータを除外することとした。なお、診療報酬改定の作業における優先度は低いが、レセプトデータの摘要情報における診療識別の記録は、一連の行為単位が複数行になる場合は先頭の行にのみ診療識別コードを記録し、2 番目以降の行には記録がされないこととなっている。当該項目を用いて集計することが必要な場合には、全ての行に診療識別コードを入力し直すことも必要である。

データマート等の作成

データマート等の作成では、その後の集

計処理をイメージしたデータマートの設計、データの項目や格納方法の整理を行いながらデータマートを構築し、データの一部あるいは全部を抽出して実際に集計処理に用いるファクトテーブルを作成する。

データマートは、前処理で付加した各行で一意となる「キー情報」の項目群、各レセプトレコードの全ての行に共通して付加する「共通情報」の項目群、さらに各レコードごとに特有の情報となる「本体情報」の項目群の3区分から構成されるものとする。

キー情報は、医科レセプト・DPC レセプトを判別する項目、レセプト単位で一意となる番号が付与されている項目、レセプト内の行単位で一意となる番号が付与されている項目から構成される。

また、共通情報は、病院コードが入力されている項目、入院レセプトか否かを判別する項目、入院外レセプトか否かを判別する項目、レセプトの請求年月が入力されている項目、レセプトの診療年月が入力されている項目、入院レセプトの場合に入院年月日が入力されている項目から構成される。加えて、前処理の段階では、データの確認の利便性を考慮し、入院レセプトで総括対象レセプトがある場合に総括対象レセプトの入院年月日が入力されている項目、DPC レセプトのレセプト総括区分を判別する項目、レセプト内の DPC レセプトの1レセプト内で総括レセプト・総括対象レセプトで一意となるシーケンス番号が付与されている項目も追加する。

本体情報は、各レセプトレコードの特性に応じて、大きく以下の3つのデータセットごとにそれぞれの項目で構成されるもの

とする。

・レセプト属性・診断データセットの構成

レセプト属性・診断データセット（02REIRHOSY）は、前処理を行った IR レコード、RE レコード、HO レコードのデータをもとに、レセプトデータの基本テーブルとなるものとして 1 レセプト 1 行で情報を保有する形式とする。そして、前処理を行った SY レコードと SB レコードからなる 1 レセプト複数行を縦に保有する形式の診断データセット（01SYSB）から主傷病情報を抽出して付加することとする。具体的な項目は、図表 14 のとおりである。なお、DPC レセプトは、総括レセプトベースのデータを用いることとした。

・行為データセットの構成

行為データセット（02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O、02IYCD、02TOCD）では、前処理を行った SI レコード、IY レコード、TO レコード、CD レコードをもとに、診療行為データセット、医薬品データセット、特定器材データセットごとに 1 レセプト 1 レセ電算コードで 1 行となるように情報を保有する形式とする。具体的な項目は、図表 15～図表 17 のとおりである。

なお、診療行為データについては、集計処理の効率化、将来的な分析イメージを勘案し、「初・再診料、入院料等関連のデータ」、「特掲診療料関連のデータ」、「食事療養費等のその他のデータ」に分けてデータセットを作成することとした。そのうち、「初・再診料、入院料等関連のデータ」に関しては、DPC レセプトでは包括評価期間中は入院基本料が入力されていないため、集計時

には留意する必要がある。また、行為データセットについては、DPC データの E・F ファイルのように、1 レセプト 1 レセ電算コード 1 算定日で 1 行となるように情報を保有することで集計・分析に係る処理作業を簡便にする方法も考えられるが、テーブルサイズがかなり大きくなることも予想され、ディスク容量等を踏まえて検討する必要がある。

一方、同一レセプト内における各診療報酬の組み合わせに係る集計や各診療報酬間の同日算定の状況を把握するための日単位の集計に当たっては、この行為データセットを用いて、条件に該当するレセプトを抽出して随時ファクトテーブルを作成することとする。その際、本研究では、複雑な集計を行わないことを前提に、各診療報酬の日単位の算定状況の条件を簡便に指定する方法として、図表 18、図表 19 に示す考え方にもとづき、当該診療報酬の日単位の算定の有無をビットパターンの情報で保有する「算定日 bit」のデータを付与することとした。さらに、その後のファクトテーブルの作成の効率化を図るため、同様の考え方にもとづき、「入院後日数 bit」、「受診曜日 bit」も付与することとした。

さらに、行為データセットでは、各レセプトにおいて診療行為データ、医薬品データ、特定器材データのいずれかで算定があった日を把握することを目的としたサブ診療行為・医薬品・特定器材データセット（subSIHYTOCD）も作成することとする。当該データセットは、上記の各行の「入院後日数 bit」、「受診曜日 bit」についてレセプト単位で同じ位置のビット毎に論理的 OR を行い、1 レセプト 1 行として出力し

た「入院後日数 bit」、「受診曜日 bit」の情報を保有するものとする。

その他、レセプト属性データセット、診断データセットのうちで集計時に必要となる他のデータセットの情報、あるいは各種マスタの関連情報は、本来、集計時点で付加することがほとんどである。しかしながら、診療報酬改定に係る作業時の集計では、前述のとおり、一部の集計において、その都度、ファクトテーブルを作成する必要がある。そのため、処理を単純化する観点から、データマート作成時点であらかじめ集計に用いる他のデータセットの情報や各種マスタ情報も各データセットに付加することとした。

・ファクトテーブルの作成

上記のレセプト属性・診断データセット、診療行為データセット、医薬品データセット、特定器材データセット、サブ診療行為・医薬品・特定器材データセットのデータセットを用いて、実際に集計処理に用いるファクトテーブルを作成する。

ファクトテーブルは、各データセットを用いて、最終的に集計に用いる絞り込み条件、分析軸ごとにレセプト件数や診療実日数、合計点数、あるいは各診療報酬ごとの算定日数、算定回数、算定点数等をまとめておき、迅速に集計結果が算出できるようにしたテーブルである。テーブル種別は、最終的な集計を想定し、通常集計を行うための「fact table01」、入院年月日から算出した入院後日数を用いて入院レセプトの日数別の集計を行うための「fact table02_nyu_day」、算定日から算出した受診曜日を用いて入院外レセプトの曜日別の

集計を行うための「fact table03_gai_day」の3つに整理した。

「fact table01」については、レセプト属性・診断データセットをもとに作成する、集計対象レセプトの件数、診療実日数、合計点数の算出を目的とした「facttable01RE」、診療行為データセット、医薬品データセット、特定器材データセットをもとに作成する、各診療行為を算定したレセプトの件数や診療実日数、合計点数、各診療報酬の算定日数、算定回数・算定使用量、算定点数・算定金額の算出を目的とした「facttable01SI_A」、「facttable01SI_B」、「facttable01SI_O」、「facttable01IY」、「facttable01TO」を作成することとする。

「fact table02_nyu_day」、「fact table03_gai_day」については、サブ診療行為・医薬品・特定器材データセットをもとに作成する、各入院後日数・受診曜日に該当する集計対象レセプトの件数、診療実日数、合計点数の算出を目的とした「facttable02RE_nyu_day」、「facttable03RE_gai_day」、診療行為データセット、医薬品データセット、特定器材データセットをもとに作成する、各診療行為を算定したレセプトのうち、各入院後日数・受診曜日に該当する集計対象レセプトの件数や診療実日数、各入院後日数・受診曜日に算定した各診療報酬の算定回数・算定使用量、算定点数・算定金額の算出を目的とした「facttable02SI_A_nyu_day」、「facttable03SI_A_gai_day」、「facttable02SI_B_nyu_day」、「facttable03SI_B_gai_day」、「facttable02SI_O_nyu_day」、

「 facttable03SI_O_gai_day 」 、
「 facttable02IY_nyu_day 」 、
「 facttable03IY_gai_day 」 、
「 facttable02TO_nyu_day 」 、
「 facttable03TO_gai_day 」を作成することとする。

集計処理

集計処理では、ファクトテーブルを用いて BI 的アプローチにより集計表を作成する。

集計処理は、主に前述の「fact table01」、「fact table02」、「fact table03」を用いて行うが、ある診療報酬の算定施設・算定レセプトにおける他の診療報酬の算定状況に係る集計、同一レセプト内における各診療報酬間の同日算定の状況に係る集計については、集計の都度、テーブル間の突合や算定日 bit を用いて条件に該当するレセプトを特定・抽出して随時ファクトテーブルを作成することとなる。

なお、集計におけるインタラクティブな処理を行ううえでは、分析ツールの候補として、簡便かつ視認性の高い QlikView 等の専用ツール、あるいは Excel/SQL Server の組み合わせによる汎用ツール等が挙げられる。QlikView は、画面がコンパクトでも見やすく、グラフが自動的に作成されるなどの特徴があるが、1 行内に格納されたデータを用いてしか集計できないためにあらかじめ集計に必要となる条件情報を行内に保有しておく必要があり、また操作に慣れるまでもに一定の期間を要する。一方、Excel/SQL Server 分析ツールでは、Excel をインターフェースとしてクエリを実行し SQL Server で集計処理を行うといったよ

うに複数のツールを組み合わせる分析ツールを構築する必要があるが、汎用性が高く、操作は Excel が中心となるために新たに操作スキルを習得する必要がないというメリットがある。実際に用いる分析ツールの選択に当たっては、上記のメリット、デメリットを勘案して検討する必要がある。

D．考察

本研究では、これまでの診療報酬改定に係る論点や作業内容、レセプトデータの基本的性質・精度を把握しつつ、診療報酬改定の作業においてレセプトデータから迅速かつ十分な知見、継続性のある知見を得るためのデータベース・分析ツールを構築していくプロセスを整理し、各種データマート、ファクトテーブルを設計した。

これまで保険局医療課が活用していた社会医療診療行為別調査および当該調査データを用いた特別集計は、そのほとんどが NDB に蓄積されているデータを集計対象としている。しかしながら、社会医療診療行為別調査の対象は単月の 6 月審査分のみであり、当該調査データの特別集計では、さらにその一部を抽出したデータを用いている。当該月は月別にみると患者数が少ない時期でもあり、年間の季節変動を勘案した分析などで一定の限界がある。NDB の一年間分のデータを用いて集計・分析を行うことは、各月にどのような季節変動があるか、月間の調査データを年間値に変換する場合にどの程度の倍率を用いることが適当なのか、新たな知見を得ることができ、臨床研究の観点からもその意義は大きいと考えられる。

また、上記の社会医療診療行為別調査の

特別集計では、多くの分析軸、条件設定を用いて分析を行っているが、その作業には一定の期間を要することに加え、必要に応じた集計の追加などに柔軟に対応することも難しい状況であった。診療報酬改定に係る作業で求められる集計は、審議会等における議論の動向や個別の診療報酬における見直し内容に応じて迅速かつフレキシブルに対応していくことが求められる。あらかじめ集計条件の組み合わせをパターン化するなど、Use case が限定された明示されたルールに基づく定型的な集計・分析とすることは難しく、任意の項目に対して BI ツールを用いて柔軟性の高いアドホック分析（非定型的な集計・分析）を行うことが中心となる。

これらの集計を実現するうえでは、集計用のファクトテーブルに多くのディメンションを準備しておく必要がある。さらに、ある診療報酬を算定していた施設やレセプトを抽出して他の診療報酬の算定状況を集計するなどの各診療報酬の組み合わせに係る集計を行う場合、一つのファクトテーブルで対応しようとする、事前に全てのレセ電算コードの組み合わせを準備しなければならず、ディメンション内の項目数が圧倒的に多くなることとなる。また、本研究においてレセプトデータの精度を確認したところ、傷病名の記録は一部のデータにおいて傷病名が多く列挙されていて主傷病の判別も難しい等、その信頼性は必ずしも高くなかったが、一方で、算定日情報の入力状況は概ね良好であり、算定日単位の集計・分析に用いることが可能であると考えられた。算定日情報は、同一レセプト内における各診療報酬間の同日算定の状況を日

単位で把握するうえで有用である。集計処理を容易にするために DPC データの E・F ファイルのように実施年月日単位で 1 行となるようデータを縦に展開する方法も考えられるが、NDB データのデータサイズが圧倒的に大きい中では、データサイズがより一層膨大になり、迅速な集計処理が困難となることが懸念される。

こうした複数の課題に対して、開発費用やディスクボリュームを抑えつつ、一定の処理速度等を維持することを目指し、本研究では、通常集計と各診療報酬の組み合わせや同日算定の状況に関する集計を分けて整理した。そして、前者は、事前に準備したファクトテーブルを用いて集計することとし、後者は、集計の都度、テーブル間の突合や本研究で開発した「算定日 bit」による方法を用いて条件に該当するレセプトを特定・抽出し、随時ファクトテーブルを作成する仕組みを提示した。レセプトデータの特性を踏まえて、処理の効率化と柔軟性を両立する仕組みを明らかにしたという点で意義が大きい。

最後に、今後の課題として以下がある。

第 1 に、集計・分析の目的に応じて集計・分析項目と対応するレセ電算コードを整理した各種マスタを整備する必要がある。例えば、本研究では、診療行為のデータセットに医科診療行為マスタのコード表用番号にもとづく解釈番号のデータを付与することとしたが、一部、医科点数表における診療報酬の区分と一致しない点があり、注意が必要である。同様に、傷病の分析に当たっても、傷病名コードはかなり詳細な区分となっているため、診療報酬改定の検討に用いるうえでの有用性は低い。本研究では、

傷病名マスタ、傷病分類表をもとに ICD-10、傷病中分類を付与しているが、必ずしも適切な ICD-10 に変換されていないコードがある等、留意しなければならない点がある。入院基本料毎に算定可能な入院基本料等加算を整理したマスタ、適応疾患を踏まえた薬剤マスタ等も必要になる可能性がある。今後、診療報酬改定に係る作業を進めるうえで、本来望まれる集計・分析結果を想定した各種マスタを整備するとともに、レセプトデータの利活用がより一層進むよう広く一般に公開されていくことが望ましい。

第 2 に、本研究では、行為データの分析はレセ電算コード単位を基本としているが、レセ電算コードベースの集計・分析では項目が詳細になりすぎてしまう場合、関連するレセ電算コードをまとめて診療報酬の算定状況进行分析することが必要になる。その際、例えば、医薬品のデータセットを用いて薬価基準コード 7 桁ごとにレセプト件数等を集計する場合には、1 レセプト 1 レセ電算コードで 1 行の形式となっているデータを 1 レセプト 1 薬価基準コード 7 桁単位で 1 行となるよう加工したうえでファクトテーブルを作成しなければならない。今後、実際の作業で必要となる分析軸の検討を進めながら、用途に応じてファクトテーブルを準備していくことも必要であろう。

第 3 に、医療の給付の受給者における診療行為の内容等に関するより詳細な分析は、既に DPC データの E・F ファイルを用いて実施年月日ベースで多くの分析が行われているが、その際に利用されるデータは実施年月日単位で 1 行としてデータを縦に保有する形式となっている。レセプトデータの算定日情報を用いた分析においても、より

複雑なロジックにもとづく詳細な分析を行っていくうえでは、抽出作業を容易に実施し、新たな分析軸が必要となった場合の対応も簡便となるよう、SI レコード、IY レコード、TO レコードを算定年月日単位で 1 行となるように縦に展開していくことも検討する必要がある。NDB データの規模に対し、開発費用やディスクボリューム等の制約条件とのバランスをとりながらより高度な集計・分析にも対応できるよう、今後、さらなるデータマート等の設計のあり方について確立していくことが求められる。

E . 結論

本研究では、診療報酬改定時の作業内容やレセプトデータの特性や限界等を踏まえつつ、診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールに求められる機能を検討し、データベース・分析ツールを構築していく具体的なプロセス、データセットの構成や項目内容を明らかにした。さらに、平成 24 年度から新たに記録されるようになった診療行為等の算定日情報を用いた分析を行ううえで、開発費用やディスクボリュームを抑えつつも一定の処理速度等を実現することを目指し、新たに「算定日 bit」を用いた手法を開発した。診療情報の電子化が進み、レセプトデータをはじめとする大規模データの利活用が期待される中、レセプトデータのデータベースの構築プロセスや方法論を詳細に至るまで整理し、とりまとめたという点で本研究の意義は大きいと考えられる。今後、多くの実務者や研究者によって様々な場面でレセプト分析が行われる際、本研究の成果が活用されることが期待される。

F．研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3.その他

なし

図表 1 中医協で議論されている項目等の洗い出し結果

1．継続的にエビデンスを提示すべき論点	
入院医療の機能分化の推進	
・ 入院基本料の見直し、入院基本料等加算の簡素・合理化	
・ 一般病棟における入院医療の実施状況の推移	
・ 一般病棟における一般病棟用の重症度・看護必要度の基準を満たす患者の割合	
・ 早期リハビリテーションの実施状況	
・ 長期入院の是正状況、特定除外制度による医療の提供状況	
・ 亜急性期入院医療、回復期リハビリテーションの実施状況	
・ 連携や在宅復帰の推進状況	
・ 病院勤務医等の医療従事者の負担軽減	
・ チーム医療に関する評価	
・ 短期滞在手術基本料の対象手術の実施状況	
・ 医療提供体制が十分ではなく医療機関の機能分化を進めることが困難な地域における医療の提供状況	
・ 有床診療所における入院医療の状況	等
外来医療の機能分化の推進	
・ 外来医療、休日・時間外の診療の実施状況の推移	
・ 外来患者における重複受診の状況	
・ 複数の慢性疾患を持つ外来患者に対する診療の実施状況	等
在宅医療の充実・推進	
・ 在宅医療の実施状況、医療と介護の連携状況	
・ 訪問看護の実施状況、医療と介護の連携状況	
・ 薬局における在宅業務の実施状況	等
後発医薬品のさらなる普及	
・ 後発医薬品の処方・調剤状況	
診療報酬点数表の簡素化	
・ 入院基本料等加算の簡素化	等
2．重点的にエビデンスを提示すべき論点	
・ 救急医療（小児救急や精神科救急を含む）の実施状況、後方病床との連携状況	
・ 周産期医療の実施状況、後方病床との連携状況	
・ 慢性期精神入院医療、地域における精神医療の実施状況	
・ 認知症に係る医療の状況	等

図表 2 診療報酬改定に係る作業で必要となるレセプトデータを用いた集計内容

[絞り込みの条件]

病院・診療所（抽出時に付与する施設種別コードにより判別）
 入院・入院外（RE レコードのレセプト種別により判別）
 保険種別（抽出時に付与する保険種別の区分コードにより判別）
 各診療報酬の算定施設（医療機関毎の各診療報酬の算定状況を算出して判別）
 対象月（RE レコードの診療年月により判別）
 各診療報酬の算定レセプト（レセプト毎の各診療報酬の算定状況を算出して判別）
 ある診療報酬の算定日と同日に他の診療報酬を算定していたレセプト（レセプト毎の
 各診療報酬の算定日情報にもとづく算定状況を算出して判別）

[分析軸]

病院・診療所（抽出時に付与する施設種別コードにより判別）
 施設特性（抽出時に付与する施設種別コード、DPC/PDPS 対象病院の有無コード、病
 床規模コードにより判別）
 入院・入院外（RE レコードのレセプト種別により判別）
 保険種別（抽出時に付与する保険種別の区分コードにより判別）
 対象月（RE レコードの診療年月により判別）
 年齢階級（5 歳階級）（抽出時に付与する年齢階級コードにより判別）
 傷病分類・傷病（中分類）（SY レコードの傷病名コード、診療開始日、修飾語コード、
 主傷病等を用いて算出）
 レセプト 1 件当たり点数、レセプト 1 件 1 日当たり点数（レセプト毎の診療実日数 1
 日当たり点数を算出して判別）
 [入院]入院×日目・[外来]×曜日（SI レコード・IY レコード・TO レコードの算定日
 情報と RE レコードの入院年月日、あるいは SI レコード・IY レコード・TO レコード
 の算定日情報を用いて算出）
 各診療報酬（レセ電算コード）（SI レコード・IY レコード・TO レコード・CD レコー
 ド等のレセ電算コードにより判別）

[値]

レセプト件数
 診療実日数
 算定回数（他の診療報酬と同日算定した回数を含む）
 算定点数

図表3 レセプトデータを用いた集計で必要となる各レコードの主な項目（医科レセプト）

[illegible]

RE レコードでは、生年月日より 6 月 1 日時点の年齢を算出し、年齢階級コード（5 歳階級）にして当該データを付与。

H0 レコードでは、保険者番号より保険種別の区分（協会けんぽ、組合健保、共済等、国保、後期高齢者医療制度）を求め、当該データを付与。

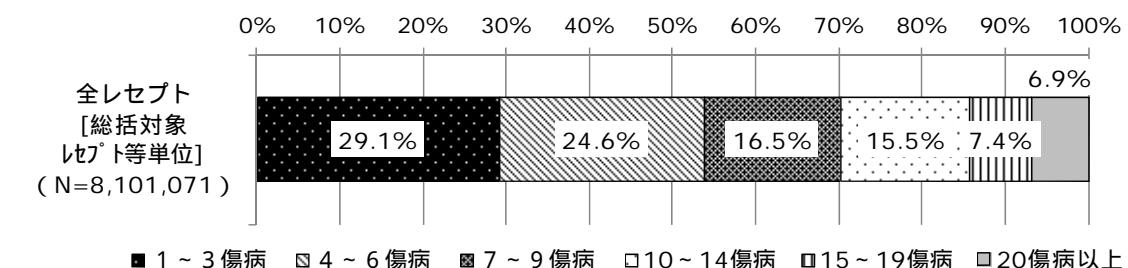
図表4 レセプトデータを用いた集計で必要となる各レコードの主な項目（DPC レセプト）

レコード名	項 目
IR レコード	通番1,通番2,IR,,都道府県,,医療機関コード(匿名化した連番),,,請求年月,,
RE レコード	通番1,通番2,RE,レセプト番号,レセプト種別,診療年月,氏名(ハッシュ値ID),,生年月日(年齢階級コード),,入院年月日,病棟区分,,,,,,レセプト総括区分,明細情報数,,,,,,
HO レコード	通番1,通番2,HO,保険者番号(区分),,,診療実日数,合計点数,,,,,,
KO レコード	通番1,通番2,KO,(KOレコードがある場合には、「1 全額公費」「2 公費併用」のフラグを記載),,,診療実日数,合計点数,,,,,,
BU レコード	通番1,通番2,BU,診断群分類番号,今回入院年月日,今回退院年月日,,
SB レコード	通番1,通番2,SB,傷病名コード,修飾語コード,,ICD10 コード,傷病名区分,,
SY レコード	通番1,通番2,SY,傷病名コード,診療開始日,,修飾語コード,,主傷病,,
GA レコード	通番1,通番2,GA,診療年月,請求調整区分,外泊等,診断群分類番号,医療機関別係数,,
HH レコード	通番1,通番2,HH,診療年月,請求調整区分,,入院期間区分,入院期間区分別点数,入院期間区分別入院日数,包括小計点数
GT レコード	通番1,通番2,GT,診療年月,請求調整区分,,包括小計点数合算,包括評価点数,調整点数,今月包括合計点数,診療識別,,
SI レコード	通番1,通番2,SI,診療識別,,診療行為コード,数量データ,点数,回数,,,,,,1~31日の算定日情報
IY レコード	通番1,通番2,IY,診療識別,,医薬品コード,使用量,点数,回数,,,,,,1~31日の算定日情報
T0 レコード	通番1,通番2,T0,診療識別,,特定器材コード,使用量,点数,回数,単位コード,単価,,,,,,1~31日の算定日情報
CD レコード	通番1,通番2,CD,実施年月日,診療識別,順序番号,行為明細番号,レセプト電算処理システム用コード,使用量,数量データ,単位コード,回数,,
追加レコード	通番1,通番2,施設種別コード(精神科病院、特定機能病院、療養病床を有する病院、一般病院、有床診療所、無床診療所),DPC/PDPS対象病院有無コード,病床規模コード(19床以下、20~49床、50~99床、100~199床、200~299床、300~499床、500床以上)

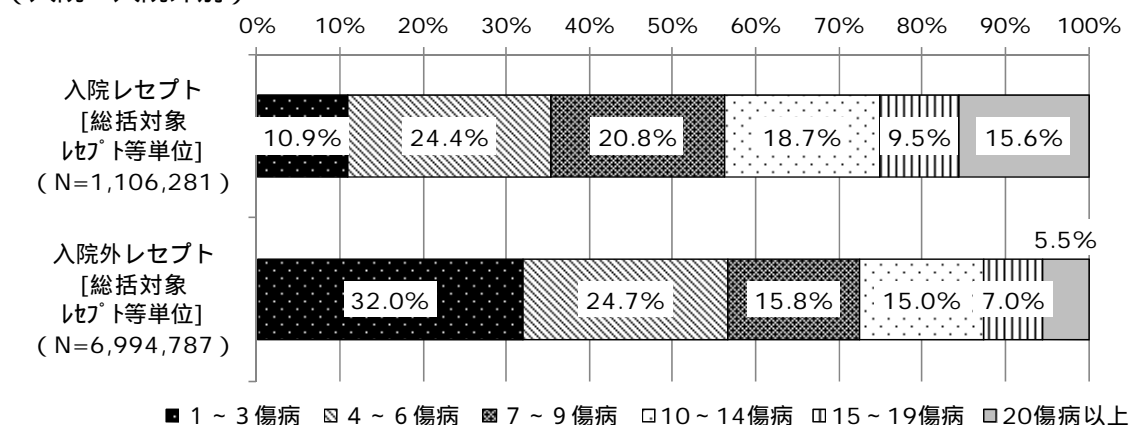
RE レコードでは、生年月日より6月1日時点の年齢を算出し、年齢階級コード(5歳階級)にして当該データを付与。

HO レコードでは、保険者番号より保険種別の区分(協会けんぽ、組合健保、共済等、国保、後期高齢者医療制度)を求め、当該データを付与。

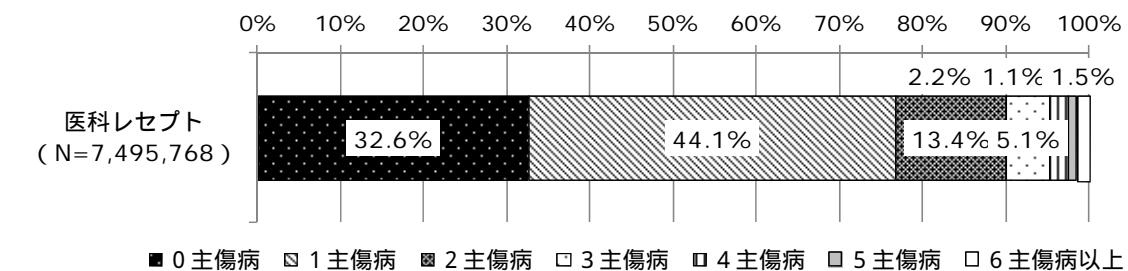
図表5 1レセプト（総括対象レセプト等ベース）に記載されている傷病名数の構成比（全体）



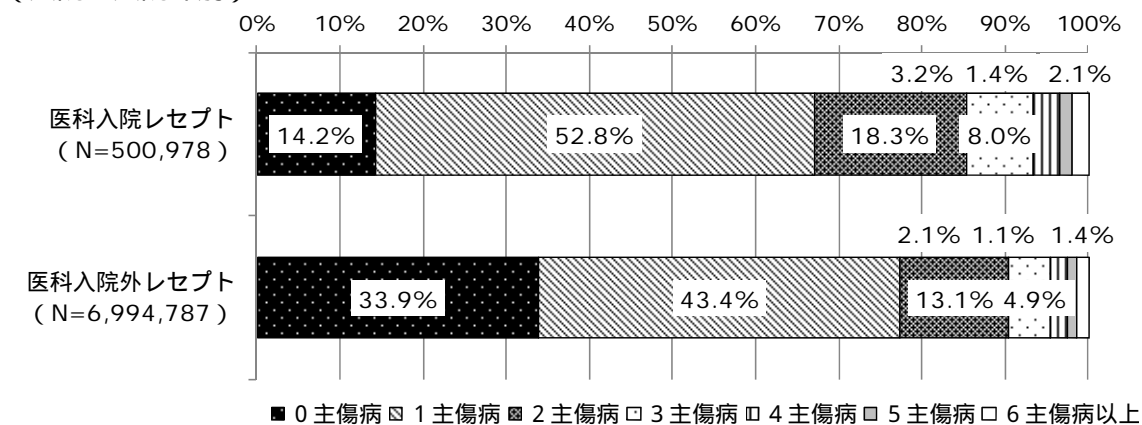
（入院・入院外別）



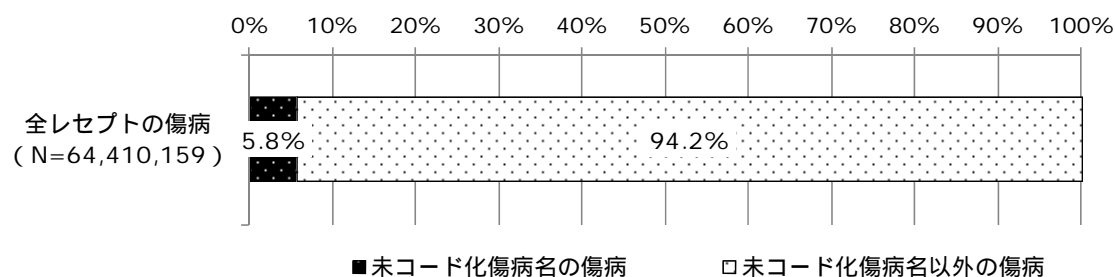
図表6 医科レセプトにおいて1レセプトに記載されている主傷病数の構成比（全体）



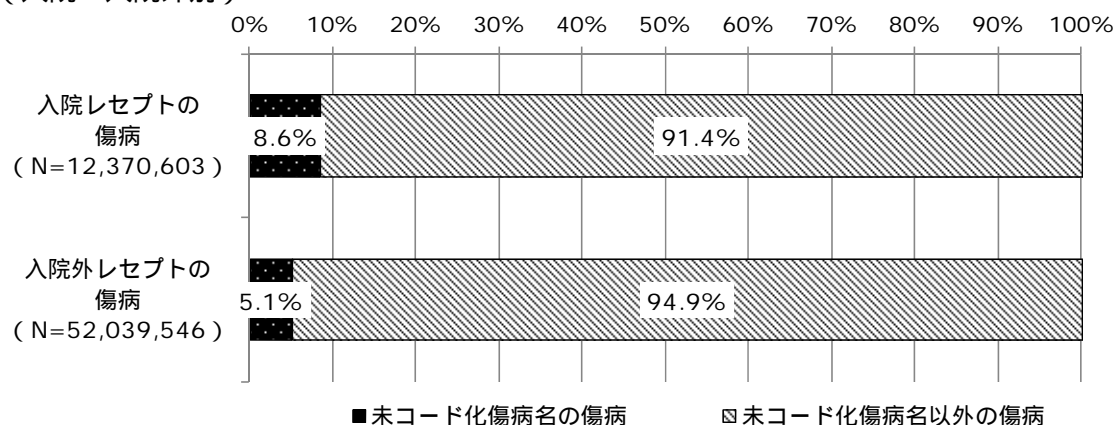
（入院・入院外別）



図表7 レセプトに記載されている傷病名数に占める未コード化傷病名の割合
(全体)

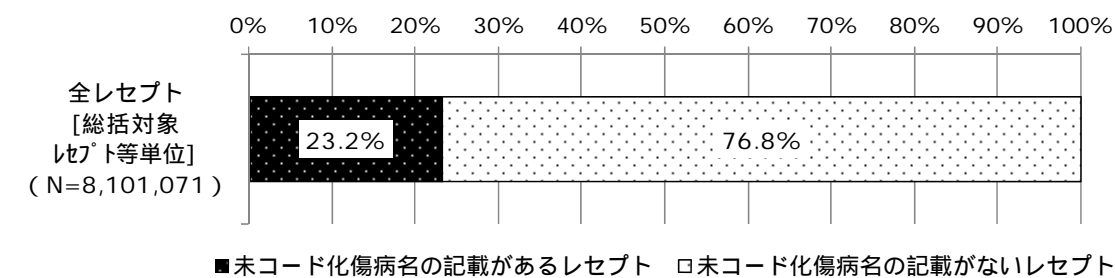


(入院・入院外別)

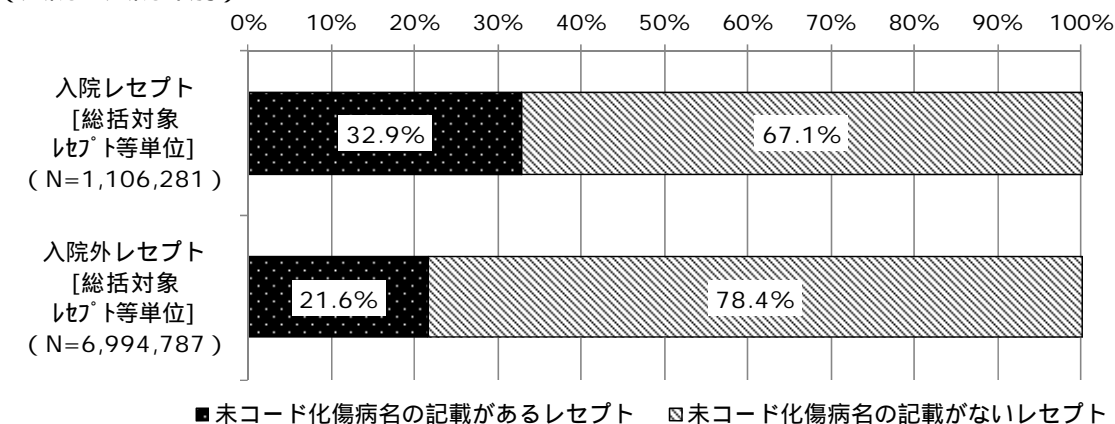


図表8 レセプト全体（総括対象レセプト等ベース）に占める未コード化傷病名の記載があるレセプトの割合

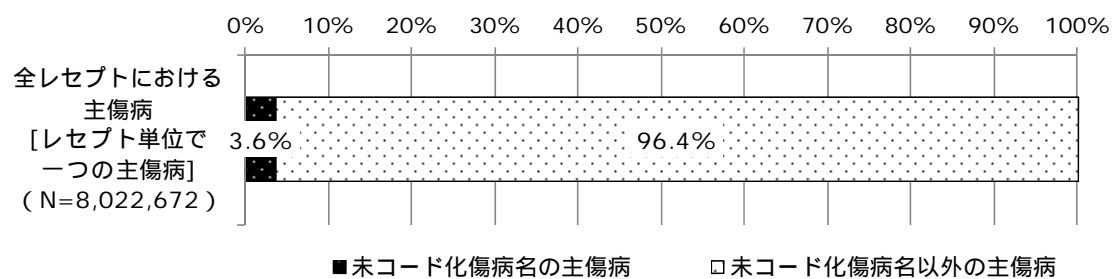
(全体)



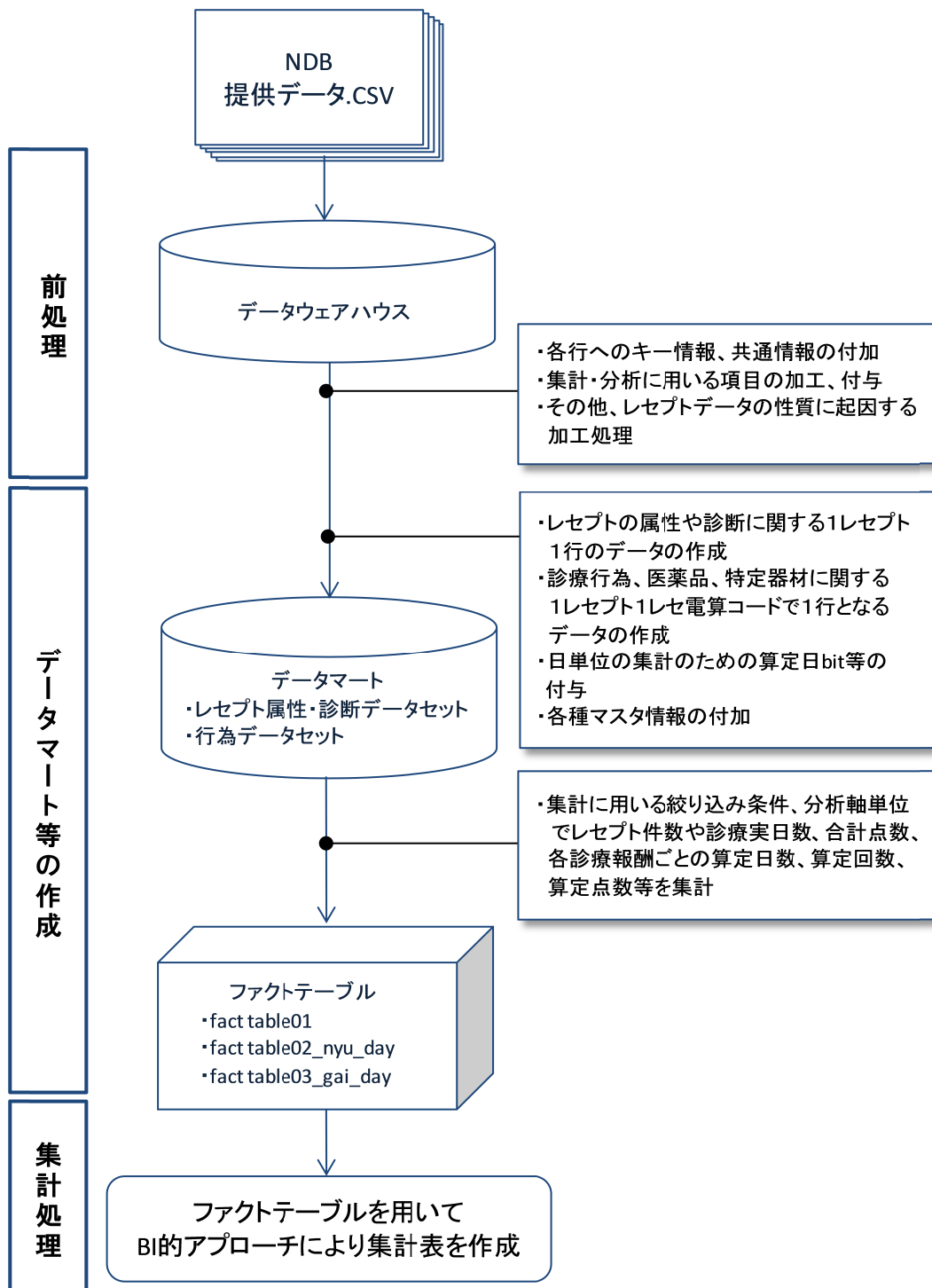
(入院・入院外別)



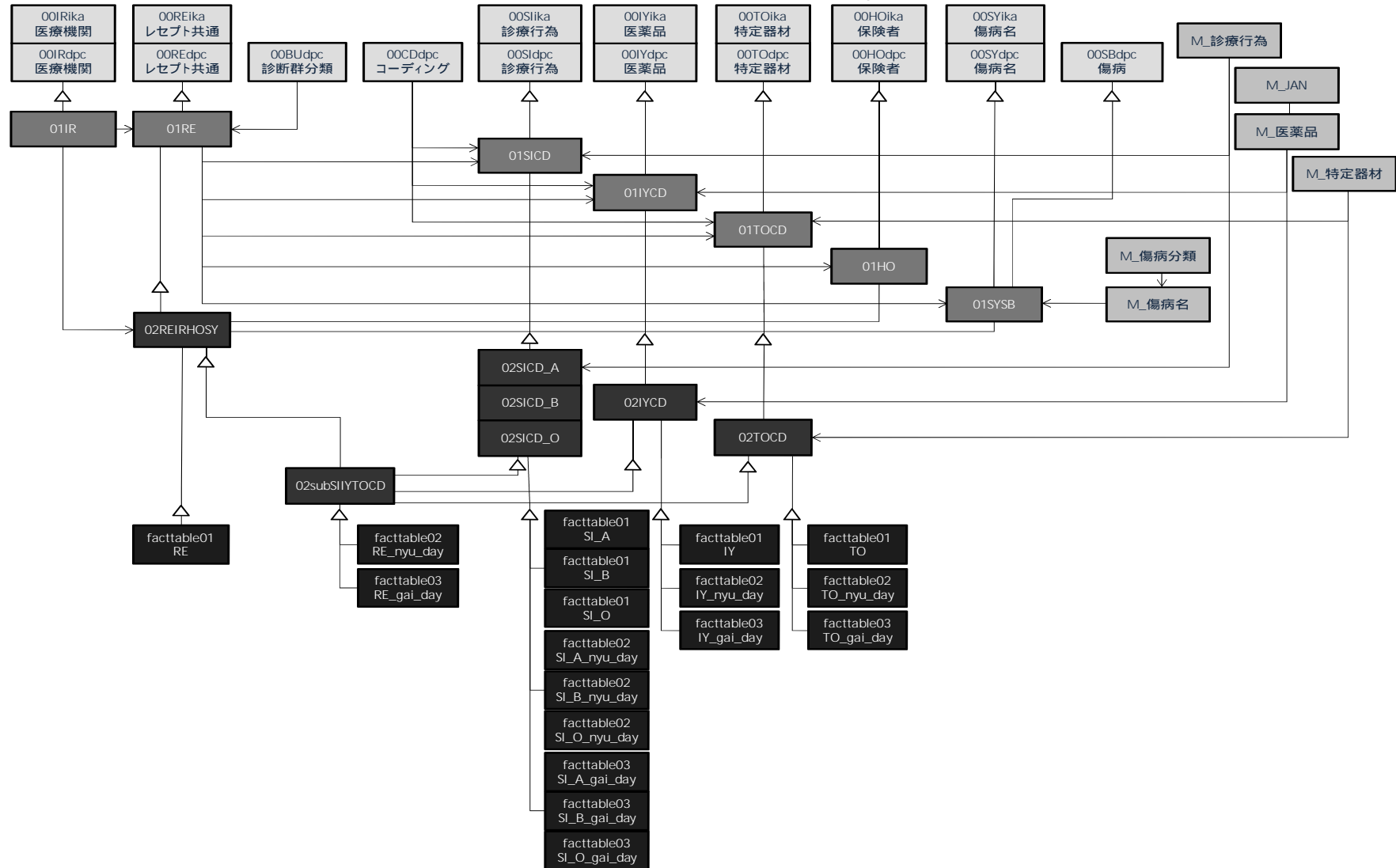
図表9 レセプト全体に占める主傷病の選択ルールにもとづいて決定した主傷病が
未コード化傷病名のレセプトの割合



図表 10 データベース・分析ツールの構築プロセス



図表 11 E-R 図 (Entity Relationship Diagram)



図表 12 主傷病の選択ルール

- ・ 医科レセプトにおける主傷病の選択に当たっては、本来、主傷病として想定されていない ICD コードが「V」又は「Z」、疾病分類コード「1503 単胎自然分娩」、「2210 重症急性呼吸器症候群[SARS]」の取り扱いを勘案しつつ、以下のとおり実施した。また、DPC レセプトでは、傷病レコードを優先的に用いて、同様に以下のとおり実施した。
- ・ なお、「未コード化傷病名」は、主傷病である可能性があるため、除外しないこととした。また、複数の傷病が候補として挙げた場合、傷病名レコードでは診療開始日を用いて選択するが、診療開始日が空欄の傷病名レコードがあった際には、空欄でない傷病名レコードのうちで最も新しい傷病名レコードを選択することとした。すべてのレコードの診療開始日が空欄又は最も新しい傷病名レコードが複数であった場合には、最初に出現した傷病名レコードとすることとした。同様の考え方から、傷病レコードでは最後に出現した傷病レコードを選択することとした。

【医科レセプト】

傷病名レコードが一つであった場合は、当該傷病で確定。

傷病名レコードが複数であって主傷病が一つであった場合は、当該傷病で確定

傷病名レコードが複数であって主傷病が複数あった場合、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを除くと傷病名レコードが一つであれば、当該傷病で確定。

傷病名レコードが複数であって主傷病が複数あった場合、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを除いて傷病名レコードが複数あれば、診療開始日が最も新しい傷病名レコードを選択して確定。

傷病名レコードが複数であって主傷病が複数あった場合、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを除くと傷病名レコードが一つもなくなる場合には、主傷病の中で ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを含めて診療開始日が最も新しい傷病名レコードを選択して確定。

傷病名レコードが複数であって主傷病が一つもない場合、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを除くと傷病名レコードが一つであれば、当該傷病で確定。

傷病名レコードが複数であって主傷病が一つもない場合、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを除いて傷病名レコードが複数あれば、診療開始日が最も新しい傷病名レコードを選択して確定。

傷病名レコードが複数であって主傷病が一つもない場合、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを除くと傷病名レコードが一つもなくなる場合には、ICD コードが「V」、「Z」、疾病分類コードが「1503」、「2210」のものを含めて診療開始日が最も新しい傷病名レコードを選択して確定。

図表 13 主傷病の選択ルール（つづき）

【DPC レセプト】

傷病レコードの医療資源を最も投入した傷病名が一つであった場合は、当該傷病で確定

傷病レコードの医療資源を最も投入した傷病名が複数あった場合、ICD コードが「V」_{JK}「Z」_{JK}、疾病分類コードが「1503」_{JK}「2210」_{JK}のものを除くと傷病レコードが一つであれば、当該傷病で確定。

傷病レコードの医療資源を最も投入した傷病名が複数あった場合、ICD コードが「V」_{JK}「Z」_{JK}、疾病分類コードが「1503」_{JK}「2210」_{JK}のものを除いて傷病レコードが複数あれば、最後に出現した傷病レコードを選択して確定。

傷病レコードの医療資源を最も投入した傷病名が複数あった場合、ICD コードが「V」_{JK}「Z」_{JK}、疾病分類コードが「1503」_{JK}「2210」_{JK}のものを除くと傷病レコードが一つもなくなる場合には、傷病レコードの主傷病名で ICD コードが「V」_{JK}「Z」_{JK}、疾病分類コードが「1503」_{JK}「2210」_{JK}のものを除いて傷病レコードが一つであれば、当該傷病で確定。傷病レコードが複数あれば、最後に出現した傷病レコードを選択して確定。

傷病レコードの医療資源を最も投入した傷病名、主傷病名で、ICD コードが「V」_{JK}「Z」_{JK}、疾病分類コードが「1503」_{JK}「2210」_{JK}のものを除くと傷病レコードが一つもなくなる場合には、医療資源を最も投入した傷病名の中で ICD コードが「V」_{JK}「Z」_{JK}、疾病分類コードが「1503」_{JK}「2210」_{JK}のものを含めて最後に出現した傷病レコードを選択して確定。

上記までの処理で傷病レコードを用いて主傷病が選択できなかった場合には、傷病名レコードを用いて医科レセプトと同様の処理を実施し、主傷病を確定。

図表 14 レセプト属性・診断データセット（02REIRHOSY）の構成

項目	データ取得レコード
キー情報	NDBデータ提供時に付与されるデータ等を利用
共通情報	IRレコード、REレコード等のデータ
都道府県	IRレコード
施設特性	NDBデータ提供時にIRレコードに付与されるデータを利用
DPC対象準備病院	NDBデータ提供時にIRレコードに付与されるデータを利用
病床規模	NDBデータ提供時にIRレコードに付与されるデータを利用
患者ID1	REレコード
年齢階級	NDBデータ提供時にREレコードに付与されるデータを利用
患者ID2	REレコード
保険種別1〔協会けんぽ〕	HOLレコード、保険種別が協会けんぽか否かを判定
診療実日数1〔協会けんぽ〕	HOLレコード、保険種別が協会けんぽの値
合計点数1〔協会けんぽ〕	HOLレコード、保険種別が協会けんぽの値
保険種別2〔組合健保〕	HOLレコード、保険種別が組合健保か否かを判定
診療実日数2〔組合健保〕	HOLレコード、保険種別が組合健保の値
合計点数2〔組合健保〕	HOLレコード、保険種別が組合健保の値
保険種別3〔共済等〕	HOLレコード、保険種別が共済等か否かを判定
診療実日数3〔共済等〕	HOLレコード、保険種別が共済等の値
合計点数3〔共済等〕	HOLレコード、保険種別が共済等の値
保険種別4〔国保〕	HOLレコード、保険種別が国保か否かを判定
診療実日数4〔国保〕	HOLレコード、保険種別が国保の値
合計点数4〔国保〕	HOLレコード、保険種別が国保の値
保険種別5〔後期高齢者医療制度〕	HOLレコード、保険種別が後期高齢者医療制度か否かを判定
診療実日数5〔後期高齢者医療制度〕	HOLレコード、保険種別が後期高齢者医療制度の値
合計点数5〔後期高齢者医療制度〕	HOLレコード、保険種別が後期高齢者医療制度の値
保険種別6〔その他〕	HOLレコード、保険種別が上記以外か否かを判定
診療実日数6〔その他〕	HOLレコード、保険種別が上記以外の値
合計点数6〔その他〕	HOLレコード、保険種別が上記以外の値
診療実日数計	HOLレコード、診療実日数の合算値
合計点数計	HOLレコード、合計点数の合算値
入院1日当たり点数階級	HOLレコード、入院レセプトの合計点数の合算値と診療実日数の合算値から1日当たり点数を算出して点数階級に変換
入院外1日当たり点数階級	HOLレコード、入院外レセプトの合計点数の合算値と診療実日数の合算値から1日当たり点数を算出して点数階級に変換
入院1件当たり点数階級	HOLレコード、入院レセプトの合計点数の合算値を点数階級に変換
入院外1件当たり点数階級	HOLレコード、入院外レセプト合計点数の合算値を点数階級に変換
傷病名コード	SYレコード/SYレコード
ICD10 1	レセプト内の主傷病の傷病名コードを傷病名マスタを用いてICD - 10 - 1に変換
傷病分類	レセプト内の主傷病の傷病名コードから変換したICD - 10 - 1を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換
疑い	修飾語コードをもとに、当該傷病が8002疑いか否かを判定

図表 15 行為データセット (02SICD、02IYCD、02TOCD) の構成

項目	診療行為データセット (SIレコード、CDレコードから取得)	医薬品データセット (IYレコード、CDレコードから取得)	特定器材データセット (TOレコード、CDレコードから取得)
キー情報	NDBデータ提供時に付与されるデータ等を利用		
共通情報	IRレコード、REレコード等のデータ		
レセ電算コード	診療行為コード	医薬品コード	特定器材コード
レセ電算コード名称	医科診療行為マスタの診療行為省略名称	医薬品マスタの基本漢字名称	特定器材マスタより特定器材名・規格名の漢字名称
マスタ情報	医科診療行為マスタのコード表用番号にもとづく解釈番号	日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタの薬価基準収載医薬品コードの上7桁の情報	特定器材マスタの新又は現金額の金額識別が1、4の場合、新又は現金額
マスタ情報	医科診療行為マスタの診療行為省略名称にもとづく、加算が否か判定	日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタにもとづく、後発品が否か判定	
マスタ情報	医科診療行為マスタの新又は現点数の「点数識別」が1、3、8の場合、新又は現点数	日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタにもとづく、後発のない先発品が否か判定	
マスタ情報	医科診療行為マスタのきざみ値計算識別	日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタにもとづく、先発品が否か判定	
マスタ情報	医科診療行為マスタのきざみ値	日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタにもとづく、同一剤形・規格の後発品がある先発品が否か判定	
マスタ情報	医科診療行為マスタのきざみ点数	日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタの薬価基準収載医薬品コードの上4桁の情報と成分別番号の組み合わせごとに、後発品が否か判定	
マスタ情報		医薬品マスタの新又は現金額の金額識別が1の場合、新又は現金額	
算定日数	各日の算定情報にもとづく算定日数		
算定数量/算定使用量	数量データと回数にもとづく算定数量	使用量と回数にもとづく算定使用量	使用量と回数にもとづく算定使用量
算定基本回数	医科診療行為マスタ、数量データ、回数にもとづく基本点数の算定回数		
算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、回数にもとづくきざみ点数の算定回数		
算定基本点数M	医科診療行為マスタ、数量データ、回数にもとづく算定基本点数		
算定きざみ点数M	医科診療行為マスタ、数量データ、回数にもとづく算定きざみ点数		
算定点数M/算定金額M	医科診療行為マスタ、数量データ、回数にもとづく算定点数	医薬品マスタ、使用量、回数にもとづく算定金額	特定器材マスタ、使用量、回数にもとづく算定金額
算定点数/算定金額	点数と回数をもとに算定点数を算出。	点数と回数をもとに算定金額を算出。	点数と回数をもとに算定金額を算出。
los_base	入院レセプトの場合に入院年月日から当該レセプトの診療年月の1日時点を差し引いた日数情報		
算定日bit	別途記載する方法にもとづく、算定日bitを付与。		

図表 16 行為データセット（02SICD、02IYCD、02TOCD）の構成（つづき）

項目	診療行為データセット (Sレコード、CDレコードから取得)	医薬品データセット (IYレコード、CDレコードから取得)	特定器材データセット (TOレコード、CDレコードから取得)
入院後日数bit	別途記載する方法にもとづき、入院後日数bitを付与。		
受診曜日bit	別途記載する方法にもとづき、受診曜日bitを付与。		
1日の算定基本回数/ 1日の算定使用量	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづく基本点数の算定回数	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量
2日の算定基本回数/ 2日の算定使用量	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづく基本点数の算定回数	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量
3日の算定基本回数/ 3日の算定使用量	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづく基本点数の算定回数	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量
4日の算定基本回数～28日の算定基本回数/4日の算定使用量～28日の算定使用量			
29日の算定基本回数/ 29日の算定使用量	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづく基本点数の算定回数	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量
30日の算定基本回数/ 30日の算定使用量	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづく基本点数の算定回数	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量
31日の算定基本回数/ 31日の算定使用量	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづく基本点数の算定回数	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量	使用量と算定日情報の各日の情報等にもとづく算 定使用量
1日の算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづくきざみ点数の算定回数		
2日の算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづくきざみ点数の算定回数		
3日の算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづくきざみ点数の算定回数		
4日の算定きざみ回数～28日の算定きざみ回数			
29日の算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづくきざみ点数の算定回数		
30日の算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづくきざみ点数の算定回数		
31日の算定きざみ回数	医科診療行為マスタ、数量データ、算定日情報の 各日の情報等にもとづくきざみ点数の算定回数		
都道府県	IRレコード		
施設特性	NDBデータ提供時にIRレコードに付与されるデータを利用		
DPC対象準備病院	NDBデータ提供時にIRレコードに付与されるデータを利用		
病床規模	NDBデータ提供時にIRレコードに付与されるデータを利用		
年齢階級	NDBデータ提供時にREレコードに付与されるデータを利用		
保険種別1	HOレコード、保険種別が協会けんぽか否かを判定		
診療実日数1	HOレコード、保険種別が協会けんぽの値		
合計点数1	HOレコード、保険種別が協会けんぽの値		

図表 17 行為データセット（02SICD、02IYCD、02TOCD）の構成（つづき）

項目	診療行為データセット (SIレコード、CDレコードから取得)	医薬品データセット (IYレコード、CDレコードから取得)	特定器材データセット (TOレコード、CDレコードから取得)
保険種別2	HOレコード、保険種別が組合健保か否かを判定		
診療実日数2	HOレコード、保険種別が組合健保の値		
合計点数2	HOレコード、保険種別が組合健保の値		
保険種別3	HOレコード、保険種別が共済等か否かを判定		
診療実日数3	HOレコード、保険種別が共済等の値		
合計点数3	HOレコード、保険種別が共済等の値		
保険種別4	HOレコード、保険種別が国保か否かを判定		
診療実日数4	HOレコード、保険種別が国保の値		
合計点数4	HOレコード、保険種別が国保の値		
保険種別5	HOレコード、保険種別が後期高齢者医療制度か否かを判定		
診療実日数5	HOレコード、保険種別が後期高齢者医療制度の値		
合計点数5	HOレコード、保険種別が後期高齢者医療制度の値		
保険種別6	HOレコード、保険種別が上記以外か否かを判定		
診療実日数6	HOレコード、保険種別が上記以外の値		
合計点数6	HOレコード、保険種別が上記以外の値		
診療実日数計	HOレコード、診療実日数の合算値		
合計点数計	HOレコード、合計点数の合算値		
入院1日当たり点数階級	HOレコード、入院レセプトの合計点数の合算値と診療実日数の合算値から1日当たり点数を算出して点数階級に変換		
入院外1日当たり点数階級	HOレコード、入院外レセプトの合計点数の合算値と診療実日数の合算値から1日当たり点数を算出して点数階級に変換		
入院1件当たり点数階級	HOレコード、入院レセプトの合計点数の合算値を点数階級に変換		
入院外1件当たり点数階級	HOレコード、入院外レセプト合計点数の合算値を点数階級に変換		
傷病分類	レセプト内の主傷病の傷病名コードから変換したICD - 10 - 1を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換		
マスタの作成・更新年月日情報	医科診療行為マスタの作成・更新年月日	医薬品マスタの作成・更新年月日	特定器材マスタの作成・更新年月日
マスタの作成・更新年月日情報		日本医薬品一般名称データベース(JAN)マスタ の作成・更新年月日	

図表 18 「算定日 bit」、「入院後日数 bit」、「受診曜日 bit」の付与の方法

算定日 bit は、算定日情報の「1日の情報」、「2日の情報」・・・「31日の情報」を参照のうえ、各日に行為等が算定されている場合には下位ビットより「1」、算定されていない場合には「0」とし、当該ビットパターンを2進数から10進数に変換して付与する。

例1：4月1日、2日、3日に「一般病棟7対1入院基本料」が算定されていた場合

0 1 1 1 10進数に変換 「7」を格納

例2：4月10日、18日、26日に「外来診療料」が算定されていた場合

0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 10進数に変換 「33686016」を格納

例3：4月1日、3日、18日、26日に行為等が「脳血管疾患等リハビリテーション料」が算定されていた場合

0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 0 1 10進数に変換 「33685509」を格納

同様に、入院後日数 bit は、入院年月日情報と算定日情報の「1日の情報」、「2日の情報」・・・「31日の情報」を参照のうえ、入院日から1日目、2日目・・・31日目以上で行為等が算定されている場合には下位ビットより「1」、算定されていない場合には「0」として付与する。

受診曜日 bit は、算定日情報の「1日の情報」、「2日の情報」・・・「31日の情報」を参照のうえ、各日の曜日が日曜日、月曜日・・・土曜日の際に行為等が算定されている場合には下位ビットより「1」、算定されていない場合には「0」として付与する。

例1：「精神病棟10対1入院基本料」が入院1～5日目に算定され、6～21日目まで転棟した後、22～40日目まで算定されていた場合

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0 1 1 1 1 1 10進数に変換 「2145386527」を格納

例2：4月中、1日（火）、4日（金）、11日（金）、16日（水）、25日（金）に「外来診療料」が算定されていた場合

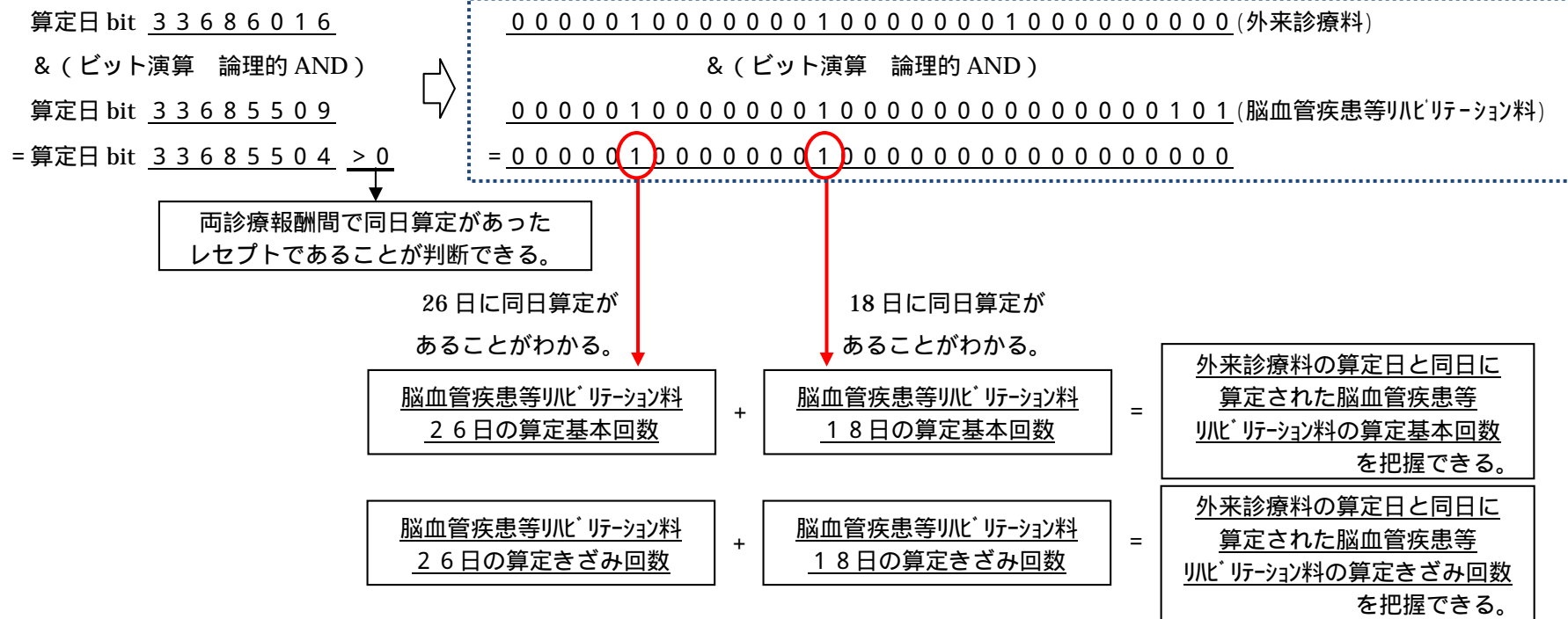
0 1 0 1 1 0 0 10進数に変換 「44」を格納

図表 19 各診療報酬間の同日算定の状況を把握するための「算定日 bit」の仕組み

同一レセプト内における各診療報酬間の同日算定の状況を集計する際は、1レセプト1レセ電算コードで1行となる形式で格納されたビットパターンについて、レセプト単位で同じ位置のビット毎に論理的 AND のビット演算を行う。

各ビット位置においてビットがともに1であれば「1」、いずれかが0であれば「0」が出力されるため、出力したビットが「0」以上であれば両者の診療報酬が同日に算定されたことが判断できる。さらに、出力ビットが1のビット位置に該当する日の日数、算定回数を合算することで、同一レセプトにおいて同日に算定された診療報酬の算定日数、算定回数を把握することができる。

例4：上記の例2、3にもとづき、「外来診療料」と「脳血管疾患等リハビリテーション料」が同日に算定されたことがあるレセプトを抽出し、同日に算定された「脳血管疾患等リハビリテーション料」の算定基本回数、算定きざみ回数を算出する。



厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールの
プロトタイプの試作

石川 ベンジャミン 光一

	国立がん研究センターがん対策情報センター 室長	分担研究者
堀口 裕正	国立病院機構本部総合研究センター 主席研究員	分担研究者
藤森 研司	東北大学大学院医学系研究科医学部医療管理学分野 教授	分担研究者
井高 貴之	国立病院機構本部総合研究センター 主任研究員	研究協力者

研究要旨：

「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」における検討結果を踏まえ、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータや厚生労働省から提供された NDB データを用いて、データベース・分析ツールのプロトタイプの試作や各種検証を行い、具体的なデータベースの規模、処理能力の設計等の開発に係る各種検討、分析ツールに求められる機能の実現可能性等に係る検討を行った。

国立病院機構データを用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作することで、テーブル作成や集計に係る処理のプロセスを整理することができた。また、診療報酬改定に係る作業に必要となる一連の集計を行うことができ、求められている機能の実現可能性等があることを明らかにした。さらに、厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて、テーブル定義等の仕様の差異やデータサイズの違いに起因する問題等を把握し、本データベース・分析ツールで必要となる処理の動作確認を行うとともに、主な処理に要する時間も明らかにした。今後、抽出データによる対応やそのための集計・分析に適した抽出方法についても検討を行い、診療報酬改定の作業に資する処理速度等を実現するための具体的な手法について明らかにしていくことが求められる。

A．研究目的

本研究では、「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」における検討結果を踏まえ、実際のデータベース・分析ツールの構築に向けて、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータを用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、データベース・分析ツ

ールの構築プロセスの整理、機能の実現可能性や有用性等の検討を行うとともに、厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて同様の処理過程を再現し、データベースの規模や処理能力等の設計等の開発に係る各種検討、分析ツールに求められる機能の実現可能性の検証等を行うことを目的とした。

B . 研究方法

1 . 国立病院機構データを用いたデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作

本研究では、まず、国立病院機構 144 病院から収集した患者 ID の連結可能匿名化された医科レセプトデータ (144 病院分)、DPC レセプトデータ (53 病院分) のうち、2012 年 4 月～2013 年 3 月診療分であって 2012 年 5 月～2013 年 4 月請求分のデータをもとに、Microsoft 社の SQL Server Management Studio を用いて各種データマート、ファクトテーブルを作成した。その際、国立病院機構の各病院から提出されたデータは通常のレセプトデータの形式であるため、実際に用いる NDB データを想定した形式に変換した。

そして、近年、大規模データ分析に用いられている Qlikview 社の Qlikview 等の分析ツールや Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールを候補として検討しつつ、実際にデスクトップ型の分析ツールのプロトタイプを開発し、データベース・分析ツールの構築プロセスの整理や動作確認、求められる機能の実現可能性や有用性等の検討を行った。

なお、本作業は、以下の環境により実施した。

- ・ プロセッサ : Intel(R)Xeon(R)CPU E5-2609 0 @ 2.40GHz 2.40GHz (2 プロセッサ)
- ・ 実装メモリ (RAM) : 32.0GB
- ・ HDD : 40GB+514GB+1.1TB+1.1TB+1.99TB
- ・ OS : Windows Server 2012 Standard
- ・ RDBMS : Microsoft SQL Server 2008

2 .NDB データを用いたデータベース・分析ツールのプロトタイプの検証

次に、実際に今後の使用が想定される厚生労働省から提供された NDB に格納された 2012 年 4 月～2013 年 3 月診療分のレセプトデータを用いて、前述の国立病院機構データで試作したデータベース・分析ツールのプロトタイプと同様の処理過程を再現し、実際の NDB データのデータ提供形式や規模の違いに起因する問題の有無、集計・分析過程における動作確認、処理に要する時間等の把握等を行い、データベースの規模や処理能力の設計等の開発に係る各種検討、分析ツールに求められる機能の実現可能性の検証等を行った。NDB データの利用にあたっては、「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するガイドライン」に則り、平成 25 年 7 月 24 日付でレセプト情報の提供に関する申し出を行った。そして、有識者会議における審査を経て、平成 26 年 1 月 16 日にデータの提供を受けた。

なお、本作業は、実際の分析ツールの利用環境を想定し、外部環境と遮断した独立した形で簡易的なサーバを設置するとともに、機器等に係る費用を極力抑える方針のもとに実施した。また、以下の環境により実施した。

- ・ プロセッサ : Intel(R)Xeon(R)CPU X5650 @2.67GHz 2.66GHz(2 プロセッサ)
- ・ 実装メモリ (RAM) : 48.0GB
- ・ HDD : 556GB+1.81TB+1.81TB+1.81TB+5.44TB+2.17TB+3.72TB+557GB
- ・ OS : Windows7Professional (64bit)
- ・ RDBMS : Microsoft SQL Server 2008

(倫理面への配慮)

本研究は「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて行われた。個人情報保護に十分配慮し、構築されたデータベースから個人の特定ができない方式を採用した。また、独立行政法人国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認の下、データの収集・管理には安全管理措置を講じた。

C. 研究結果

本研究の結果を以下に示す。なお、結果の一部については、別表としてまとめ、報告書巻末の付録 CD-ROM に収載した。また、具体的な分析ツール案、および NDB データを用いた各種検証作業における集計表の集計結果についても、報告書巻末の付録の CD-ROM に収載しているため、適宜参照されたい。

1. 国立病院機構データを用いたデータベース・分析ツールのプロトタイプの試作

データベース・分析ツールの試作の前段階として、国立病院機構 144 病院から収集した 2012 年 4 月～2013 年 3 月診療分であって 2012 年 5 月～2013 年 4 月請求分の医科レセプトデータ、DPC レセプトデータをもとに、SQL Server を用いて図表 1、別表 1～別表 18 のとおり NDB データを想定した形式に加工し、データベース・分析ツールに取り込む元となるデータウェアハウス「テーブル 00」を作成した。

上記の NDB 形式に加工した国立病院機構データをもとに、先行研究「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」で検討されたデータの付加、抽出、加工を行い、図表 2、別表 19～別表 29

のとおり、中間テーブル「テーブル 01」を作成した。この「テーブル 01」を用いて、図表 3 に示すデータマート「テーブル 02」として、別表 30～別表 31 のレセプト属性データセットを作成するとともに、1 レセプト 1 レセ電算コードごとに 1 行となるよう集計して各種マスタ情報を付加し、別表 32～別表 42 の行為データセットを作成した。なお、先行研究「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」における検討を踏まえ、試行的に「テーブル 02」を 1 レセプト 1 レセ電算コード 1 算定年月日ごとに 1 行となるよう算定情報を縦に持つ形式に変換したところ、データ領域、行数は別表 43～別表 48 のとおりとなった。

さらに、集計に必要な絞り込み条件や分析軸単位でレセプト件数や診療実日数、各診療報酬ごとの算定回数、算定点数等を集計し、図表 4、別表 49～図表 74 のとおり「ファクトテーブル」を作成した。

その後、このファクトテーブルを用いて集計処理を行う分析ツールとして、QlikView 等の専用ツールや、Excel/SQL Server の組み合わせによる汎用ツールを候補として検討した。本分析ツールを利用することが想定される厚生労働省では、定期的に人事異動があり、分析ツールを用いる担当者も頻繁に交代することが予想される。分析ツールの操作等に当たっては可能な限りハードルが低いものが望ましい。そこで、一般的に広く利用されている Microsoft 社の Excel をインターフェイスとし、Excel/SQL Server を組み合わせた分析ツールを開発した。本分析ツールにおいて集計可能な絞り込み条件、分析軸、集計対象

となる値は、図表 5～図表 7 のとおりである。

本分析ツールは、通常集計を行う「分析ツール（通常集計）.xlsm」、ある診療報酬 A を算定している施設における他の診療報酬 B の算定状況を集計する「分析ツール（算定施設集計）.xlsm」、ある診療報酬 A を算定しているレセプトにおける他の診療報酬 B の算定状況を集計する「分析ツール（算定レセプト集計）.xlsm」、あるレセプトにおいて診療報酬 A の算定日と同日に算定している診療報酬 B の算定状況を集計する「分析ツール（同日算定集計）.xlsm」から構成される。「分析ツール（通常集計）.xlsm」を用いた通常集計における具体的な操作画面イメージ、操作手順、集計結果イメージは、図表 8～図表 11 のとおりである。Excel と SQL Server を起動させた状態で使用し、Excel をインターフェースとしてあらかじめファクトテーブルに組み込んだ絞り込み条件、分析軸を指定し、SQL 実行ボタンを押下する。そうすると、自動的にクエリが作成され、SQL Server 側で集計処理を実行し、Excel に集計結果が出力される仕組みとなっている。

また、ある診療報酬 A を算定している施設やレセプトにおける他の診療報酬 B の算定状況、あるいはあるレセプトにおいて診療報酬 A の算定日と同日に算定している診療報酬 B の算定状況の集計に当たっては、集計の都度、テーブル間の突合や「算定日 bit」による方法を用いて条件に該当するレセプトを特定・抽出し、集計時に使用する絞り込み条件や分析軸を指定して随時ファクトテーブルを作成する仕組みとなっている。例として、「分析ツール（同日算定集

計）.xlsm」を用いて、あるレセプトにおける 2 つの診療報酬間の同日算定の状況を集計する際の操作画面イメージ、集計結果イメージを図表 12～図表 16 に示す。「分析ツール（算定施設集計）.xlsm」、「分析ツール（算定レセプト集計）.xlsm」を用いた分析についても画面イメージ、操作内容は同様のものとなる。

2 .NDB データを用いたデータベース・分析ツールのプロトタイプ検証

次に、NDB データを用いて、前述の国立病院機構データによるプロトタイプの試作と同様の処理過程を再現した。なお、実際の NDB データにおけるデータ提供形式を確認したところ、例えば、医療機関が診療報酬請求の際に用いるレセプトデータでは複数の RE レコードに対して 1 レコードある IR レコードが、1 レコード対 1 レコードの関係で RE レコードの直前の行にそれぞれ格納されている等、一部の形式が想定と異なっていた。また、データ提供から研究終了までの期間が約 2 カ月間強であったため、NDB データの規模を勘案すると、国立病院機構データによるプロトタイプの試作と同様の工程を全て実施することは困難であることが予想された。そこで、処理のプロセスやテーブルの項目について検証作業を目的とした内容に見直し、図表 17、図表 18 の E-R 図、図表 19、別表 75～別表 97 のテーブル定義に従って各テーブルを作成して動作確認や処理速度の測定等の検証を行った。また、本作業では、全てのプロセスにおいて医科レセプト・DPC レセプトごとに NDB 格納月単位でテーブルを分けてデータサイズを抑えながら並列で処理を実

行することで迅速化を図った。

NDB データを用いて各テーブル作成に要した時間、データ領域、行数等は、上記の別表 75～別表 97 にあわせて記載したとおりである。このファクトテーブルを用いて、レセプト情報の提供に関する申出時に示した図表 20～図表 28 の集計表を作成したところ、集計表 01～集計表 21 は 1 表当たり概ね 30 分間程度、入院後日数や受診曜日といった複雑なロジックによる集計表 22～集計表 27 でも 1 時間程度の時間を要する状況であった。

D．考察

本研究では、国立病院機構データを用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、テーブル作成や集計に係る処理のプロセスの整理、機能の実現可能性や有用性についての検証を行うとともに、NDB データを用いて同様の処理過程を再現し、集計・分析過程における動作確認、テーブル作成や集計の処理に要する時間からデータベースの規模や処理能力の設計等の開発に係る各種検討を行った。

国立病院機構データを用いてデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作したことにより、テーブル作成や集計処理に係る処理プロセスの整理や実際の動作確認を行うことができた。また、プロトタイプを用いて診療報酬改定の作業に必要な一連の集計処理を行うことができ、求められている機能の実現可能性があることが明らかになった。さらに、NDB データの提供から研究終了までの期間が短期間であったため、国立病院機構データによるプロトタイプの試作と同様の工程を全て再現すること

は困難であったが、NDB データを用いて本データベース・分析ツールで必要となる処理の動作確認を行うことができ、主な処理に要する時間も明らかにすることができた。

実際の診療報酬改定に係る作業を想定した場合、主要なテーブルは一度作成すれば良いことからある程度長時間かかっても問題ないと考えられる。一方、集計処理は頻回に実施することが想定されるため、比較的短時間で実施できることが望ましい。本データベースは、研究結果で示した NDB に格納された 1 年間分のレセプトデータの量を取り扱うことのできるデータ容量とすることが必要である。また、本研究で省略したプロセスや項目も含めて処理を行うことを勘案すると、データベースの構築で要求される処理時間は、データ取り込み 5 日以内、データベース構築 2 カ月以内とすることが妥当であろう。分析ツールを用いた集計で要求される処理時間等の想定は、1 回あたりの集計 30 分～1 時間以内、複雑なロジックによる集計で新たにファクトテーブルを作成する必要がある場合等は 1 ファクトテーブル作成につき 1 週間程度以内とすることが妥当であると考えられる。

現在、改定作業に活用されている社会医療診療行為別調査の特別集計における集計部分の期間は 4 日間程度であり、本研究で提示した仕組みの方が迅速に対応できると考えられる。ただし、集計処理は頻回に繰り返しながら実施することが予想され、複数の集計処理を同時に実行した場合等には、本来求めている処理速度等が実現しない可能性も高い。今後、診療報酬改定におけるレセプトデータの利活用を着実に進めていくためには、扱うデータの範囲や費用、実

現する機能・性能のいずれかを見直す等してより一層の処理の効率化を図らなければならない。

処理速度を向上させる方法として、例えば、集計対象をいくつかに分割して水平展開し、複数のスレッドを使用して分散処理を行うことが考えられる。また、NDBの一年間分のデータの全てを本データベース・分析ツールに取り込んで今回システムのベースとなるデータマートを作成したうえで、全数データを用いて行う集計と抽出データで行う集計を区別して実施することも考えられる。最終結果として会議資料で必要となる正しい集計は、集計に長時間を要したとしても全数データを用いて実施し、確実な数値を算出することが望ましい。一方、中間成果物としてまずおおよその実態を掴むために試行的に行う集計は、抽出データを用いて比較的短時間で対応することで処理速度の向上を図ることが可能となる。

抽出データによる対応方法を採用する場合には、どのような前提でどのように抽出を行ったかという点を明示する必要がある。また、抽出データによる集計の結果からどのように最終結果を推定すれば良いか、その精度がどの程度かを判断する材料をあわせて算出することも必要であろう（レセ電算コード別件数等を用いて、抽出条件からの推計パラメータを求める集計を行う等）。例えば、患者個別のハッシュ値を用いて患者単位で一定割合を無作為抽出する方法が考えられるが、その際には、事前に抽出に用いるハッシュ値における特定の値の発生率等を確認することも必要である。集計・分析の目的に適した抽出方法の検討、抽出に用いるデータの利用に係る信頼性の確認

等は、今後の課題である。

E．結論

本研究では、先行研究「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」の研究成果を踏まえつつ、国立病院機構 144 病院から収集した 2012 年度診療分のレセプトデータを用いて実際に診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作し、テーブル作成や集計処理に係る処理プロセス等を整理し、求められている機能の実現可能性等があることを明らかにした。さらに、厚生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて、テーブル定義等の仕様の差異やデータサイズの違いに起因する問題等を把握し、本データベース・分析ツールで必要となる処理の動作確認を行うとともに、主な処理に要する時間も明らかにした。本来求めている処理速度等を実現するためには、今後、抽出データによる対応やそのための集計・分析に適した抽出方法についても検討する必要がある。NDB データを利活用してエビデンスにもとづく診療報酬改定を実現していくために、診療報酬改定の作業に資する処理速度等を実現するための具体的な手法について早急に明らかにすることが望まれる。

F．研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

G．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3.その他

なし

図表 1 テーブル 00 におけるテーブル一覧

テーブル名	概 要	データ領域	行 数
00IRika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトの医療機関情報レコードの情報	224KB	3,471行
00REika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトのレセプト共通レコードの情報	951,672KB	7,498,893行
00HOika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトの保険者レコードの情報	416,784KB	7,241,485行
00SYika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトの傷病名レコードの情報	3,639,080KB	60,214,315行
00Slika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトの診療行為レコードの情報	40,046,176KB	120,138,509行
00IYika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトの医薬品レコードの情報	5,029,600KB	15,088,795行
00TOika	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工した医科レセプトの特定器材レコードの情報	630,168KB	1,823,287行
00IRdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの医療機関情報レコードの情報	88KB	1,289行
00REdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトのレセプト共通レコードの情報	87,456KB	681,040行
00HOdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの保険者レコードの情報	37,872KB	657,953行
00BUdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの診断群分類レコードの情報	39,008KB	557,663行
00SBdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの傷病レコードの情報	225,568KB	3,580,382行
00SYdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの傷病名レコードの情報	39,072KB	650,927行
00Slidpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの診療行為レコードの情報	2,907,160KB	8,721,471行
00IYdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの医薬品レコードの情報	1,249,952KB	3,749,849行
00TOdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトの特定器材レコードの情報	274,336KB	790,096行
00CDdpc	厚生労働省から提供されるNDBデータの形式に加工したDPCレセプトのコーディングデータレコードの情報	7,421,856KB	78,325,593行

図表2 テーブル01（中間テーブル）におけるテーブル一覧

テーブル名	概 要	データ領域	行 数
01IR	00IRika、00IRdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加した情報	584KB	4,760行
01RE	00REika、00REdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加した情報	1,708,872KB	8,179,933行
01HO	00HOika、00HOdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加するとともに、保険種別ごとに横形式に変換してレセプト単位で合算した情報	1,528,392KB	7,899,438行
01SYSB	00SYika、00SYdpc、00SBdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加するとともに、各種マスタを用いて分析軸となる「傷病(中分類)」に変換、さらに主傷病選択ルールにもとづいて主傷病を確定した情報	8,959,952KB	64,445,291行
01SICD	00SIika、00SIdpc、00CDdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加するとともに、「数量データ」、「回数」、「点数」、「算定日情報の各日の情報」、各種マスタ情報を用いて「算定数量」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」、「算定点数」等を算出、さらに00CDの「実施年月日」をもとに横形式に変換して重複データを除外した情報	97,989,472KB	146,984,199行
01IYCD	00IYika、00IYdpc、00CDdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加するとともに、「使用量」、「回数」、「点数」、「算定日情報の各日の情報」、各種マスタ情報を用いて「算定使用量」、「算定金額」等を算出、さらに00CDの「実施年月日」をもとに横形式に変換して重複データを除外した情報	9,453,216KB	25,361,278行
01TOCD	00TOika、00TOdpc、00CDdpcをあわせてキー情報、共通情報を付加するとともに、「使用量」、「回数」、「点数」、「算定日情報の各日の情報」、各種マスタ情報を用いて「算定使用量」、「算定金額」等を算出、さらに00CDの「実施年月日」をもとに横形式に変換して重複データを除外した情報	1,253,144KB	3,340,431行

図表 3 テーブル 02 におけるテーブル一覧

テーブル名	概 要	データ領域	行 数
02REIRHOSY	01IR、総括レセプトベースの01RE、01HO、01SYSBの主傷病情報のうち、集計に必要な情報を抽出、加工してあわせた情報	2,148,472KB	8,022,695行
02SICD_A	01SICDのうち、医科診療行為マスタ「コード表用番号」がAの情報を抽出してレセプト単位、レセ電算コード単位で合算するとともに、算定日数、算定日bit、入院後日数bit、受診曜日bit等を付与、さらに集計に必要なとなる医科診療行為マスタ情報、01IR情報、01RE情報、01HO情報、01SYSB情報等を付与した情報。	10,737,192KB	12,079,337行
02SICD_B	01SICDのうち、医科診療行為マスタ「コード表用番号」がB～Nの情報を抽出してレセプト単位、レセ電算コード単位で合算するとともに、算定日数、算定日bit、入院後日数bit、受診曜日bit等を付与、さらに集計に必要なとなる医科診療行為マスタ情報、01IR情報、01RE情報、01HO情報、01SYSB情報を等付与した情報。	103,710,632KB	116,674,453行
02SICD_O	01SICDのうち、医科診療行為マスタ「コード表用番号」がA～N以外の情報を抽出してレセプト単位、レセ電算コード単位で合算するとともに、算定日数、算定日bit、入院後日数bit、受診曜日bit等を付与、さらに集計に必要なとなる医科診療行為マスタ情報、01IR情報、01RE情報、01HO情報、01SYSB情報等を付与した情報。	2,808,328KB	3,159,361行
02IYCD	01IYCDの情報をレセプト単位、レセ電算コード単位で合算するとともに、算定日数、算定日bit、入院後日数bit、受診曜日bit等を付与、さらに集計に必要なとなる医薬品マスタ情報、日本医薬品一般名称データベースマスタ情報、01IR情報、01RE情報、01HO情報、01SYSB情報等を付与した情報。	11,624,968KB	19,120,397行
02TOCD	01TOCDの情報をレセプト単位、レセ電算コード単位で合算するとともに、算定日数、算定日bit、入院後日数bit、受診曜日bit等を付与、さらに集計に必要なとなる01IR情報、01RE情報、01HO情報、01SYSB情報等を付与した情報。	1,382,160KB	2,351,039行
02subSIIYTOCD	02REIRHOSYの情報をベースに、02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O、02IYCD、02TOCDを用いてレセプト単位で各日の算定状況を把握するための入院後日数bit、受診曜日bit等を算出して付与した情報。	1,576,672KB	8,022,695行

図表 4 ファクトテーブルにおけるテーブル一覧

テーブル名	概 要	データ領域	行 数
facttable01RE	02REIRHOSYをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセプトの「件数」、「診療実日数」、「合計点数」を集計した情報	440,688KB	6,334,669行
facttable02RE_nyu_day	02subSIIYTOCDをもとに、集計に必要な分析軸単位で入院レセプトの入院後1日目～入院後31日目以上の「件数」、「診療実日数」、「合計点数」を集計した情報	671,568KB	923,393行
facttable03RE_gai_day	02subSIIYTOCDをもとに、集計に必要な分析軸単位で入院外レセプトの日曜日～土曜日の「件数」、「診療実日数」、「合計点数」を集計した情報	1,139,224KB	5,411,273行
facttable01SI_A	02SICD_Aをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとにレセプトの「件数」、「診療実日数」、「合計点数」、「算定日数」、「算定数量」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」、「算定点数」等を集計した情報	2,006,888KB	10,187,118行
facttable02SI_A_nyu_day	02SICD_Aをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院レセプトの入院後1日目～入院後31日目以上の「件数」、「診療実日数」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」等を集計した情報	5,814,240KB	3,633,879行
facttable03SI_A_gai_day	02SICD_Aをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院外レセプトの日曜日～土曜日の「件数」、「診療実日数」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」等を集計した情報	3,367,896KB	6,553,233行
facttable01SI_B	02SICD_Bをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとにレセプトの「件数」、「診療実日数」、「合計点数」、「算定日数」、「算定数量」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」、「算定点数」等を集計した情報	21,063,192KB	106,504,360行
facttable02SI_B_nyu_day	02SICD_Bをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院レセプトの入院後1日目～入院後31日目以上の「件数」、「診療実日数」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」等を集計した情報	52,775,104KB	32,984,428行
facttable03SI_B_gai_day	02SICD_Bをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院外レセプトの日曜日～土曜日の「件数」、「診療実日数」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」等を集計した情報	39,144,064KB	73,519,879行
facttable01SI_O	02SICD_Oをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとにレセプトの「件数」、「診療実日数」、「合計点数」、「算定日数」、「算定数量」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」、「算定点数」等を集計した情報	564,560KB	2,854,337行
facttable02SI_O_nyu_day	02SICD_Oをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院レセプトの入院後1日目～入院後31日目以上の「件数」、「診療実日数」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」等を集計した情報	4,410,648KB	2,756,648行
facttable03SI_O_gai_day	02SICD_Oをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院外レセプトの日曜日～土曜日の「件数」、「診療実日数」、「算定基本回数」、「算定きざみ回数」、「算定基本点数」、「算定きざみ点数」等を集計した情報	52,112KB	97,689行
facttable01IY	02IYCDをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとにレセプトの「件数」、「診療実日数」、「合計点数」、「算定日数」、「算定使用量」、「算定金額」等を集計した情報	3,008,000KB	18,588,211行
facttable02IY_nyu_day	02IYCDをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院レセプトの入院後1日目～入院後31日目以上の「件数」、「診療実日数」、「算定使用量」、「算定金額」等を集計した情報	16,027,416KB	14,023,985行
facttable03IY_gai_day	02IYCDをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院外レセプトの日曜日～土曜日の「件数」、「診療実日数」、「算定使用量」、「算定金額」等を集計した情報	1,659,856KB	4,564,219行
facttable01TO	02TOCDをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとにレセプトの「件数」、「診療実日数」、「合計点数」、「算定日数」、「算定使用量」、「算定金額」等を集計した情報	375,104KB	2,281,763行
facttable02TO_nyu_day	02TOCDをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院レセプトの入院後1日目～入院後31日目以上の「件数」、「診療実日数」、「算定使用量」、「算定金額」等を集計した情報	2,281,872KB	1,996,637行
facttable03TO_gai_day	02TOCDをもとに、集計に必要な分析軸単位でレセ電算コードごとに入院外レセプトの日曜日～土曜日の「件数」、「診療実日数」、「算定使用量」、「算定金額」等を集計した情報	102,736KB	285,125行

図表 5 本分析ツールにおいて集計可能な絞り込み条件、分析軸、集計対象となる値

[絞り込みの条件 1](全集計共通)

- (1)都道府県
- (2)病院診療所
- (3)施設特性
- (4)DPC 対象準備病院
- (5)病床規模
- (6)入院 / (7)入院外
- (8)診療年月
- (9)年齢階級
- (10)傷病分類
- (11)保険種別 1 (協会けんぽ) / (12)保険種別 2 (組合健保) / (13)保険種別 3 (共済等) /
- (14)保険種別 4 (国保) / (15)保険種別 5 (後期高齢者医療制度) / (16)保険種別 6 (その他)
- (17)入院 1 日当たり点数階級
- (18)入院外 1 日当たり点数階級
- (19)入院 1 件当たり点数階級
- (20)入院外 1 件当たり点数階級

[絞り込みの条件 2](診療行為の集計時)

- (21)診療行為コード
- (22)解釈番号
- (23)加算か否かのフラグ
- (24)診療行為の点数単価 (任意の値以上の診療行為を指定) / (25)診療行為の点数単価 (任意の値未満の診療行為を指定)

[絞り込みの条件 3](医薬品の集計時)

- (26)医薬品コード
- (27)薬価基準 7 コード
- (28)後発品か否かのフラグ
- (29)後発のない先発品か否かのフラグ
- (30)先発品か否かのフラグ
- (31)同一剤形・規格の後発品がある先発品か否かのフラグ
- (32)同一薬効・成分の後発品がある先発品か否かのフラグ
- (33)医薬品の金額単価 (任意の値以上の医薬品を指定) / (34)医薬品の金額単価 (任意の値未満の医薬品を指定)

[絞り込みの条件 4](特定器材の集計時)

- (35)特定器材コード
- (36)特定器材の金額単価 (任意の値以上の特定器材を指定) / (37)特定器材の金額単価 (任意の値未満の特定器材を指定)

[絞り込みの条件 5](ある診療報酬の算定状況を踏まえた集計時)

- (38)ある診療報酬を算定していた施設 (ある診療報酬は任意で指定)
- (39)ある診療報酬を算定していたレセプト (ある診療報酬は任意で指定)
- (40)ある診療報酬の算定日と同日に他のある診療報酬を算定していたレセプト (ある診療報酬および他のある診療報酬は任意で指定)

[分析軸 1](全集計共通)

- (41)上記の(1) ~ (20)
- (42)日数軸 (入院レセプト : 入院 1 日目...入院 31 日目以上、入院外レセプト : 日曜日...土曜日)

図表 6 本分析ツールにおいて集計可能な絞り込み条件、分析軸、集計対象となる値（つづき）

〔分析軸 2 〕(診療行為の集計時)

- (43)診療行為コード、診療行為名称、解釈番号、加算か否かのフラグ、点数単価、きざみ値
計算識別、きざみ値、きざみ点数単価

〔分析軸 3 〕(医薬品の集計時)

- (44)医薬品コード、医薬品名称、薬価基準 7 コード、後発品、後発のない先発品、先発品、
同一剤形・規格の後発品がある先発品、同一薬効・成分の後発品がある先発品、金額単
価

〔分析軸 4 〕(特定器材の集計時)

- (45)特定器材コード、特定器材名称、金額単価

〔分析軸 5 〕(解釈番号単位の診療行為の集計時)

- (46)解釈番号

〔分析軸 6 〕(薬価基準コード 7 桁単位の医薬品の集計時)

- (47)薬価基準 7 コード、後発品、後発のない先発品、先発品、同一剤形・規格の後発品が
ある先発品、同一薬効・成分の後発品がある先発品

〔集計対象となる値 1 〕(レセプトベースの集計時)

- (48)レセプトの件数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上ある
いは日曜日...土曜日に何らかの行為が行われたレセプトを抽出し、件数を集計）
(49)レセプトの診療実日数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目
以上あるいは日曜日...土曜日に何らかの行為が行われたレセプトを抽出し、当該レセプト
の診療実日数を集計）
(50)レセプトの合計点数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上
あるいは日曜日...土曜日に何らかの行為が行われたレセプトを抽出し、当該レセプトの
合計点数を集計）

〔集計対象となる値 2 〕(診療行為の集計時)

- (51)レセプトの件数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上ある
いは日曜日...土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、件数を集計）
(52)レセプトの診療実日数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目
以上あるいは日曜日...土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、当該レセ
プトの診療実日数を集計）
(53)レセプトの合計点数
(54)診療行為の算定日数
(55)診療行為の算定数量
(56)診療行為の算定基本回数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目
以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該診療行為の算定基本回数を集計）
(57)診療行為の算定きざみ回数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日
目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該診療行為の算定きざみ回数を集計）
(58)診療行為のマスタを用いて算出した算定基本点数（分析軸で日数軸を指定した場合は、
入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該診療行為の算定
基本点数を集計）
(59)診療行為のマスタを用いて算出した算定きざみ点数（分析軸で日数軸を指定した場合は、
入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該診療行為の算定
きざみ点数を集計）
(60)診療行為のマスタを用いて算出した算定点数（算定基本点数と算定きざみ点数の合計）
(61)診療行為の請求点数を用いて算出した算定点数

図表 7 本分析ツールにおいて集計可能な絞り込み条件、分析軸、集計対象となる値（つづき）

[集計対象となる値 3](医薬品、特定器材の集計時)

- (62) レセプトの件数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、件数を集計）
- (63) レセプトの診療実日数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、当該レセプトの診療実日数を集計）
- (64) レセプトの合計点数
- (65) 医薬品・特定器材の算定日数
- (66) 医薬品・特定器材の算定使用量（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該医薬品・特定器材の算定使用量を集計）
- (67) 医薬品・特定器材のマスタを用いて算出した算定金額（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該診療行為の算定基本点数を集計）
- (68) 医薬品・特定器材の請求金額を用いて算出した算定金額

[集計対象となる値 4](解釈番号単位の診療行為の集計時)

- (69) レセプトの件数
- (70) レセプトの診療実日数
- (71) レセプトの合計点数
- (72) 診療行為の算定日数
- (73) 診療行為のマスタを用いて算出した算定点数
- (74) 診療行為の請求点数を用いて算出した算定点数

[集計対象となる値 5](薬価基準コード 7 桁単位の医薬品の集計時)

- (75) レセプトの件数
- (76) レセプトの診療実日数
- (77) レセプトの合計点数
- (78) 医薬品・特定器材の算定日数
- (79) 医薬品・特定器材のマスタを用いて算出した算定金額
- (80) 医薬品・特定器材の請求金額を用いて算出した算定金額

[集計対象となる値 6](絞り込みの条件(40)による集計時は、上記に加え以下を集計)

- (81) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為・医薬品・特定器材の同日算定日数
- (82) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定基本回数
- (83) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定きざみ回数
- (84) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定基本点数
- (85) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定きざみ点数
- (86) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある医薬品・特定器材の同日算定使用量
- (87) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある医薬品・特定器材の同日算定金額

図表 8 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（通常集計）

集計テーブル

	選 択
1 集計テーブルを選択	facttableRE

facttableRE, facttableRE_nyu.day, facttableRE_gai.day【プルダウンより選択】

絞り込み条件

	選 択
1 都道府県	
2 病院診療所	
3 施設特性	
4 DPC対象準備病院	
5 病床規模	
6 入院	1 入院
7 入院外	
8 診療年月	201204 2012
9 年齢階級	
10 傷病分類	
11 保険種別1	
12 保険種別2	
13 保険種別3	
14 保険種別4	
15 保険種別5	
16 保険種別6	
17 入院1日当たり点数階級	
18 入院外1日当たり点数階級	
19 入院1件当たり点数階級	
20 入院外1件当たり点数階級	

分析軸

	選 択
1 上記1～20から選択	
2 上記1～20から選択	
3 上記1～20から選択	
4 上記1～20から選択	
5 上記1～20から選択	
6 上記1～20から選択	
7 上記1～20から選択	
8 上記1～20から選択	
9 上記1～20から選択	
10 上記1～20から選択	
11 上記1～20から選択	
12 上記1～20から選択	

SQL実行

```
select
[年齢階級],
sum([件数]) as [件数],sum([診療実日数]) as [診療実日数],sum([合計点数]) as [合計点数]
from facttableRE
where
[入院] = 1and
[診療年月] in ('201204','201205','201206')
group by
[年齢階級]
order by
```

集計のベースとなるテーブルグループのシートを選択

図表 9 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（通常集計）

集計テーブル、絞り込み条件、分析軸を選択したら、「SQL 実行」のボタンを押下。以下に集計クエリが生成され、SQL Server 側で集計が実行される。

SQL 実行

```
select
[年齢階級],
sum([件数]) as [件数],sum([診療実日数]) as [診療実日数],sum([合計点数]) as [合計点数]
from facttableRE
where
[入院] = 1and
[診療年月] in ('201204','201205','201206')
group by
[年齢階級]
order by
[年齢階級]
```

集計に用いる分析軸を選択(例では、「年齢階級」を選択)

実行後、集計結果が表示される(例では、2012年4月～6月の入院レセプトにおける年齢階級別のレセプト件数、診療実日数、合計点数が表示されている)。

年齢	件数	診療実日数	合計点数
1	12489	96957	533293643
2	3782	36828	144115924
3	3012	41274	136561680
4	3565	57287	178406760
5	4489	74388	224003406
6	6188	100215	297630518
7	7641	124754	361537125
8	9828	172667	499771073
9	10054	188175	538568392
10	10342	193778	557943906
11	11502	197706	647393408

図表 10 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（通常集計）

Microsoft Excel - 分析ツール (通常集計) .xlsx

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
集計テーブル																				
1	集計テーブルを選択	facttableSI_B																		
絞り込み条件																				
1	都道府県																			
2	病院診療所																			
3	施設特性																			
4	DPC対象準備病院																			
5	病床規模																			
6	入院	1 入院																		
7	入院外																			
8	診療年月																			
9	年齢階級	14 65-69歳																		
10	傷病分類	0201 胃の悪性新生物																		
11	保険種別1																			
12	保険種別2																			
13	保険種別3																			
14	保険種別4																			
15	保険種別5																			
16	保険種別6																			
17	入院1日当たり点数階級																			
18	入院外1日当たり点数階級																			
19	入院1件当たり点数階級																			
20	入院外1件当たり点数階級																			
21	診療行為コード																			
22	解釈番号																			
23	加算																			
24	点数単価(以上)	1000																		
25	点数単価(未満)																			
分析軸																				
1	上記1~20から選択	4																		
2	上記1~20から選択																			
3	上記1~20から選択																			
4	上記1~20から選択																			

図表 11 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（通常集計）

Microsoft Excel - 分析ツール (通常集計) .xlsm

order by
[DPC対象準備病院],[診療行為コード],[診療行為名称],[解釈番号],[加算],[点数単価],[きざみ値計算識別],[きざみ値]

同様に、実行後、集計結果が表示される(例では、65歳以上の胃の悪性新生物の入院レセプトで1000点以上の行為のレセプト件数、診療実日数、合計点数が表示されている)。

集計結果		診療行為コード	診療行為名称	解釈番号	加算	点数単価	きざみ値 計算識別	きざみ値	きざみ点 数単価	件数	診療実日 数	合計点数	算定日数	算定数量	算定基本 回数	算定きざ み回数	算定基本点 数M	算定きざ み点数M	算定点数 M	算
DPC対象 準備病院	1	113004510	手術後医学管理料(病院)	B001-51	0	1188	0	0	0	123	2161	16581283	336	336	336	0	399168	0	399168	算
	1	130004670	中心静脈注射用カテーテル挿入	G005-2	0	1400	0	0	0	414	8667	49835106	433	434	434	0	607600	0	607600	算
	1	150164850	内視鏡的消化管止血術	K654	0	4600	0	0	0	356	4357	24660378	406	406	406	0	1667600	0	1667600	16
	1	150168010	胃切除術(悪性腫瘍手術)	K6552	0	55870	0	0	0	563	10151	88446168	563	563	563	0	31454810	0	3.1E+07	15
	1	150168110	胃全摘術(悪性腫瘍手術)	K6572	0	69840	0	0	0	389	7047	71765271	389	389	389	0	27167760	0	2.7E+07	16
	1	150172410	胆嚢摘出術	K672	0	20960	0	0	0	306	5497	54134099	306	306	306	0	6413760	0	6413760	算
	1	150233410	閉鎖循環式全身麻酔5	L0085	0	6100	1	30	600	1416	24215	220992417	1436	336157	1438	6516	8771800	3909600	1.3E+07	30
	1	150286990	超音波凝固切開装置等加算	K931	1	3000	0	0	0	1194	20611	200427089	1196	1207	1207	0	3621000	0	3621000	3
	1	150323010	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(K6532)	K6532	0	18370	0	0	0	864	8417	47199994	866	867	867	0	15926790	0	1.6E+07	1
	1	150323510	腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)	K655-22	0	64120	0	0	0	350	5265	55002771	350	350	350	0	22442000	0	2.2E+07	6
	1	150328210	閉鎖循環式全身麻酔5(麻酔困難な患者)	L0085	0	8300	1	30	600	169	3198	28742695	172	40636	172	808	1427600	484800	1912400	5
	1	150333210	閉鎖循環式全身麻酔4	L0084	0	6710	1	30	660	484	7248	72475536	488	117343	488	2351	3274480	1551660	4826140	算
	1	150339210	自動縫合器加算	K936	1	2500	1	1	2500	1396	24025	232536461	1397	4367	1413	2954	3532500	7385000	1.1E+07	3
	1	150339310	自動吻合器加算	K936-2	1	5500	1	1	5500	891	15225	154713656	891	1056	891	165	4900500	907500	5808000	3
	1	160059810	T-M/OP	N003	0	1990	0	0	0	382	6440	62618677	385	386	386	0	768140	0	768140	算
	1	160093810	EF-胃・十二指腸	D308	0	1140	0	0	0	2359	32314	177907274	2915	2918	2918	0	3326520	0	3326520	1
	1	160094910	EF-上行結腸及び盲腸	D3133	0	1550	0	0	0	398	5788	35630522	401	401	401	0	621550	0	621550	5
	1	170020110	MRI撮影(1.5テスラ以上の機器)	E2022	0	1330	0	0	0	272	4902	25399700	291	293	293	0	389690	0	389690	算
	2	150233410	閉鎖循環式全身麻酔5	L0085	0	6100	1	30	600	117	2371	17192216	118	24122	118	450	719800	270000	989800	5
	2	150286990	超音波凝固切開装置等加算	K931	1	3000	0	0	0	102	2189	16896704	102	108	108	0	324000	0	324000	1
	2	150339210	自動縫合器加算	K936	1	2500	1	1	2500	102	2150	16929754	102	330	105	225	262500	562500	825000	3
	2	160093810	EF-胃・十二指腸	D308	0	1140	0	0	0	387	5255	20611686	425	426	426	0	485640	0	485640	算
	2	160094910	EF-上行結腸及び盲腸	D3133	0	1550	0	0	0	105	1107	6001776	105	105	105	0	162750	0	162750	算
	2	170020110	MRI撮影(1.5テスラ以上の機器)	E2022	0	1330	0	0	0	120	2091	8912370	148	149	149	0	198170	0	198170	算

facttableRE関連 facttableS関連 facttableY関連 facttableTO関連 項目 軸 SQL

図表 12 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（同日算定集計）

Microsoft Excel - 分析ツール (同日算定集計).xlsx

「診療報酬A（グループ）」の算定日と同日に算定している「診療報酬B（グループ）」の算定状況（診療報酬Bの同日算定日数、同日算定回数、同日算定点数等）

【ファクトテーブル作成】

「診療報酬A（グループ）」のベーステーブル、診療報酬A（グループ）の選択

	選	択
1 ベーステーブルを選択	02 SICD_A	02 SICD_A, 02 SICD_B, 02 SICD_O, 02 IYCD, 02 TOCD【プルダウンより選択】

同日算定のベースとなる「診療報酬」のテーブルを選択（例では、テーブル「SICD_A」を選択）

A1	診療行為コード【ベーステーブル02 SICD_A, 02 SICD_B, 02 SICD_O選択時】	112007410	112011310
A2	解釈番号【ベーステーブル02 SICD_A, 02 SICD_B, 02 SICD_O選択時】		
A3	加算【ベーステーブル02 SICD_A, 02 SICD_B, 02 SICD_O選択時】		1.0【プルダウンより選択】
A4	点数単価（以上）【ベーステーブル02 SICD_A, 02 SICD_B, 02 SICD_O選択時】		指定の値以上【入力】
A5	点数単価（未満）【ベーステーブル02 SICD_A, 02 SICD_B, 02 SICD_O選択時】		指定の値未満【入力】
A1	医薬品コード【ベーステーブル02 IYCD選択時】		
A2	薬価基準コード【ベーステーブル02 IYCD選択時】		
A3	後発品【ベーステーブル02 IYCD選択時】		1.0【プルダウンより選択】
A4	後発のない先発品【ベーステーブル02 IYCD選択時】		1.0【プルダウンより選択】
A5	先発品【ベーステーブル02 IYCD選択時】		1.0【プルダウンより選択】
A6	同一剤形・規格の後発品がある先発品【ベーステーブル02 IYCD選択時】		1.0【プルダウンより選択】
A7	同一薬効・成分の後発品がある先発品【ベーステーブル02 IYCD選択時】		1.0【プルダウンより選択】
A8	金額単価（以上）【ベーステーブル02 IYCD選択時】		指定の値以上【入力】
A9	金額単価（未満）【ベーステーブル02 IYCD選択時】		指定の値未満【入力】
A1	特定器材コード【ベーステーブル02 TOCD選択時】		
A2	金額単価（以上）【ベーステーブル02 TOCD選択時】		指定の値以上【入力】
A3	金額単価（未満）【ベーステーブル02 TOCD選択時】		指定の値未満【入力】

同日算定のベースとなる「診療報酬」を選択（例では、「診療行為コード」で再診、外来診療料を選択）

条件 1 ~ 21 からあらかじめ定められた範囲で絞り込み条件を選択（例では、「都道府県」が首都圏で「診療年月」が2012年4月 ~ 9月の入院外レセプトを選択）

絞り込み条件

	選	択
1 都道府県	11 埼玉	12 千葉 13 東京 14 神奈川
2 病院診療所		1 ~ 3【プルダウンより選択】
3 施設特性		
4 DPC対象準備病院		1 ~ 3【プルダウンより選択】
5 病床規模		
6 入院		1.0【プルダウンより選択】
7 入院外	1 入院外	1.0【プルダウンより選択】
8 診療年月	201204	201205 201206 201207 201208 201209 201204 ~ 201303【プルダウンより選択】
9 年齢階級		
10 傷病分類		
11 保険種別1		1.0【プルダウンより選択】
12 保険種別2		1.0【プルダウンより選択】
13 保険種別3		1.0【プルダウンより選択】
14 保険種別4		1.0【プルダウンより選択】
15 保険種別5		1.0【プルダウンより選択】
16 保険種別6		1.0【プルダウンより選択】
17 入院1日当たり点数階級		
18 入院外1日当たり点数階級		
19 入院1件当たり点数階級		
20 入院外1件当たり点数階級		
21 原科別再診・外来レセプト		1.0【プルダウンより選択】

算定日bit(ファクトテーブル作成) 算定日bit(集計) 軸 SQL

同日算定集計に当たっては、まず、集計のベースとなるファクトテーブルを作成する。

図表 13 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（同日算定集計）

Microsoft Excel - 分析ツール (同日算定集計).xlsx

「診療報酬B (グループ)」のベーステーブル、診療報酬B (グループ) の選択

1 | ベーステーブルを選択

02SICD_B

02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O、02IYCD、02TOCD【プルダウンより選択】

B1 | 診療行為コード【ベーステーブル02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O選択時】

180027610

180032410

180027710

180032510

180030810

180032610

180033910

180034010

180034110

180034210

180034310

180034410

B2 | 解釈番号【ベーステーブル02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O選択時】

B3 | 加算【ベーステーブル02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O選択時】

1.0【プルダウンより選択】

B4 | 点数単価(以上)【ベーステーブル02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O選択時】

指定の値以上【入力】

B5 | 点数単価(未満)【ベーステーブル02SICD_A、02SICD_B、02SICD_O選択時】

指定の値未満【入力】

B1 | 医薬品コード【ベーステーブル02IYCD選択時】

B2 | 薬価基準コード【ベーステーブル02IYCD選択時】

B3 | 後発品【ベーステーブル02IYCD選択時】

1.0【プルダウンより選択】

B4 | 後発のない先発品【ベーステーブル02IYCD選択時】

1.0【プルダウンより選択】

B5 | 先発品【ベーステーブル02IYCD選択時】

1.0【プルダウンより選択】

B6 | 同一剤形・規格の後発品がある先発品【ベーステーブル02IYCD選択時】

1.0【プルダウンより選択】

B7 | 同一薬効・成分の後発品がある先発品【ベーステーブル02IYCD選択時】

1.0【プルダウンより選択】

B8 | 金額単価(以上)【ベーステーブル02IYCD選択時】

指定の値以上【入力】

B9 | 金額単価(未満)【ベーステーブル02IYCD選択時】

指定の値未満【入力】

B1 | 特定器材コード【ベーステーブル02TOCD選択時】

B2 | 金額単価(以上)【ベーステーブル02TOCD選択時】

指定の値以上【入力】

B3 | 金額単価(未満)【ベーステーブル02TOCD選択時】

指定の値未満【入力】

SQL実行

IF EXISTS (SELECT * FROM sys.objects WHERE object_id = OBJECT_ID(N'[dbo].[TMP_s2]') AND type in (N'DROP TABLE [Research].[dbo].[TMP_s2]

select

ikadpc.レセプト通番.cocd,nyu.gai.seiym.shinym,nyuymd1.[los_base],

max(case when 1日の算定基本回数 < 0 or 1日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,0) else 0 end)

max(case when 2日の算定基本回数 < 0 or 2日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,1) else 0 end)

max(case when 3日の算定基本回数 < 0 or 3日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,2) else 0 end)

max(case when 4日の算定基本回数 < 0 or 4日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,3) else 0 end)

max(case when 5日の算定基本回数 < 0 or 5日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,4) else 0 end)

max(case when 6日の算定基本回数 < 0 or 6日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,5) else 0 end)

max(case when 7日の算定基本回数 < 0 or 7日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,6) else 0 end)

max(case when 8日の算定基本回数 < 0 or 8日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,7) else 0 end)

max(case when 9日の算定基本回数 < 0 or 9日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,8) else 0 end)

max(case when 10日の算定基本回数 < 0 or 10日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,9) else 0 end)

max(case when 11日の算定基本回数 < 0 or 11日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,10) else 0 end)

max(case when 12日の算定基本回数 < 0 or 12日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,11) else 0 end)

max(case when 13日の算定基本回数 < 0 or 13日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,12) else 0 end)

max(case when 14日の算定基本回数 < 0 or 14日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,13) else 0 end)

max(case when 15日の算定基本回数 < 0 or 15日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,14) else 0 end)

max(case when 16日の算定基本回数 < 0 or 16日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,15) else 0 end)

max(case when 17日の算定基本回数 < 0 or 17日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,16) else 0 end)

max(case when 18日の算定基本回数 < 0 or 18日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,17) else 0 end)

max

max

max

max(case when 24日の算定基本回数 < 0 or 24日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,23) else 0 end)

max(case when 25日の算定基本回数 < 0 or 25日の算定きざみ回数 < 0 then power(2,24) else 0 end)

集計に必要な分析軸

1 | 上記1〜21から選択

2 | 【プルダウンより選択】

2 | 上記1〜21から選択

9 | 【プルダウンより選択】

3 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

4 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

5 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

6 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

7 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

8 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

9 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

10 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

11 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

12 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

13 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

14 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

15 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

16 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

17 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

18 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

19 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

20 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

21 | 上記1〜21から選択

【プルダウンより選択】

作成する集計テーブル

1 | 集計テーブル名を入力

testFact

ベースとなる「診療報酬」の算定日と同日の算定状況を把握したい「診療報酬」のテーブルを選択(例では、テーブル「SICD_B」を選択)

ベースとなる「診療報酬」の算定日と同日の算定状況を把握したい「診療報酬」を選択(例では、「診療行為コード」で心大血管疾患リハビリテーションを選択)

各種条件等を選択したら、「SQL 実行」のボタンを押下。以下に集計クエリが生成され、SQL Server 側で集計テーブルが作成される。

集計に用いることを予定している分析軸を選択(例では、「病院診療所」、「年齢階級」を選択)

任意の集計テーブル名を入力

図表 14 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（同日算定集計）

Microsoft Excel - 分析ツール (同日算定集計) .xlsm

1 「診療報酬A（グループ）」の算定日と同日に算定している「診療報酬B（グループ）」の算定状況（診療報酬Bの同日算定日数、同日算定回数、同日算定点数等）

2 【集計】

集計テーブル

	入 力
1	ファクトテーブル作成時のテーブル名を入力 testFact

絞り込み条件

	選 択
1 都道府県	11 埼玉 12 千葉 13 東京 14 神奈川
2 病院診療所	1~3【プルダウンより選択】
3 施設特性	1~7【プルダウンより選択】
4 DPC対象準備病院	1~3【プルダウンより選択】
5 病床規模	1~8【プルダウンより選択】
6 入院	1.0【プルダウンより選択】
7 入院外	1.0【プルダウンより選択】
8 診療年月	201204~201303【プルダウンより選択】
9 年齢階級	
10 傷病分類	
11 保険種別1	1.0【プルダウンより選択】
12 保険種別2	1.0【プルダウンより選択】
13 保険種別3	1.0【プルダウンより選択】
14 保険種別4	1.0【プルダウンより選択】
15 保険種別5	1.0【プルダウンより選択】
16 保険種別6	1.0【プルダウンより選択】
17 入院1日当たり点数階級	
18 入院外1日当たり点数階級	
19 入院1件当たり点数階級	
20 入院外1件当たり点数階級	
21 医科レセプト・DPCレセプト	1.2【プルダウンより選択】
B1 診療行為コード【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	180027610
B2 解剖番号【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	
B3 加算【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	1.0【プルダウンより選択】
B4 点数単価（以上）【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	指定の値以上【入力】
B5 点数単価（未満）【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	指定の値未満【入力】
B1 医薬品コード【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	
B2 薬価基準コード【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	
B3 後発品【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	1.0【プルダウンより選択】
B4 後発のない先発品【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	1.0【プルダウンより選択】
B5 先発品【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	1.0【プルダウンより選択】
B6 同一剤形・規格の後発品がある先発品【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	1.0【プルダウンより選択】
B7 同一薬効・成分の後発品がある先発品【診療報酬B（グループ）がIY関連情報の場合】	1.0【プルダウンより選択】
B8 金額単価（以上）【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	指定の値以上【入力】
B9 金額単価（未満）【診療報酬B（グループ）がSI関連情報の場合】	指定の値未満【入力】
B1 特定器材コード【診療報酬B（グループ）がTO関連情報の場合】	
B2 金額単価（以上）【診療報酬B（グループ）がTO関連情報の場合】	指定の値以上【入力】
B3 金額単価（未満）【診療報酬B（グループ）がTO関連情報の場合】	指定の値未満【入力】

分析軸

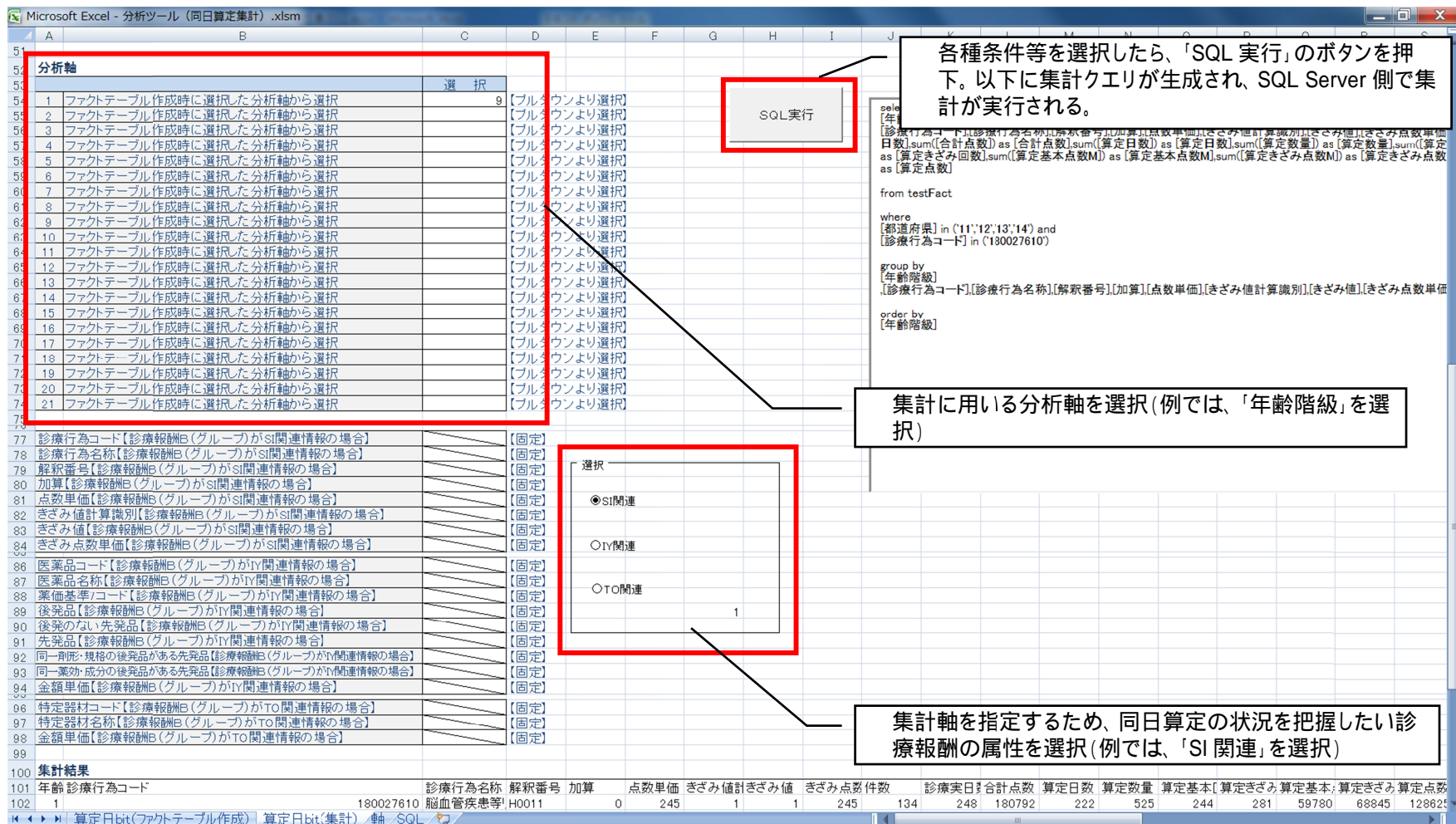
算定日bit(ファクトテーブル作) 算定日bit(集計) 軸

上記で指定した集計テーブル名を入力

条件 1~20 から集計テーブル作成時点であらかじめ指定した条件の範囲内で絞り込み条件を選択（例では、「都道府県」が東京都における心大血管疾患リハビリテーション の算定状況を選択）

上記で指定した集計用のファクトテーブルを用いて、同日算定の状況を集計する。

図表 15 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（同日算定集計）



図表 16 Excel/SQL Server の組み合わせによる分析ツールの操作画面イメージ（同日算定集計）

Microsoft Excel - 分析ツール (同日算定集計) .xlsm

74 A B C D E F G H I J K L M N O P Q

21 ファクターテーブル作成時に選択した分析軸から選択 【プルダウンより選択】

75

76

77 診療行為コード【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

78 診療行為名称【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

79 解釈番号【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

80 加算【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

81 点数単価【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

82 きざみ値【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

83 きざみ値【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

84 きざみ値【診療報酬B(グループ)がSI関連情報の場合】 【固定】

85

86 医薬品コード【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

87 医薬品名称【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

88 薬価標準コード【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

89 後発品【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

90 後発のない先発品【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

91 先発品【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

92 同一剤・規格の医薬品がある先発品【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

93 同一剤・規格の医薬品がある後発品【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

94 金額単価【診療報酬B(グループ)がIY関連情報の場合】 【固定】

95

96 特定器材コード【診療報酬B(グループ)がTO関連情報の場合】 【固定】

97 特定器材名称【診療報酬B(グループ)がTO関連情報の場合】 【固定】

98 金額単価【診療報酬B(グループ)がTO関連情報の場合】 【固定】

99

100 集計結果

101 年齢 診療行為コード 診療行為名称 解釈番号 加算 点数単価 きざみ値 計算識別 きざみ値 きざみ値 点数単価 件数 診療実日数 合計点数 算定日数 算定数量 算定基本回数 算定きざみ回数 算定基本点数M 算み

102 1 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 134 248 180792 222 525 244 281 59780

103 2 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 101 134 87847 120 284 160 124 39200

104 3 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 67 124 182389 100 317 176 141 43120

105 4 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 97 185 300154 147 370 353 17 86485

106 5 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 69 158 336850 116 230 202 28 49490

107 6 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 27 45 38400 40 65 42 23 10290

108 7 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 22 39 29526 31 66 39 27 9555

109 8 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 42 119 171034 115 325 152 173 37240

110 9 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 53 185 183185 191 394 333 61 81585

111 10 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 91 241 216137 251 717 332 385 81340

112 11 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 74 181 152218 189 424 260 164 63700

113 12 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 67 190 207402 164 266 202 64 49490

114 13 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 112 325 276067 333 837 633 204 155085

115 14 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 119 372 468663 318 878 421 457 103145

116 15 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 109 344 343252 263 632 316 316 77420

117 16 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 101 264 215117 221 528 293 235 71785

118 17 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 46 159 153309 134 233 148 85 36260

119 18 180027610 脳血管疾患等リハビリテーション料(1)(廃用症候群以外) H0011 0 245 1 1 245 35 107 69328 85 141 90 51 22050

120

121

122

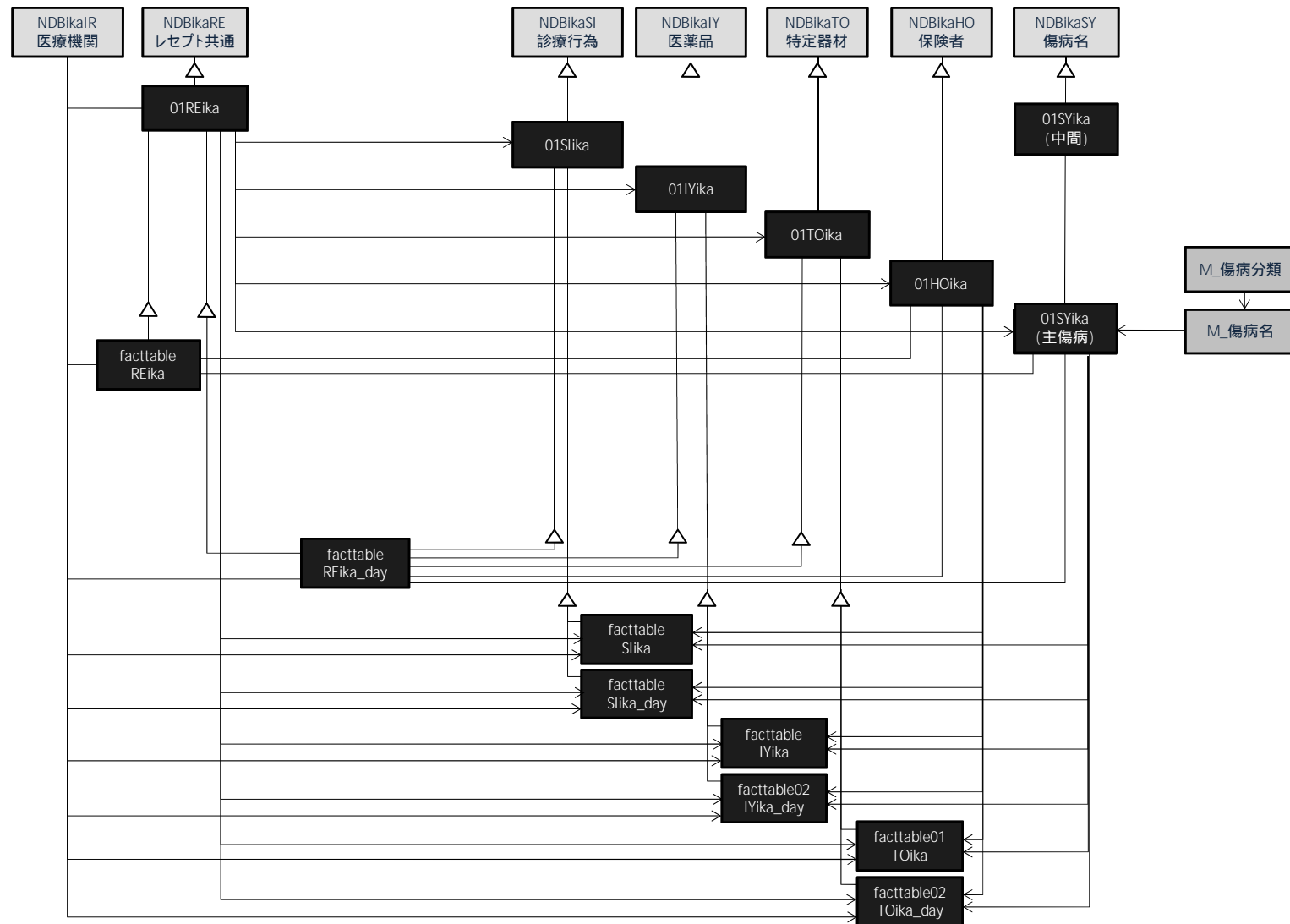
123

124

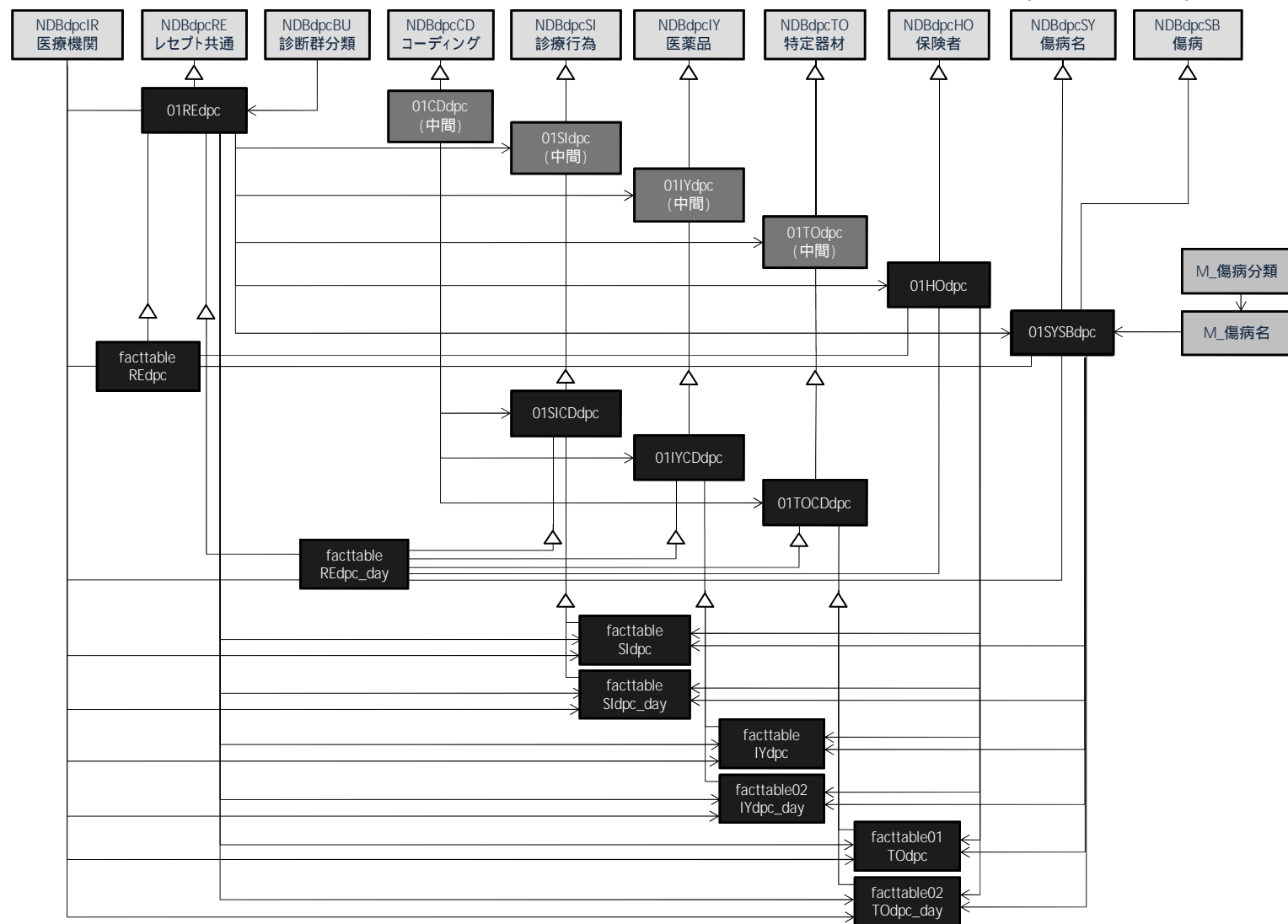
実行後、集計結果が表示される(例では、東京都の2012年4月～6月の入院外レセプトにおいて再診・外来診療料と同日に算定されていた心大血管疾患リハビリテーションの年齢階級別の算定状況が表示されている)。

算定日bit(ファクターテーブル作成) 算定日bit(集計) 軸 SQL

図表 17 厚生労働省から提供された NDB データを用いた各種検証作業における E-R 図（医科レセプト）



図表 18 厚生労働省から提供された NDB データを用いた各種検証作業における E-R 図 (DPC レセプト)



図表 19 厚生労働省から提供された NDB データの NDB 格納月別データ領域・行数一覧

〔データ取り込み時間 3.03:59:28、Index 処理時間 1.23:53:15、合計 5.03:52:43〕

(上段:データ領域、下段:行数)

テーブル名	201206	201207	201208	201209	201210	201211	201212	201301	201302	201303	201304	201305	201306以降
NDBikalR	5,904,936KB	6,105,448KB	6,102,088KB	6,090,208KB	5,857,256KB	5,736,728KB	6,290,440KB	6,148,088KB	6,270,264KB	6,080,008KB	6,054,984KB	6,570,232KB	31,856KB
	76,026,047行	78,607,556行	78,564,373行	78,411,403行	75,412,135行	73,860,275行	80,989,402行	79,156,549行	80,729,635行	78,280,049行	77,957,889行	84,591,640行	410,134行
NDBikaRE	16,006,824KB	16,550,352KB	16,541,304KB	16,509,088KB	15,877,672KB	15,550,872KB	17,051,904KB	16,666,000KB	16,997,160KB	16,481,400KB	16,413,600KB	17,810,296KB	86,352KB
	76,026,047行	78,607,556行	78,564,373行	78,411,403行	75,412,135行	73,860,275行	80,989,402行	79,156,549行	80,729,635行	78,280,049行	77,957,889行	84,591,640行	410,134行
NDBikaHO	5,384,824KB	5,567,736KB	5,564,608KB	5,553,832KB	5,341,424KB	5,231,304KB	5,736,560KB	5,606,416KB	5,717,584KB	5,544,344KB	5,521,456KB	5,991,376KB	29,088KB
	76,026,047行	78,607,556行	78,564,373行	78,411,403行	75,412,135行	73,860,275行	80,989,402行	79,156,549行	80,729,635行	78,280,049行	77,957,889行	84,591,640行	410,134行
NDBikaSY	27,082,008KB	27,679,488KB	27,723,248KB	27,843,704KB	27,242,872KB	26,757,840KB	28,873,520KB	28,443,728KB	28,933,552KB	28,173,432KB	28,013,744KB	29,918,592KB	161,592KB
	393,238,734行	401,587,497行	402,003,404行	403,689,812行	395,064,326行	388,171,055行	418,968,396行	413,098,246行	420,279,548行	409,289,794行	406,838,771行	434,264,220行	2,351,919行
NDBikaSI	94,229,368KB	99,477,160KB	97,553,720KB	98,146,840KB	95,135,816KB	91,587,640KB	101,449,472KB	97,481,592KB	97,122,024KB	100,938,616KB	94,683,184KB	104,184,360KB	638,912KB
	769,527,674行	792,859,646行	791,862,457行	790,091,493行	762,621,903行	745,440,095行	816,398,732行	786,338,171行	792,583,165行	794,046,544行	780,309,675行	847,155,994行	5,115,442行
NDBikalY	16,155,056KB	16,862,520KB	16,154,160KB	16,245,376KB	15,720,376KB	15,063,576KB	17,321,424KB	16,942,904KB	17,147,000KB	16,896,728KB	15,887,400KB	17,593,624KB	157,920KB
	128,667,616行	131,480,124行	127,843,588行	127,415,848行	122,871,441行	119,329,818行	135,527,753行	133,538,406行	136,055,389行	130,553,316行	128,285,372行	139,848,657行	1,249,304行
NDBikaTO	746,376KB	797,840KB	763,936KB	764,616KB	731,544KB	705,344KB	773,496KB	739,736KB	717,808KB	748,336KB	681,136KB	730,288KB	13,960KB
	5,353,650行	5,626,706行	5,448,647行	5,420,201行	5,156,805行	5,035,943行	5,488,318行	5,261,129行	5,110,414行	5,228,083行	4,915,251行	5,199,088行	99,293行
NDBdpcIR	67,816KB	71,864KB	72,040KB	74,224KB	75,912KB	70,256KB	75,120KB	75,240KB	72,728KB	70,768KB	72,824KB	75,128KB	2,256KB
	873,060行	925,157行	927,468行	955,625行	977,266行	904,533行	967,155行	968,679行	936,281行	911,072行	937,523行	967,246行	29,003行
NDBdpcRE	228,504KB	245,608KB	245,040KB	254,008KB	259,400KB	239,272KB	256,376KB	255,520KB	246,008KB	239,032KB	245,344KB	254,968KB	7,624KB
	1,079,542行	1,159,469行	1,157,193行	1,199,133行	1,224,706行	1,129,837行	1,210,496行	1,206,842行	1,161,797行	1,128,763行	1,159,147行	1,204,024行	36,065行
NDBdpcHO	78,560KB	84,368KB	84,192KB	87,240KB	89,104KB	82,216KB	88,080KB	87,808KB	84,576KB	82,208KB	84,320KB	87,632KB	2,648KB
	1,079,542行	1,159,469行	1,157,193行	1,199,133行	1,224,706行	1,129,837行	1,210,496行	1,206,842行	1,161,797行	1,128,763行	1,159,147行	1,204,024行	36,065行
NDBdpcBU	71,624KB	76,120KB	76,488KB	78,752KB	80,768KB	74,336KB	79,736KB	79,760KB	77,240KB	74,040KB	76,632KB	79,680KB	2,320KB
	905,921行	965,190行	967,519行	998,204行	1,021,910行	940,889行	1,010,489行	1,010,890行	970,979行	942,226行	973,731行	1,006,853行	29,904行
NDBdpcSB	406,720KB	435,888KB	437,680KB	448,784KB	457,472KB	425,448KB	456,352KB	457,920KB	447,568KB	431,976KB	447,184KB	460,872KB	14,328KB
	5,720,379行	6,130,256行	6,154,434行	6,310,134行	6,431,248行	5,981,939行	6,415,405行	6,437,473行	6,293,434行	6,073,654行	6,286,092行	6,478,507行	201,946行
NDBdpcSY	59,360KB	67,104KB	64,736KB	68,432KB	69,032KB	65,688KB	68,448KB	67,144KB	68,216KB	68,736KB	65,824KB	69,688KB	2,632KB
	871,193行	985,203行	950,074行	1,004,268行	1,013,365行	964,433行	1,004,742行	985,621行	1,001,555行	1,009,657行	966,865行	1,023,361行	38,656行
NDBdpcSI	1,646,000KB	1,823,216KB	1,787,616KB	1,869,352KB	1,915,816KB	1,727,736KB	1,913,168KB	1,889,256KB	1,849,528KB	1,883,432KB	1,780,616KB	1,893,136KB	68,488KB
	12,846,428行	13,928,813行	13,858,803行	14,394,660行	14,761,350行	13,447,888行	14,744,975行	14,643,922行	14,386,356行	14,176,640行	13,993,939行	14,676,285行	515,893行
NDBdpcIY	754,456KB	848,880KB	827,984KB	860,024KB	891,080KB	782,720KB	884,064KB	860,736KB	844,336KB	829,456KB	799,752KB	862,080KB	35,152KB
	6,154,701行	6,730,332行	6,674,349行	6,913,687行	7,151,474行	6,350,427行	7,110,610行	6,947,808行	6,846,001行	6,447,570行	6,540,485行	6,972,829行	276,276行
NDBdpcTO	176,888KB	203,080KB	196,200KB	206,056KB	212,440KB	184,680KB	215,896KB	209,480KB	195,136KB	207,680KB	196,848KB	207,320KB	14,104KB
	1,298,678行	1,445,154行	1,414,770行	1,486,254行	1,528,146行	1,342,876行	1,556,355行	1,511,075行	1,427,624行	1,453,513行	1,436,578行	1,506,236行	99,868行
NDBdpcCD	10,905,456KB	11,812,504KB	11,552,456KB	11,982,368KB	12,178,240KB	11,219,080KB	12,254,616KB	12,219,136KB	12,234,296KB	12,380,944KB	11,678,224KB	12,359,200KB	613,864KB
	124,383,946行	134,712,739行	131,752,730行	136,657,484行	138,891,787行	127,958,367行	139,766,754行	139,354,669行	139,507,685行	141,167,700行	133,179,488行	140,933,396行	6,981,242行

図表 20 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 01・集計表 02・集計表 03)

表別	表 1	総数				
	表 2	入院				
	表 3	入院外				
表頭		年齢計級別（ 5 歳階級 ）				
表側 <						

図表 21 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 04・集計表 05・集計表 06)

表別	表 1	総数
	表 2	入院
	表 3	入院外

表頭		病院種類・診療所種類別				
	総数	病院総数	精神科病院	・ ・ ・	無床診療所	
全体件数	・ 集計対象レセプトの件数					
全体診療実日数	・ 集計対象レセプトの診療実日数					
初診料	<div>集計データ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 当該診療行為・医薬品・特定器材が算定されたレセプトの件数、診療実日数・ 当該診療行為が算定された算定基本回数、算定基本点数・ 当該医薬品・特定器材が算定された算定単位回数					
初診(乳幼児)加算						
乳幼児育児栄養指導料						
初診(時間外)加算						
初診(休日)加算						
初診(深夜)加算						
初診(時間外特例医療機関)加算						
小児科外来診療料(初診時時間外特例医療機関)加算						
小児科初診(乳幼児夜間)加算(6歳未満)						
小児科初診(乳幼児休日)加算(6歳未満)						
小児科初診(乳幼児深夜)加算(6歳未満)						
初診(同一日2科目の場合)						
初診(乳幼児時間外)加算						
初診(乳幼児休日)加算						
初診(乳幼児深夜)加算						
初診(乳幼児時間外特例医療機関)加算						
初診(夜間・早朝等)加算						
初診(他の医療機関からの文書による紹介がない患者)						
初診(同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者)						

表側	レセ電算コード別	全体件数
		全体診療実日数
		初診料
		初診(乳幼児)加算
		乳幼児育児栄養指導料
		初診(時間外)加算
		初診(休日)加算
		初診(深夜)加算
		初診(時間外特例医療機関)加算
		小児科外来診療料(初診時時間外特例医療機関)加算
		小児科初診(乳幼児夜間)加算(6歳未満)
		小児科初診(乳幼児休日)加算(6歳未満)
		小児科初診(乳幼児深夜)加算(6歳未満)
		初診(同一日2科目の場合)
		初診(乳幼児時間外)加算
		初診(乳幼児休日)加算
		初診(乳幼児深夜)加算
		初診(乳幼児時間外特例医療機関)加算
		初診(夜間・早朝等)加算
		初診(他の医療機関からの文書による紹介がない患者)
初診(同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者)		

図表 22 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 07・集計表 08・集計表 09)

表別	表 1	総数				
	表 2	入院				
	表 3	入院外				

表頭	病床規模別				
----	-------	--	--	--	--

表側
--

図表 23 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 10・集計表 11・集計表 12)

表別	表 1	総数			
	表 2	入院			
	表 3	入院外			

表頭	傷病（中分類）				
----	---------	--	--	--	--

表側 <

図表 24 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 13・集計表 14・集計表 15)

表側	表別	表 1	総数				
		表 2	入院				
		表 3	入院外				
レセ 電 算 コ ー ド 別	表頭		保険種別				
			総数	協会けんぽ	組合健保	・・・	後期高齢者 医療制度
	全体件数		・ 集計対象レセプトの件数				
	全体診療実日数		・ 集計対象レセプトの診療実日数				
	初診料		<div>集計データ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 当該診療行為・医薬品・特定器材が算定されたレセプトの件数、診療実日数・ 当該診療行為が算定された算定基本回数、算定基本点数・ 当該医薬品・特定器材が算定された算定単位回数				
	初診(乳幼児)加算						
	乳幼児育児栄養指導料						
	初診(時間外)加算						
	初診(休日)加算						
	初診(深夜)加算						
	初診(時間外特例医療機関)加算						
	小児科外来診療料(初診時時間外特例医療機関)加算						
	小児科初診(乳幼児夜間)加算(6歳未満)						
	小児科初診(乳幼児休日)加算(6歳未満)						
	小児科初診(乳幼児深夜)加算(6歳未満)						
	初診(同一日2科目の場合)						
	初診(乳幼児時間外)加算						
	初診(乳幼児休日)加算						
	初診(乳幼児深夜)加算						
	初診(乳幼児時間外特例医療機関)加算						
	初診(夜間・早朝等)加算						
	初診(他の医療機関からの文書による紹介がない患者)						
	初診(同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者)						
	・・・						

図表 25 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 16・集計表 17・集計表 18)

表側

レセ電算コード別

表別	表 1	総数				
	表 2	病院				
	表 3	診療所				
表頭		受診月別				
		総数	平成24年 4 月	平成24年 5 月	・ ・ ・	平成25年 3 月
全体件数		・ 集計対象レセプトの件数				
全体診療実日数		・ 集計対象レセプトの診療実日数				
初診料		<div>集計データ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 当該診療行為・医薬品・特定器材が算定されたレセプトの件数、診療実日数・ 当該診療行為が算定された算定基本回数、算定基本点数・ 当該医薬品・特定器材が算定された算定単位回数				
初診(乳幼児)加算						
乳幼児育児栄養指導料						
初診(時間外)加算						
初診(休日)加算						
初診(深夜)加算						
初診(時間外特例医療機関)加算						
小児科外来診療料(初診時時間外特例医療機関)加算						
小児科初診(乳幼児夜間)加算(6歳未満)						
小児科初診(乳幼児休日)加算(6歳未満)						
小児科初診(乳幼児深夜)加算(6歳未満)						
初診(同一日2科目の場合)						
初診(乳幼児時間外)加算						
初診(乳幼児休日)加算						
初診(乳幼児深夜)加算						
初診(乳幼児時間外特例医療機関)加算						
初診(夜間・早朝等)加算						
初診(他の医療機関からの文書による紹介がない患者)						
初診(同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者)						

図表 26 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 19・集計表 20・集計表 21)

表側	レセ電算コード別	表別	表 1	総数			
		表 2	病院				
		表 3	診療所				
		表頭	受診月別				
			総数	平成24年 4 月	平成24年 5 月	・ ・ ・	平成25年 3 月
		全体件数	・ 集計対象レセプトの件数				
		全体診療実日数	・ 集計対象レセプトの診療実日数				
		初診料	<div>集計データ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 当該診療行為・医薬品・特定器材が算定されたレセプトの件数、診療実日数・ 当該診療行為が算定された算定基本回数、算定基本点数・ 当該医薬品・特定器材が算定された算定単位回数				
		初診(乳幼児)加算					
		乳幼児育児栄養指導料					
		初診(時間外)加算					
		初診(休日)加算					
		初診(深夜)加算					
		初診(時間外特例医療機関)加算					
		小児科外来診療料(初診時時間外特例医療機関)加算					
		小児科初診(乳幼児夜間)加算(6歳未満)					
		小児科初診(乳幼児休日)加算(6歳未満)					
		小児科初診(乳幼児深夜)加算(6歳未満)					
		初診(同一日2科目の場合)					
		初診(乳幼児時間外)加算					
		初診(乳幼児休日)加算					
		初診(乳幼児深夜)加算					
		初診(乳幼児時間外特例医療機関)加算					
		初診(夜間・早朝等)加算					
		初診(他の医療機関からの文書による紹介がない患者)					
		初診(同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者)					
		・ ・ ・					

図表 27 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 22・集計表 23・集計表 24)

表側	レセ電算コード別	表別	表 1	総数			
		表 2	病院				
		表 3	診療所				
		表頭	入院後日数別				
			総数	入院01日目	入院02日目	...	入院31日目以上
		全体件数	・ 集計対象レセプトの件数（日数軸別の集計は、各区分ごとに重複して集計）				
		全体診療実日数	・ 集計対象レセプトの診療実日数（日数軸別の集計は、各区分ごとに重複して集計）				
		初診料	<div>集計データ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 当該診療行為・医薬品・特定器材が算定されたレセプトの件数、診療実日数（日数軸別の集計は、各区分ごとに重複して集計）・ 当該診療行為が算定された算定基本回数、算定基本点数・ 当該医薬品・特定器材が算定された算定単位回数				
		初診（乳幼児）加算					
		乳幼児育児栄養指導料					
		初診（時間外）加算					
		初診（休日）加算					
		初診（深夜）加算					
		初診（時間外特例医療機関）加算					
		小児科外来診療料（初診時時間外特例医療機関）加算					
		小児科初診（乳幼児夜間）加算（6歳未満）					
		小児科初診（乳幼児休日）加算（6歳未満）					
		小児科初診（乳幼児深夜）加算（6歳未満）					
		初診（同一日2科目の場合）					
		初診（乳幼児時間外）加算					
		初診（乳幼児休日）加算					
		初診（乳幼児深夜）加算					
		初診（乳幼児時間外特例医療機関）加算					
		初診（夜間・早朝等）加算					
		初診（他の医療機関からの文書による紹介がない患者）					
		初診（同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者）					
		...					

図表 28 NDB データを用いた各種検証作業における集計イメージ
(集計表 25・集計表 26・集計表 27)

表別	表 1	総数
	表 2	病院
	表 3	診療所

表頭		受診曜日別				
	総数	日曜日	月曜日	・・・	土曜日	
全体件数	・ 集計対象レセプトの件数（日数軸別の集計は、各区分ごとに重複して集計）					
全体診療実日数	・ 集計対象レセプトの診療実日数（日数軸別の集計は、各区分ごとに重複して集計）					
初診料	<div>集計データ</div> <ul style="list-style-type: none">・ 当該診療行為・医薬品・特定器材が算定されたレセプトの件数、診療実日数（日数軸別の集計は、各区分ごとに重複して集計）・ 当該診療行為が算定された算定基本回数、算定基本点数・ 当該医薬品・特定器材が算定された算定単位回数					
初診（乳幼児）加算						
乳幼児育児栄養指導料						
初診（時間外）加算						
初診（休日）加算						
初診（深夜）加算						
初診（時間外特例医療機関）加算						
小児科外来診療料（初診時時間外特例医療機関）加算						
小児科初診（乳幼児夜間）加算（6歳未満）						
小児科初診（乳幼児休日）加算（6歳未満）						
小児科初診（乳幼児深夜）加算（6歳未満）						
初診（同一日2科目の場合）						
初診（乳幼児時間外）加算						
初診（乳幼児休日）加算						
初診（乳幼児深夜）加算						
初診（乳幼児時間外特例医療機関）加算						
初診（夜間・早朝等）加算						
初診（他の医療機関からの文書による紹介がない患者）						
初診（同一日2科目の場合・他の医療機関からの文書による紹介がない患者）						
・・・						

表側	レセ電算コード別	

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

レセプトデータ分析システム開発に関する研究

堀口 裕正 国立病院機構本部総合研究センター 主席研究員

分担研究者

研究要旨

NDB におけるデータを簡易に分析する際に、エクセルのピボットテーブルで作業ができるとより多くのユーザーにとって利用可能性が高まると考えそのシステムの実現可能性について検証をした。

本案件は、SQL サーバに格納したレセ電データからフラグテーブルを用意し、PivotTable の処理内容から作成した SQL クエリをフラグテーブルに対して実行し、実行結果を得るシステムの構築を目的とした。

なお、レセ電データを SQL サーバに格納する際は、SQL サーバの XML モードを利用し、XML 形式で格納した。

A.目的

本分担研究の目的は、レセプトデータを分析するに先だって行われる検索・抽出のプロセスにおいてより高速で確実な抽出が行えるようにするためにレセプトデータのデータベース上での格納フォーマットを作成することである。

本研究全体において達成すべきゴールがレセプト単位での症例数のカウントであったり、特定の処置等の実施状況の割合等、レセプトの 1 枚単位の全てのデータを同時に取得し、そこから必要な情報に対する処理を行うこととなっている。そのため、現行の NDB で採用しているデータ種別別テーブルに基づくデータベースフォーマットである場合、抽出すべきデータを特定するにはレセプトのキー情報しか同時に取得できず、そのレセプトに含まれるデータを取得するためにはそのキー情報

を利用してもう一度データベースを検索し、情報を取得しなければならないため、作業効率が悪い。

また、データ数が大量であるためそれに対応できるシステムである必要がある。

NDB におけるデータを簡易に分析する際に、エクセルのピボットテーブルで作業ができるとより多くのユーザーにとって利用可能性が高まると考えそのシステムの実現可能性について検証をした。

本案件は、SQL サーバに格納したレセ電データからフラグテーブルを用意し、PivotTable の処理内容から作成した SQL クエリをフラグテーブルに対して実行し、実行結果を得るシステムの構築を目的とした。

なお、レセ電データを SQL サーバに格納する際は、SQL サーバの XML モードを利用し、XML 形式で格納した。

B.方法

本研究は以下の方法で行った。

- 1 ,レセプトのフォーマットから、各フィールドの情報についてそれぞれフィールド名を定義する
- 2 ,日付情報等、検索システム上課題となる部分については記載方法を検討し、XML の定義表を作成する。
- 3 ,上記の情報を元に、NDB データをXML データベースに投入をする。
- 4 ,データ分析に対してエクセルのピボットテーブルを利用し、完成予想図を作成、それをシステムに投入することによってNDB 全体の分析を行い、分析結果を表示するシステムを開発した。

C.結果

作成したフォーマット及び仕様、作業手順書について、報告書巻末の付録 CD-ROM に収載した別紙 1 ～ 4 に記載する。

D.結論・考察

システムとしては、初期の目標通りのものを開発することができた。但し、MicrosoftSQL サーバーの XML 処理の速度について課題があった。課題については、報告書巻末の付録 CD-ROM に収載した別紙 5 に記載している。

本システムは速度については満足な結果が得られなかったが、エクセルのピボットテーブルでの分析の可能性を示すことができた。

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールに係る仕様案の策定と
具体的活用手法の提案

松田 晋哉	産業医科大学医学部 教授	分担研究者
伏見 清秀	東京医科歯科大学大学院 教授	研究代表者
井高 貴之	国立病院機構本部総合研究センター 主任研究員	研究協力者

研究要旨：

前述までの先行研究を踏まえ、レセプトデータを診療報酬改定に利活用するためのデータベース・分析ツールに係る仕様案を策定するとともに、研究や行政等におけるレセプトデータ分析の応用可能性を検討した。

本仕様案では、先行研究での検討結果を踏まえ、行為データは全て算定日情報の形式で横に保有する形式となっている。また、集計処理は、主にファクトテーブルを用いて行うが、一部の複雑な集計については、集計の都度、テーブル間の突合や算定日 bit を用いて条件に該当するレセプトを特定・抽出して随時ファクトテーブルを作成することとしている。

さらに、本データベース・分析ツールを用いたレセプトデータ分析の応用可能性を整理した。行政においては、診療報酬改定による財政影響の算出、診療報酬体系の簡素化のための検討、患者の診療内容の実態の把握、医療機関における医療機能の実態や医療機関間のばらつきの把握等、診療報酬改定や病床機能報告制度等の各種政策の検討に当たって活用できると考えられる。一方、研究等においては、ある一時点における傷病の発生状況や医療の給付の受給状況の把握、各月の季節変動の把握等で応用可能性があり、特に、DPC データをはじめとする他のより詳細な臨床データと突合して集計・分析できれば診療のプロセス評価、治療の標準化への活用等、さらなる活用の促進が期待できる。

今後は、DPC データと組み合わせたデータセットの整備、レセプトデータの質や精度の向上、レセプトの項目や作成ルールの見直しを図る等して、幅広い分野でレセプトデータ分析の応用可能性が広がるよう取り組んでいくことが求められる。

A．研究目的

これまでの「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」、「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプ

の試作」において、診療報酬改定の作業に利活用できるデータベース・分析ツールの構築プロセスや各種データマート、ファクトテーブルを整理し、国立病院機構 144 病院から収集したレセプトデータや厚

生労働省から提供された NDB に格納されたレセプトデータを用いて実際にプロトタイプの試作や各種検証を行い、ツールとしての実現可能性や有用性が明らかになった。本研究では、これらの研究を通じて検討したデータベース・分析ツールに係る仕様案を策定するとともに、本データベース・分析ツールを用いた研究や行政等におけるレセプトデータ分析の応用可能性を検討することを目的とした。

B．研究方法

本研究では、これまでの「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」、「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプの試作」における検討結果を踏まえ、データベース・分析ツールに係る仕様案を策定した。

また、本データベース・分析ツールを用いた研究や行政等におけるレセプトデータ分析の応用可能性を検討し、具体的な活用例を列举した。

（倫理面への配慮）

本研究は「疫学研究に関する倫理指針」に基づいて行われた。個人情報保護に十分配慮し、構築されたデータベースから個人の特定ができない方式を採用した。また、独立行政法人国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認の下、データの収集・管理には安全管理措置を講じた。

C．研究結果

レセプトデータを診療報酬改定に利活用するためのデータベース・分析ツールを開

発するうえで、現時点で想定される主な必要事項について整理した仕様案は、77 頁～158 頁のとおりである。

本仕様案では、先行研究での検討結果を踏まえ、行為データは全て算定日情報の形式で横に保有する形式とした。また、先行研究「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプの試作」における検討結果を踏まえ、解釈番号単位の集計、薬価基準コード 7 桁単位の集計を行うためのデータマート、ファクトテーブルについても、「データマート Kaisyaku」、「データマート Yakka7」、「facttable01Kaisyaku」、「facttable02Kaisyaku_nyu_day」、「facttable03Kaisyaku_gai_day」、「facttable01Yakka7」、「facttable02Yakka7_nyu_day」、「facttable03Yakka7_gai_day」として整理した。ある診療報酬の算定施設・算定レセプトにおける他の診療報酬の算定状況に係る集計、同一レセプト内における各診療報酬間の同日算定の状況に係る集計については、集計の都度、テーブル間の突合や算定日 bit を用いて条件に該当するレセプトを特定・抽出して随時ファクトテーブルを作成することを想定した。なお、本仕様案はあくまで現時点の想定にもとづくものであるため、開発時には実際の利用を想定して適宜追記・修正を行いながら実施する必要がある。

さらに、研究や行政等における本データベース・分析ツールを用いたレセプトデータ分析の応用可能性を検討し、具体的な活用例を整理した結果は、以下のとおりである。本研究では、レセプトデータを診療報

酬改定に利活用することを主な目的として、これまで厚生労働省保険局医療課が実施していた改定による財政影響の把握のための社会医療診療行為別調査の特別集計を迅速に実施できることを優先してデータベース・分析ツールを検討した。そのため、レセプト単位の集計・分析を想定した機能が中心となっており、最大1カ月の期間を一つの集計単位とした件数、レセプトごとの診療実日数、合計点数、各診療報酬ごとの算定日数、算定回数、算定点数等が集計対象の値となっている。全レセプトの9割以上を占める大規模データを比較的容易に扱えるメリットがある一方で、現時点の機能のみを前提とした場合には、データベース・分析ツールの活用範囲に一定の限界があることにも留意する必要がある。

<行政における活用例>

行政においては、以下のような集計・分析を行うことで、診療報酬改定や病床機能報告制度をはじめ、各種政策の検討に活用することができる。

- ・診療年月、地域、施設特性、病床規模、入院・入院外、年齢階級、主傷病、保険種別等の分析軸を切り口とし、レセプト件数、診療実日数、合計点数を集計・分析することで、制度の構築や変更に伴う医療費全般の動向や1カ月間の患者の受療行動の変化、あるいは医療の地域差等を把握できる。また、将来推計人口等を用いることで、社会構造の変化に伴う将来的な医療費の推移に係るシミュレーション等も行うことができる。

- ・上記に加え、各診療報酬を算定しているレセプトの件数、診療実日数、合計点数、当該診療報酬の算定回数等を集計することで、診療報酬改定における財政影響のシミュレーションを行うことができる。また、各診療報酬の設定のあり方の検討に当たって、例えば、算定割合が低い診療報酬について廃止、算定割合が高い診療報酬について算定している入院料等との関係から施設基準に盛り込む等、診療報酬体系の簡素化のための検討も行うことができる。
- ・さらに、診療実日数とレセプト件数から当該レセプト患者の診療頻度、合計点数とレセプト件数・診療実日数から1カ月当たり・1日当たりの点数単価、当該診療報酬の算定回数とレセプト件数・診療実日数から1カ月当たり・1日当たりの当該診療報酬の算定頻度等を算出することで、診療内容の実態、各行為の実施状況を明らかにすることができる。
- ・ある診療報酬を算定していた施設を抽出して他の診療報酬の算定状況を集計することで、当該診療報酬で評価されている施設における医療機能の実態や医療機関間のばらつきを把握することができる。
- ・ある診療報酬を算定していたレセプトを抽出して他の診療報酬の算定状況を集計することで、1カ月の間に特定の診療が行われた患者における他の診療内容を把握することができる。
- ・同一レセプト内における各診療報酬間の同日算定の状況を日単位で集計する

ことで、ある入院料の算定病棟に滞在していた同日、あるいはある診療行為が行われた同日に他にどのような診療行為が行われたかを把握することができる。こうした分析は、診療報酬改定の検討に当たっても、他の診療報酬のうちで算定割合が高い項目等、重複算定状況から評価が類似している項目を洗い出し、項目の統廃合を検討することにつながる。入院年月日情報も用いることで、入院初日のみ、あるいは入院日から一定期間のみ算定可能な入院基本料等加算等について、一定程度の正確な算定状況を把握したうえで見直すことも可能となる。

< 研究等における活用例 >

研究等においては、行政における活用例で挙げた分析内容を用いた研究に加え、以下のような視点からレセプトデータ分析の応用可能性がある。特に、DPCデータをはじめとする他のより詳細な臨床データと突合して集計・分析できれば、活用がより一層推進される可能性がある。

- ・ 研究への応用可能性として、NDB データの悉皆性の高さやレセプトデータが月単位のデータであること等から、ある一時点における傷病の発生状況、医療の給付の受給状況を把握するうえで有用である。年間データで集計・分析を行うことで各月の季節変動を把握することも可能となる。ただし、傷病関連情報の信頼性は必ずしも高くないこと等、データの精度には一定程度留意

が必要がある。

- ・ さらに、本データベース・分析ツールのデータマートを用いて月単位のデータを一連のエピソード単位に加工し、特定の疾患における一連の診療行為や投薬内容、使用された特定器材を分析することで、診療のプロセス評価、治療の標準化にも貢献することが期待される。ただし、診療報酬上包括されている診療行為の把握が困難であることに留意する必要がある。また、患者の状態像やアウトカムを把握することは困難であるため、そうしたデータを用いた補正が必要となる集計・分析については一定の限界があることに留意する必要がある。

D . 考察

レセプト情報・特定健診等情報データベースに格納されたレセプトデータの活用は、その悉皆性の高さや全国統一の共通様式で作成されていること等から、我が国においてその重要性を増している。レセプトデータの利活用は、従来の目的であった診療報酬の請求の範囲を超えて、病床機能報告制度への活用をはじめ、様々な場面で進みつつある。

そうした動きに伴い、今後はレセプト内における診療報酬の審査や支払いに密接に関係する項目以外の情報についても、可能な限り正確で詳細な内容が求められるようになるであろう。例えば、「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」で明らかになったとおり、レセプトデータにおける傷病関連情報の信頼性は必ずしも高くない。実際に行った検査・処置

等の原因となる傷病のうち、他の傷病名の記載から医学的に判断して発症が類推できないものについては記載が必要であるが、一方、傷病名が多く列挙されており、既に治療が終了した傷病名の記載が残っているケースもある。主傷病が複数記載されている場合等、傷病名のうちでどの疾病が主病であるかを判別することも難しく、傷病に関連した分析を困難にしている。さらに、NDB では、テキストデータで記録された情報は削除されているため、未コード化傷病名について実際の傷病名称を把握することが難しい点にも一定の課題がある。その他、入院経路や退院先、診療目的、入退院時の状態像・重症度等、診療に密接に関連する情報の不足もある。こうした傷病情報ははじめとする記録ルールにもとづく問題や、必要となる情報の不足が、研究への応用を難しくする一因にもなっている。

DPC データでは、患者の臨床情報を整理し、診療行為情報とあわせてデータセットを構築している。レセプトデータと DPC データでは、作成の時点の違いやレセプト返戻時における整合性の不一致等の点で一定の課題はあるものの、こうしたデータと組み合わせでデータベース化を図っていくことは有意義であろう。長期的には、レセプトデータ分析で求められる患者の臨床情報を整理し、医療機関の入力負担を勘案しつつ、レセプトに DPC データと共通の項目を設定すること、あるいは傷病情報の記録ルールを見直すこと等を進め、レセプトデータそのものの質や精度の向上を図っていくことも望ましいと考える。

レセプトデータの質や精度の向上は、診療報酬の審査支払いにおける新たな方法

論・ロジックの構築や自動化・効率化につながる可能性もある。さらには、そうしたデータの分析を通じて、患者に対する診療の全国的な標準化、医療機関間における良質でばらつきの少ない医療の均てん化、各臨床現場における医療の質の維持・向上につながっていく可能性も十分にあるといえる。レセプトデータの利活用の範囲が広がりつつある中、レセプトの項目や作成・記載ルールについても長期的視野に立って見直していくことが求められる。

最後に、今後の課題として以下がある。

第 1 に、「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプを試作」で明らかになったとおり、本データベース・分析ツールにおいて NDB の大規模なデータを用いた場合の集計処理の迅速化を図るための方法論を確立する必要がある。本研究では、集計・分析の用途に応じたテーブルの分割や共通情報の付加に加え、「算定日 bit」をはじめ、ビット演算による方法を用いて処理の効率化を図った。しかしながら、未だ求められる処理速度を完全に実現したとは言い切れず、開発費用等の制約からハード面による効率化に限界がある中では、統計的手法にもとづく各種検証を行いながら、一部のデータを抽出して対応する適切な方法を明らかにする等、運用面における効率化のあり方についても引き続き検討を行う必要がある。

第 2 に、本研究で提示したデータベース・分析ツールは、前述のとおり、レセプトベースの集計・分析を行うための機能が実装されている。しかしながら、研究や行政施策への活用を想定した場合には、一入

院期間中の一連の診療行為に関する分析、あるいは入院と入院外のデータを組み合わせた分析、複数医療機関における受療行動や医療機関間の連携に関する分析等、エピソードベース、患者ベースで分析を行っていくことも求められる。その際には、本研究で用いたレセプトのレコード以外にも外泊レコード、合計調整レコード、包括評価レコード、さらにはDPCデータ等も用いてより複雑なロジックのもとにデータマートの設計や集計・分析を行っていくことが必要であろう。より高度な集計・分析に対応し、研究や行政等におけるレセプトデータ分析の応用可能性が広がるよう、さらなる機能を実現する方法論についても引き続き検討していくことが求められる。

E．結論

本研究では、先行研究「診療報酬改定にレセプトデータを利活用するための基礎的研究」、「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプ試作」における研究成果を踏まえて、レセプトデータを診療報酬改定に利活用するためのデータベース・分析ツールを開発するために現時点で想定される主な必要事項を整理し、仕様案を作成した。さらに、本データベース・分析ツールを用いた研究や行政等におけるレセプトデータ分析の応用可能性を検討し、具体的な活用例を整理した。本データベース・分析ツールは、厚生労働省保険局医療課における診療報酬改定の財政影響を分析するうえで有用であり、全レセプトの9割以上を占める大規模データを比較的容易に扱えるメリットもあるが、一方で、レセプト単位、

つまり最大1カ月の期間を一つの集計単位とした集計・分析を想定した機能が中心となっていることにより、活用範囲にも一定の限界がある。また、レセプトデータ自体における情報の不足や信頼性の低さに起因する限界もある。今後、レセプトの項目や作成・記載ルールの見直し、他のデータによる不足情報の補完も検討しつつ、データベース・分析ツールのさらなる機能の実現を図り、レセプトデータの利活用が研究や行政等においても広く促進されていくことが望まれる。

F．研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G．知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

レセプトデータを診療報酬改定に利活用するための データベース・分析ツールの開発に係る仕様（案）

本仕様は、レセプトデータを診療報酬改定に利活用するためのデータベース・分析ツールを開発するうえで必要となる主な事項について、現時点で想定される内容を整理したものである。なお、本データベース・分析ツールは、高機能サーバー等を要しないデスクトップ型の分析ツールを想定している。また、本データベース・分析ツールに求められる機能を実現するうえでは、開発・運用費用やデータ容量を極力抑えけるとともに、本データベース・分析ツールを活用した作業が円滑に進む処理速度等を維持すること。

1．データの項目・様式・範囲

本データベース・分析ツールに用いるデータは、レセプト情報・特定健診等情報データベース（以下、「NDB」という。）に格納された医科レセプトおよびDPCレセプトのデータとする。データの範囲は、分析対象年度の1年間分のデータとする。また、開発に当たってNDBから抽出する必要がある情報は、別紙1のとおりである。ただし、実際の利用を想定して追加で必要となる情報やデータ範囲等を見直すこともあり得る。

2．データベースの構築

本データベースは、NDBに格納された1年間分のレセプトデータを取り込み、データの補完・加工を行ってデータベース化する。具体的には、NDBから抽出した情報について、別紙2のE-R図に従ってテーブル間の突合や外部マスタとの突合を行いながら別紙3のとおりデータを補完・加工し、データベースを構築する。そして、集計・分析の目的に応じて必要となるデータを抽出し、ファクトテーブルを作成する。

本データベースは、別紙4を参考に、NDBの1年間分の量を取り扱うことのできるデータ容量とすること。また、本データベースの構築で要求される処理時間等の想定は、データ取り込み5日以内、データベース構築2カ月以内とする。

なお、データベースの構築作業に当たっては、適宜、中間テーブルを作成しながら進めることが望ましいことも考えられる。中間テーブルの作成については、必要に応じて先行研究「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプの試作」を参考とすること。

3．分析ツールの開発

上記のデータベースに格納されている大規模なレセプトデータに対し、別紙5に示すデータの絞り込みの条件、分析軸、集計対象となる値についてBIツールを用いて任意の項目による非定型的な集計・分析を迅速かつ柔軟に行うことを支援し、結果をExcel等に出力する機能を有する分析ツールを開発する。

本分析ツールは、大規模なデータの取り扱いが可能であり、データ集計・分析において一般的に用いられる統計手法・分析メニューを実装しているものとする。また、Excelの操作と同等程度のスキルで操作が可能なものとする。本分析ツールを用いた集計で要求される処理時間等の想定は、1回あたりの集計30分～1時間以内（複雑なロジックによる集計で新たにファクトテーブルを作成する必要がある場合等は、1ファクトテーブル作成につき1週間程度以内）とする。

なお、具体的な集計・分析の操作や結果のイメージについては、必要に応じて先行研究「サンプルデータ等を用いた診療報酬改定のためのデータベース・分析ツールのプロトタイプの試作」を参考とすること。

3. その他

その他、本仕様内容は現時点での想定であるため、開発時には実際の利用を想定して本仕様内容や他の必要な事項について担当者と協議のうえ、適宜追記・修正を行いながら実施すること。

図表 1 NDB から抽出する医科レセプトの IR レコード情報

COL	Index			COL名称	記録条件仕様列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				審査支払機関	審査支払機関	varchar	1	NULL
5				都道府県	都道府県	varchar	2	
6				点数表	点数表	varchar	1	NULL
7				医療機関	医療機関コード	varchar	10	匿名化通番。一意となる医療機関コードを付与。
8				施設特性	予備	tinyint		匿名化階級。医療機関コード毎に別表1の施設特性コードを付与。
9				DPC対象準備病院	医療機関名称	tinyint		匿名化階級。医療機関コード毎に別表2のDPC対象・準備病院コードを付与。
10				請求年月	請求年月	varchar	5	
11				マルチボリューム識別情報	マルチボリューム識別情報	varchar	1	NULL
12				病床規模	電話番号	tinyint		匿名化階級。医療機関コード毎に別表3の病床規模コードを付与。

図表2 NDB から抽出する医科レセプトの RE レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別	レコード識別	varchar	2	
4				レセプト番号	レセプト番号	varchar	6	
5				レセプト種別	レセプト種別	tinyint		匿名化階級。0:入院、1:入院外
6				診療年月	診療年月	varchar	5	
7				患者ID1	氏名	varchar	64	患者ID1 (64桁)
8				男女区分	男女区分	varchar	1	NULL
9				年齢階級	生年月日	tinyint		匿名化階級。2012年6月1日時点の年齢を算出し、別表1の年齢階級コードに変換して当該データを付与。
10				給付割合	給付割合	varchar	1	NULL
11				入院年月日	入院年月日	varchar	7	
12				病棟区分	病棟区分	varchar	8	
13				一部負担金等標準負担額区分	一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	varchar	1	NULL
14				レセプト特記事項	レセプト特記事項	varchar	1	NULL
15				予備1	病床数	varchar	1	NULL
16				患者ID2	カルテ番号等	varchar	64	患者ID2 (64桁)
17				割引点数単価	割引点数単価	varchar	1	NULL
18				予備2	予備	varchar	1	NULL
19				予備3	予備	varchar	1	NULL
20				旧診療科	旧診療科	varchar	1	NULL
21				検索番号	検索番号	varchar	1	NULL
22				記録条件仕様年月情報	記録条件仕様年月情報	varchar	1	NULL
23				予備4	請求情報	varchar	1	NULL
24				診療科1診療科名	診療科1・診療科名	varchar	1	NULL
25				診療科1人体の部位等	診療科1・人体の部位等	varchar	1	NULL
26				診療科1性別等	診療科1・性別等	varchar	1	NULL
27				診療科1医学的処置	診療科1・医学的処置	varchar	1	NULL
28				診療科1特定疾病	診療科1・特定疾病	varchar	1	NULL
29				診療科2診療科名	診療科2・診療科名	varchar	1	NULL
30				診療科2人体の部位等	診療科2・人体の部位等	varchar	1	NULL
31				診療科2性別等	診療科2・性別等	varchar	1	NULL
32				診療科2医学的処置	診療科2・医学的処置	varchar	1	NULL
33				診療科2特定疾病	診療科2・特定疾病	varchar	1	NULL
34				診療科3診療科名	診療科3・診療科名	varchar	1	NULL
35				診療科3人体の部位等	診療科3・人体の部位等	varchar	1	NULL
36				診療科3性別等	診療科3・性別等	varchar	1	NULL
37				診療科3医学的処置	診療科3・医学的処置	varchar	1	NULL
38				診療科3特定疾病	診療科3・特定疾病	varchar	1	NULL

図表3 NDB から抽出する医科レセプトのHOレコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				保険種別	保険者番号	tinyint		匿名化階級。別表5の保険種別コードに変換して当該データを付与。
5				予備1	被保険者証(手帳)等の記号	varchar	1	NULL
6				予備2	被保険者証(手帳)等の番号	varchar	1	NULL
7				診療実日数	診療実日数	float		
8				合計点数	合計点数	float		
9				予備3	予備	varchar	1	NULL
10				食事療養生活療養回数	回数(食事療養・生活療養)	varchar	1	NULL
11				食事療養生活療養合計金額	合計金額(食事療養・生活療養)	varchar	1	NULL
12				職務上の事由	職務上の事由	varchar	1	NULL
13				予備4	証明書番号	varchar	1	NULL
14				負担金額医療保険	医療保険(負担金額)	varchar	1	NULL
15				負担金額減免区分	減免区分(負担金額)	varchar	1	NULL
16				負担金額減額割合	減額割合(負担金額)	varchar	1	NULL
17				負担金額減額金額	減額金額(負担金額)	varchar	1	NULL

図表4 NDB から抽出する医科レセプトのSYレコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				傷病名コード	傷病名コード	varchar	7	
5				診療開始日	診療開始日	varchar	7	
6				転帰区分	転帰区分	varchar	1	NULL
7				修飾語コード	修飾語コード	varchar	80	
8				予備1	傷病名称	varchar	1	NULL
9				主傷病	主傷病	varchar	2	
10				予備2	補足コメント	varchar	1	NULL

図表 5 NDB から抽出する医科レセプトの SI レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診療識別	診療識別	varchar	2	
5				負担区分	負担区分	varchar	1	NULL
6		1		診療行為コード	診療行為コード	varchar	9	
7				数量データ	数量データ	float		
8				点数	点数	float		
9				回数	回数	float		
10				コメントコード1	コメントコード1(コメント)	varchar	1	NULL
11				予備2	文字データ1(コメント)	varchar	1	NULL
12				コメントコード2	コメントコード2(コメント)	varchar	1	NULL
13				予備3	文字データ2(コメント)	varchar	1	NULL
14				コメントコード3	コメントコード3(コメント)	varchar	1	NULL
15				予備4	文字データ3(コメント)	varchar	1	NULL
16				1日の情報	1日の情報	float		
17				2日の情報	2日の情報	float		
18				3日の情報	3日の情報	float		
...				4日の情報～28日の情報				
44				29日の情報	29日の情報	float		
45				30日の情報	30日の情報	float		
46				31日の情報	31日の情報	float		

図表 6 NDB から抽出する医科レセプトの IY レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診療識別	診療識別	varchar	2	
5				負担区分	負担区分	varchar	1	NULL
6		1		医薬品コード	医薬品コード	varchar	9	
7				使用量	使用量	float		
8				点数	点数	float		
9				回数	回数	float		
10				コメントコード1	コメントコード1(コメント)	varchar	1	NULL
11				予備2	文字データ1(コメント)	varchar	1	NULL
12				コメントコード2	コメントコード2(コメント)	varchar	1	NULL
13				予備3	文字データ2(コメント)	varchar	1	NULL
14				コメントコード3	コメントコード3(コメント)	varchar	1	NULL
15				予備4	文字データ3(コメント)	varchar	1	NULL
16				1日の情報	1日の情報	float		
17				2日の情報	2日の情報	float		
18				3日の情報	3日の情報	float		
...				4日の情報～28日の情報				
44				29日の情報	29日の情報	float		
45				30日の情報	30日の情報	float		
46				31日の情報	31日の情報	float		

図表 7 NDB から抽出する医科レセプトの TO レコード情報

COL	Index			COL名称		型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	医科レセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	医科レセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診療識別	診療識別	varchar	2	
5				負担区分	負担区分	varchar	1	NULL
6		1		特定器材コード	特定器材コード	varchar	9	
7				使用量	使用量	float		
8				点数	点数	float		
9				回数	回数	float		
10				単位コード	単位コード	varchar	3	
11				単価	単価	varchar	11	
12				予備1	特定器材名称	varchar	1	NULL
13				予備2	商品名及び規格又はサイズ	varchar	1	NULL
14				コメントコード1	コメントコード1(コメント)	varchar	1	NULL
15				予備3	文字データ1(コメント)	varchar	1	NULL
16				コメントコード2	コメントコード2(コメント)	varchar	1	NULL
17				予備4	文字データ2(コメント)	varchar	1	NULL
18				コメントコード3	コメントコード3(コメント)	varchar	1	NULL
19				予備5	文字データ3(コメント)	varchar	1	NULL
20				1日の情報	1日の情報	float		
21				2日の情報	2日の情報	float		
22				3日の情報	3日の情報	float		
...				4日の情報～28日の情報				
48				29日の情報	29日の情報	float		
49				30日の情報	30日の情報	float		
50				31日の情報	31日の情報	float		

図表 8 NDB から抽出する DPC レセプトの IR レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				審査支払機関	審査支払機関	varchar	1	NULL
5				都道府県	都道府県	varchar	2	
6				点数表	点数表	varchar	1	NULL
7				医療機関	医療機関コード	varchar	10	匿名化通番。一意となる医療機関コードを付与。
8				施設特性	予備	tinyint		匿名化階級。医療機関コード毎に別表1の施設特性コードを付与。
9				DPC対象準備病院	医療機関名称	tinyint		匿名化階級。医療機関コード毎に別表2のDPC対象・準備病院コードを付与。
10				請求年月	請求年月	varchar	5	
11				マルチボリューム識別情報	マルチボリューム識別情報	varchar	1	NULL
12				病床規模	電話番号	tinyint		匿名化階級。医療機関コード毎に別表3の病床規模コードを付与。

図表 9 NDB から抽出する DPC レセプトの RE レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別	レコード識別	varchar	2	
4				レセプト番号	レセプト番号	varchar	6	
5				レセプト種別	レセプト種別	tinyint		匿名化階級。0:入院、1:入院外
6				診療年月	診療年月	varchar	5	
7				患者ID1	氏名	varchar	64	患者ID1 (64桁)
8				男女区分	男女区分	varchar	1	NULL
9				年齢階級	生年月日	tinyint		匿名化階級。2012年6月1日時点の年齢を算出し、別表1の年齢階級コードに変換して当該データを付与。
10				給付割合	給付割合	varchar	1	NULL
11				入院年月日	入院年月日	varchar	7	
12				病棟区分	病棟区分	varchar	8	
13				一部負担金等標準負担額区分	一部負担金・食事療養費・生活療養費標準負担額区分	varchar	1	NULL
14				レセプト特記事項	レセプト特記事項	varchar	1	NULL
15				予備1	予備	varchar	1	NULL
16				患者ID2	カルテ番号等	varchar	64	患者ID2 (64桁)
17				割引点数単価	割引点数単価	varchar	1	NULL
18				予備2	予備	varchar	1	NULL
19				予備3	予備	varchar	1	NULL
20				旧診療科	旧診療科	varchar	1	NULL
21				レセプト総括区分	レセプト総括区分	tinyint		
22				明細情報数	明細情報数	varchar	2	
23				検索番号	検索番号	varchar	1	NULL
24				記録条件仕様年月情報	記録条件仕様年月情報	varchar	1	NULL
25				予備4	請求情報	varchar	1	NULL
26				診療科診療科名	診療科・診療科名	varchar	1	NULL
27				診療科人体の部位等	診療科・人体の部位等	varchar	1	NULL
28				診療科性別等	診療科・性別等	varchar	1	NULL
29				診療科医学的処置	診療科・医学的処置	varchar	1	NULL
30				診療科特定疾病	診療科・特定疾病	varchar	1	NULL

図表 10 NDB から抽出する DPC レセプトの HO レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				保険種別	保険者番号	tinyint		匿名化階級。別表5の保険種別コードに変換して当該データを付与。
5				予備1	被保険者証(手帳)等の記号	varchar	1	NULL
6				予備2	被保険者証(手帳)等の番号	varchar	1	NULL
7				診療実日数	診療実日数	float		
8				合計点数	合計点数	float		
9				予備3	予備	varchar	1	NULL
10				食事療養生活療養回数	回数(食事療養・生活療養)	varchar	1	NULL
11				食事療養生活療養合計金額	合計金額(食事療養・生活療養)	varchar	1	NULL
12				職務上の事由	職務上の事由	varchar	1	NULL
13				予備4	証明書番号	varchar	1	NULL
14				負担金額医療保険	医療保険(負担金額)	varchar	1	NULL
15				負担金額減免区分	減免区分(負担金額)	varchar	1	NULL
16				負担金額減額割合	減額割合(負担金額)	varchar	1	NULL
17				負担金額減額金額	減額金額(負担金額)	varchar	1	NULL
18				食事療養生活療養標準負担額	標準負担額(食事療養・生活療養)	varchar	1	NULL

図表 11 NDB から抽出する DPC レセプトの BU レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診断群分類番号	診断群分類番号	varchar	14	
5				今回入院年月日	今回入院年月日	varchar	7	
6				今回退院年月日	今回退院年月日	varchar	7	
7				DPC転帰区分	DPC転帰区分	varchar	1	NULL
8				死因	死因	varchar	1	NULL

図表 12 NDB から抽出する DPC レセプトの SB レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				傷病名コード	傷病名コード	varchar	7	
5				修飾語コード	修飾語コード	varchar	80	
6				予備1	傷病名称	varchar	1	NULL
7				ICD10コード	ICD10コード	varchar	5	
8				傷病名区分	傷病名区分	varchar	2	
9				死因	死因	varchar	1	NULL
10				予備2	補足コメント	varchar	1	NULL

図表 13 NDB から抽出する DPC レセプトの SY レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				傷病名コード	傷病名コード	varchar	7	
5				診療開始日	診療開始日	varchar	7	
6				転帰区分	転帰区分	varchar	1	NULL
7				修飾語コード	修飾語コード	varchar	80	
8				予備1	傷病名称	varchar	1	NULL
9				主傷病	主傷病	varchar	2	
10				予備2	補足コメント	varchar	1	NULL

図表 14 NDB から抽出する DPC レセプトの SI レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診療識別	診療識別	varchar	2	
5				負担区分	負担区分	varchar	1	NULL
6		1		診療行為コード	診療行為コード	varchar	9	
7				数量データ	数量データ	float		
8				点数	点数	float		
9				回数	回数	float		
10				コメントコード1	コメントコード1(コメント)	varchar	1	NULL
11				予備1	文字データ1(コメント)	varchar	1	NULL
12				コメントコード2	コメントコード2(コメント)	varchar	1	NULL
13				予備2	文字データ2(コメント)	varchar	1	NULL
14				コメントコード3	コメントコード3(コメント)	varchar	1	NULL
15				予備3	文字データ3(コメント)	varchar	1	NULL
16				1日の情報	1日の情報	float		
17				2日の情報	2日の情報	float		
18				3日の情報	3日の情報	float		
...				4日の情報～28日の情報				
44				29日の情報	29日の情報	float		
45				30日の情報	30日の情報	float		
46				31日の情報	31日の情報	float		

図表 15 NDB から抽出する DPC レセプトの IY レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診療識別	診療識別	varchar	2	
5				負担区分	負担区分	varchar	1	NULL
6		1		医薬品コード	医薬品コード	varchar	9	
7				使用量	使用量	float		
8				点数	点数	float		
9				回数	回数	float		
10				コメントコード1	コメントコード1(コメント)	varchar	1	NULL
11				予備1	文字データ1(コメント)	varchar	1	NULL
12				コメントコード2	コメントコード2(コメント)	varchar	1	NULL
13				予備2	文字データ2(コメント)	varchar	1	NULL
14				コメントコード3	コメントコード3(コメント)	varchar	1	NULL
15				予備3	文字データ3(コメント)	varchar	1	NULL
16				1日の情報	1日の情報	float		
17				2日の情報	2日の情報	float		
18				3日の情報	3日の情報	float		
...				4日の情報～28日の情報				
44				29日の情報	29日の情報	float		
45				30日の情報	30日の情報	float		
46				31日の情報	31日の情報	float		

図表 16 NDB から抽出する DPC レセプトの TO レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				診療識別	診療識別	varchar	2	
5				負担区分	負担区分	varchar	1	NULL
6		1		特定器材コード	特定器材コード	varchar	9	
7				使用量	使用量	float		
8				点数	点数	float		
9				回数	回数	float		
10				単位コード	単位コード	varchar	3	
11				単価	単価	varchar	11	
12				予備1	特定器材名称	varchar	1	NULL
13				予備2	商品名及び規格又はサイズ	varchar	1	NULL
14				コメントコード1	コメントコード1(コメント)	varchar	1	NULL
15				予備3	文字データ1(コメント)	varchar	1	NULL
16				コメントコード2	コメントコード2(コメント)	varchar	1	NULL
17				予備4	文字データ2(コメント)	varchar	1	NULL
18				コメントコード3	コメントコード3(コメント)	varchar	1	NULL
19				予備5	文字データ3(コメント)	varchar	1	NULL
20				1日の情報	1日の情報	float		
21				2日の情報	2日の情報	float		
22				3日の情報	3日の情報	float		
...				4日の情報～28日の情報				
48				29日の情報	29日の情報	float		
49				30日の情報	30日の情報	float		
50				31日の情報	31日の情報	float		

図表 17 NDB から抽出する DPC レセプトの CD レコード情報

COL	Index			COL名称	NDB列名	型	size	説明
	1	2	3					
1	2			レコード順序		varchar	10	DPCレセプト内で行単位で一意となる番号を付与。
2	1			レセプト通番		varchar	16	DPCレセプト内でレセプト単位で一意となる番号を付与。
3				レコード識別情報	レコード識別情報	varchar	2	
4				実施年月日	実施年月日	varchar	7	
5				診療識別	診療識別	varchar	2	
6				順序番号	順序番号	varchar	4	
7				行為明細番号	行為明細番号	varchar	3	
8		1		レセ電算コード	レセプト電算処理システム用レコード	varchar	9	
9				使用量	使用量	float		
10				数量データ	数量データ	float		
11				単位コード	単位コード	varchar	3	
12				回数	回数	float		
13				予備1	特定器材名称	varchar	1	NULL

別表一覧

別表1 施設特性コード

コード	施設特性
1	精神科病院
2	特定機能病院
3	療養病床を有する病院
4	一般病院
5	有床診療所
6	無床診療所
7	不明

別表2 DPC対象・準備病院コード

コード	DPC対象・準備病院
1	DPC対象・準備病院
2	DPC対象・準備病院以外の病院
3	不明

別表3 病床規模コード

コード	病床規模
1	19床以下
2	20～49床
3	50～99床
4	100～199床
5	200～299床
6	300～499床
7	500床以上
8	不明

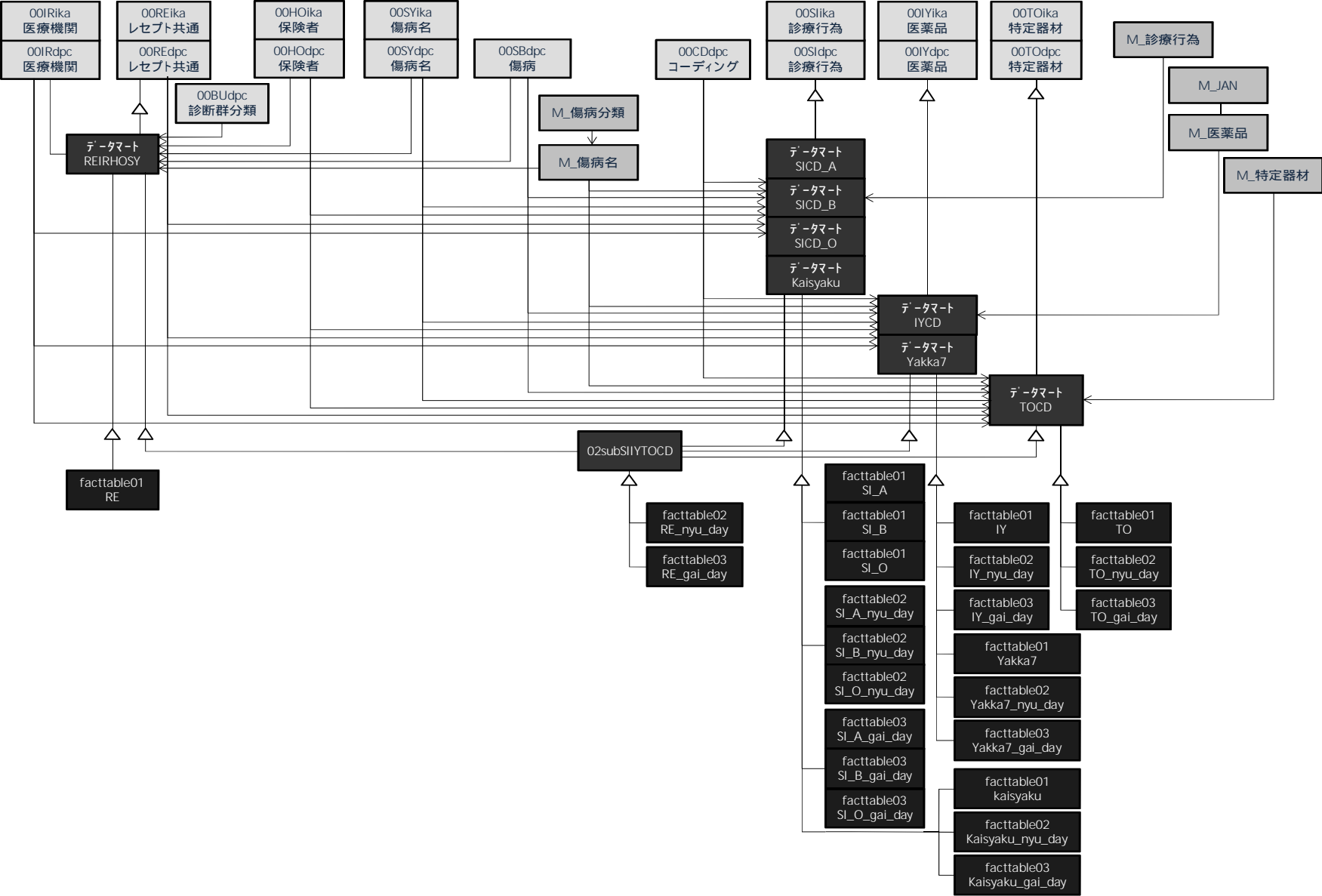
別表4 年齢階級コード

コード	年齢階級
01	0-4歳
02	5-9歳
03	10-14歳
04	15-19歳
05	20-24歳
06	25-29歳
07	30-34歳
08	35-39歳
09	40-44歳
10	45-49歳
11	50-54歳
12	55-59歳
13	60-64歳
14	65-69歳
15	70-74歳
16	75-79歳
17	80-84歳
18	85歳-
19	不明

別表5 保険種別コード

コード	保険種別
1	協会けんぽ
2	組合健保
3	共済等
4	国保
5	後期高齢者医療制度
6	その他

E-R 図 (Entity Relationship Diagram)



図表 1 データマート REIRHOSY におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1															ikadpc	tinyint		1:医科レセプト、2:DPCレセプトを付与。
2															レセプト通番	varchar	16	レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、RE「レセプト通番」より付与。
3															cocd	varchar	10	NDBデータ提供時の医療機関コードを付与。
4										1	1				nyu	tinyint		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、RE「レセプト種別」が入院関連のコードは1、それ以外は0を付与。
5												1	1		gai	tinyint		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、RE「レセプト種別」が入院外関連のコードは1、それ以外は0を付与。
6															seiy	varchar	6	IR「請求年月」を西暦に変換して付与。
7					1										shiny	varchar	6	レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、RE「診療年月」を西暦に変換して付与。
8															nyuymd1	varchar	8	レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、同一レセプト内の対象レセプトに記載されているRE「入院年月日」(DPCレセプトでRE「入院年月日」の記録が省略されている場合にはBU「今回入院年月日」を使用)を西暦に変換し、最も過去の年月日を付与。
9															IR	tinyint		レセプト単位でIR「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
10	1														都道府県	varchar	2	IR「都道府県」より付与。
11		1													施設特性	tinyint		NDBデータ提供時の施設特性コードを付与。
12			1												DPC対象準備病院	tinyint		NDBデータ提供時のDPC対象・準備病院コードを付与。
13				1											病床規模	tinyint		NDBデータ提供時の病床規模コードを付与。
14															RE	tinyint		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、RE「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
15															患者ID1	varchar	64	NDBデータ提供時の患者ID1を付与。
16						1									年齢階級	tinyint		NDBデータ提供時の年齢階級コードを付与。
17															患者ID2	varchar	64	NDBデータ提供時の患者ID2を付与。
18															HO	tinyint		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
19								1							保険種別1	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」は1、それ以外は0を付与。
20															診療実日数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「診療実日数」を合算して付与。
21															合計点数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「合計点数」を合算して付与。
22								2							保険種別2	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」は1、それ以外は0を付与。
23															診療実日数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
24															合計点数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「合計点数」を合算して付与。
25								3							保険種別3	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」は1、それ以外は0を付与。
26															診療実日数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「診療実日数」を合算して付与。
27															合計点数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「合計点数」を合算して付与。
28								4							保険種別4	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」は1、それ以外は0を付与。
29															診療実日数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
30															合計点数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「合計点数」を合算して付与。
31								5							保険種別5	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」は1、それ以外は0を付与。
32															診療実日数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「診療実日数」を合算して付与。
33															合計点数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「合計点数」を合算して付与。

図表 2 データマート REIRHOSY におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
34									6						保険種別6	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」は1、それ以外は0を付与。
35															診療実日数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「診療実日数」を合算して付与。
36															合計点数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「合計点数」を合算して付与。
37															診療実日数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「診療実日数」を合算して付与。
38															合計点数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」を合算して付与。
39										2					入院1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
40												2			入院外1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
41									2						入院1件当たり点数階級	tinyint		入院レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
42											2				入院外1件当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
43															SY	tinyint		レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報にSY「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
44															SB	tinyint		レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報にSB「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
45															傷病名コード	varchar	7	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」を付与。
46															ICD10_1	varchar	5	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」を傷病名マスタを用いて「ICD - 10 - 1」に変換して付与。
47								1							傷病分類	varchar	4	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」から傷病名マスタを用いて変換した「ICD - 10 - 1」を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換して付与。
48															疑い	tinyint		レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「修飾語コード」に「8002疑い」が記録されていれば1、それ以外は0を付与。

図表 3 データマート SICD_A、SICD_B、SICD_O におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1										1					ikadpc	tinyint		1:医科レセプト、2:DPCレセプトを付与。
2										2					レセプト通番	varchar	16	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト通番」より付与。
3															cocd	varchar	10	NDBデータ提供時の医療機関コードを付与。
4											1	1			nyu	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院関連のコードは1、それ以外は0を付与。
5													1	1	gai	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院外関連のコードは1、それ以外は0を付与。
6															seiy	varchar	6	IR「請求年月」を西暦に変換して付与。
7					1										shiny	varchar	6	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「診療年月」を西暦に変換して付与。
8															nyuymd1	varchar	8	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、同一レセプト内の対象レセプトに記載されているRE「入院年月日」(DPCレセプトでRE「入院年月日」の記録が省略されている場合にはBU「今回入院年月日」を使用)を西暦に変換し、最も過去の年月日を付与。
9															SI	tinyint		レセプト単位、レセ電算コード単位で、SI「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
10															CD	tinyint		レセプト単位、レセ電算コード単位で、CD「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
11									2						診療行為コード	varchar	9	レセプト単位、レセ電算コード単位で、SI「診療行為コード」/CD「レセプト電算処理システム用コード」を付与。
12															診療行為名称	nvarchar	64	医科診療行為マスタ「診療行為省略名称」を付与。
13									1						解釈番号	varchar	10	医科診療行為マスタ「コード表用番号」から情報を付与。
14															加算	tinyint		医科診療行為マスタ「診療行為省略名称」に加算の単語が含まれていれば1、なければ0を付与。
15															点数単価	float		医科診療行為マスタより新又は現点数の「点数識別」が1、3、8の場合に「新又は現点数」を付与。
16															きざみ値計算識別	tinyint		医科診療行為マスタ「きざみ値計算識別」を付与。
17															きざみ値	float		医科診療行為マスタ「きざみ値」を付与。
18															きざみ点数単価	float		医科診療行為マスタ「きざみ点数」を付与。
19															算定日数	float		各日の算定情報をもとに、レセプト単位、レセ電算コード単位で算定日数を算出して付与。
20															算定数量	float		SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとに算定数量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
21															算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
22															算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
23															算定基本点数M	float		医科診療行為マスタを用いて、SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとに、マスタにもとづく算定基本点数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。

図表 4 データマート SICD_A、SICD_B、SICD_O におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
24															算定きざみ点数M	float		医科診療行為マスタを用いて、SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとに、マスタにもとづく算定きざみ点数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
25															算定点数M	float		医科診療行為マスタを用いて、SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとに、マスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
26															算定点数	float		SI「点数」とSI「回数」をもとに算定点数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。
27															los base	float		上記の「nyuymd1」から当該レセプトの診療年月の1日時点を引き引いた日数情報を付与。
28															算定日bit	int		別途記載する方法にもとづき、算定日bitを付与。
29															入院後日数bit	int		別途記載する方法にもとづき、入院後日数bitを付与。
30															受診曜日bit	int		別途記載する方法にもとづき、受診曜日bitを付与。
31															1日の算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「01」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
32															2日の算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「02」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
33															3日の算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「03」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
...															4日の算定基本回数～28日の算定基本回数			
59															29日の算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「29」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
60															30日の算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「30」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
61															31日の算定基本回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「31」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとに基本点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。

図表5 データマート SICD_A、SICD_B、SICD_O におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
62															1日の算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「01」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
63															2日の算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「02」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
64															3日の算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「03」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
...															4日の算定きざみ回数～28日の算定きざみ回数			
90															29日の算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「29」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
91															30日の算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「30」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
92															31日の算定きざみ回数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「31」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにきざみ点数の算定回数を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
93	1														都道府県	varchar	2	IR「都道府県」より付与。
94		1													施設特性	tinyint		NDBデータ提供時の施設特性コードを付与。
95			1												DPC対象準備病院	tinyint		NDBデータ提供時のDPC対象・準備病院コードを付与。
96				1											病床規模	tinyint		NDBデータ提供時の病床規模コードを付与。
97						1									年齢階級	tinyint		NDBデータ提供時の年齢階級コードを付与。
98								1							保険種別1	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」は1、それ以外は0を付与。
99															診療実日数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「診療実日数」を合算して付与。
100															合計点数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「合計点数」を合算して付与。
101								2							保険種別2	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」は1、それ以外は0を付与。
102															診療実日数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
103															合計点数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「合計点数」を合算して付与。
104								3							保険種別3	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」は1、それ以外は0を付与。
105															診療実日数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「診療実日数」を合算して付与。
106															合計点数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「合計点数」を合算して付与。

図表 6 データマート SICD_A、SICD_B、SICD_O におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
107								4							保険種別4	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」は1、それ以外は0を付与。
108															診療実日数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
109															合計点数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「合計点数」を合算して付与。
110								5							保険種別5	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」は1、それ以外は0を付与。
111															診療実日数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「診療実日数」を合算して付与。
112															合計点数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「合計点数」を合算して付与。
113								6							保険種別6	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」は1、それ以外は0を付与。
114															診療実日数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「診療実日数」を合算して付与。
115															合計点数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「合計点数」を合算して付与。
116															診療実日数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「診療実日数」を合算して付与。
117															合計点数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」を合算して付与。
118													2		入院1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
119														2	入院外1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
120											2				入院1件当たり点数階級	tinyint		入院レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
121													2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
122							1								傷病分類	varchar	4	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」から傷病名マスタを用いて変換した「ICD - 10 - 1」を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換して付与。

データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oは、それぞれ医科診療行為マスタ「コード表用番号」がAの情報、B～Nの情報、それ以外の情報を用いて作成。

図表 7 データマート Kaisyaku におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1										1					ikadpc	tinyint		1:医科レセプト、2:DPCレセプトを付与。
2										2					レセプト通番	varchar	16	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト通番」より付与。
3															cocd	varchar	10	NDBデータ提供時の医療機関コードを付与。
4											1	1			nyu	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院関連のコードは1、それ以外は0を付与。
5													1	1	gai	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院外関連のコードは1、それ以外は0を付与。
6															seiyym	varchar	6	IR「請求年月」を西暦に変換して付与。
7					1										shinym	varchar	6	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「診療年月」を西暦に変換して付与。
8															nyuymd1	varchar	8	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、同一レセプト内の対象レセプトに記載されているRE「入院年月日」(DPCレセプトでRE「入院年月日」の記録が省略されている場合にはBU「今回入院年月日」を使用)を西暦に変換し、最も過去の年月日を付与。
9															SI	tinyint		レセプト単位、解釈番号単位で、SI「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
10															CD	tinyint		レセプト単位、解釈番号単位で、CD「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
13									1						解釈番号	varchar	10	医科診療行為マスタ「コード表用番号」から情報を付与。
19															算定日数	float		各日の算定情報をもとに、レセプト単位、解釈番号単位で算定日数を算出して付与。
25															算定点数M	float		医科診療行為マスタを用いて、SI/CD「数量データ」とSI/CD「回数」をもとに、マスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
26															算定点数	float		SI「点数」とSI「回数」をもとに算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。
27															los_base	float		上記の「nyuymd1」から当該レセプトの診療年月の1日時点を差引いた日数情報を付与。
28															算定日bit	int		別途記載する方法にもとづき、算定日bitを付与。
29															入院後日数bit	int		別途記載する方法にもとづき、入院後日数bitを付与。
30															受診曜日bit	int		別途記載する方法にもとづき、受診曜日bitを付与。
31															1日の算定点数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「01」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにマスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
32															2日の算定点数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「02」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにマスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
33															3日の算定点数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「03」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにマスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。

図表 8 データマート Kaisyaku におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
...	4日の算定点数～28日の算定点数																	
59															29日の算定点数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「29」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにマスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
60															30日の算定点数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「30」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにマスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
61															31日の算定点数	float		医科診療行為マスタを用いて、SI「数量データ」とSI「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「31」のCD「数量データ」、CD「回数」をもとにマスタの基本点数ときざみ点数をあわせて算定点数を算出し、レセプト単位、解釈番号単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でSIとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、SIを優先してCDは除外。
93	1														都道府県	varchar	2	IR「都道府県」より付与。
94		1													施設特性	tinyint		NDBデータ提供時の施設特性コードを付与。
95			1												DPC対象準備病院	tinyint		NDBデータ提供時のDPC対象・準備病院コードを付与。
96				1											病床規模	tinyint		NDBデータ提供時の病床規模コードを付与。
97						1									年齢階級	tinyint		NDBデータ提供時の年齢階級コードを付与。
98								1							保険種別1	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」は1、それ以外は0を付与。
99															診療実日数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「診療実日数」を合算して付与。
100															合計点数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「合計点数」を合算して付与。
101								2							保険種別2	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」は1、それ以外は0を付与。
102															診療実日数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
103															合計点数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「合計点数」を合算して付与。
104								3							保険種別3	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」は1、それ以外は0を付与。
105															診療実日数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「診療実日数」を合算して付与。
106															合計点数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「合計点数」を合算して付与。
107								4							保険種別4	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」は1、それ以外は0を付与。
108															診療実日数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
109															合計点数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「合計点数」を合算して付与。
110								5							保険種別5	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」は1、それ以外は0を付与。
111															診療実日数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「診療実日数」を合算して付与。
112															合計点数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「合計点数」を合算して付与。
113								6							保険種別6	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」は1、それ以外は0を付与。
114															診療実日数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「診療実日数」を合算して付与。
115															合計点数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「合計点数」を合算して付与。

図表 9 データマート Kaisyaku におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
116															診療実日数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「診療実日数」を合算して付与。
117															合計点数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」を合算して付与。
118												2			入院1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
119													2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
120											2				入院1件当たり点数階級	tinyint		入院レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
121													2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
122							1								傷病分類	varchar	4	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」から傷病名マスタを用いて変換した「ICD - 10 - 1」を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換して付与。

医科診療行為マスタ「コード表用番号」がA～Nの情報を用いて作成。

図表 10 データマート IYCD におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1										1					ikadpc	tinyint		1:医科レセプト、2:DPCレセプトを付与。
2										2					レセプト通番	varchar	16	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト通番」より付与。
3															cocd	varchar	10	NDBデータ提供時の医療機関コードを付与。
4											1	1			nyu	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院関連のコードは1、それ以外は0を付与。
5													1	1	gai	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院外関連のコードは1、それ以外は0を付与。
6															seiy	varchar	6	IR「請求年月」を西暦に変換して付与。
7					1										shiny	varchar	6	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「診療年月」を西暦に変換して付与。
8															nyuymd1	varchar	8	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、同一レセプト内の対象レセプトに記載されているRE「入院年月日」(DPCレセプトでRE「入院年月日」の記録が省略されている場合にはBU「今回入院年月日」を使用)を西暦に変換し、最も過去の年月日を付与。
9															IY	tinyint		レセプト単位、レセ電算コード単位で、IY「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
10															CD	tinyint		レセプト単位、レセ電算コード単位で、CD「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
11									2						医薬品コード	varchar	9	レセプト単位、レセ電算コード単位で、IY「医薬品コード」/CD「レセプト電算処理システム用コード」を付与。
12															医薬品名称	nvarchar	64	医薬品マスタ「基本漢字名称」を付与。
13								1							薬価基準7コード	varchar	7	日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「薬価基準収載医薬品コード」の上7桁の情報を付与。
14															後発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「後発品」があれば1、なければ0を付与。
15															後発のない先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「後発のない先発品」があれば1、なければ0を付与。
16															先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「先発品」があれば1、なければ0を付与。
17															同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「同一剤形・規格の後発品がある先発品」があれば1、なければ0を付与。
18															同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「薬価基準収載医薬品コード」の上4桁の情報と成分別番号の組み合わせごとに、後発品があれば1、なければ0を付与。
19															金額単価	float		医薬品マスタより新又は現金額の「金額識別」が1の場合に「新又は現金額」を付与。
20															算定日数	float		各日の算定情報をもとに、レセプト単位、レセ電算コード単位で算定日数を算出して付与。
21															算定使用量	float		IY/CD「使用量」とIY/CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
22															算定金額M	float		医薬品マスタを用いて、IY/CD「使用量」とIY/CD「回数」をもとに、マスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
23															算定金額	float		IY「点数」とIY「回数」をもとに算定金額を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。
24															los_base	float		上記の「nyuymd1」から当該レセプトの診療年月の1日時点差を引いた日数情報を付与。
25															算定日bit	int		別途記載する方法にもとづき、算定日bitを付与。
26															入院後日数bit	int		別途記載する方法にもとづき、入院後日数bitを付与。
27															受診曜日bit	int		別途記載する方法にもとづき、受診曜日bitを付与。

図表 11 データマート IYCD におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
28															1日の算定使用量	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「01」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
29															2日の算定使用量	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「02」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
30															3日の算定使用量	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「03」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
...	4日の算定使用量～28日の算定使用量																	
56															29日の算定使用量	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「29」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
57															30日の算定使用量	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「30」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
58															31日の算定使用量	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「31」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
59	1														都道府県	varchar	2	IR「都道府県」より付与。
60		1													施設特性	tinyint		NDBデータ提供時の施設特性コードを付与。
61			1												DPC対象準備病院	tinyint		NDBデータ提供時のDPC対象・準備病院コードを付与。
62				1											病床規模	tinyint		NDBデータ提供時の病床規模コードを付与。
63						1									年齢階級	tinyint		NDBデータ提供時の年齢階級コードを付与。
64								1							保険種別1	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」は1、それ以外は0を付与。
65															診療実日数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「診療実日数」を合算して付与。
66															合計点数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「合計点数」を合算して付与。
67								2							保険種別2	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」は1、それ以外は0を付与。
68															診療実日数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
69															合計点数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「合計点数」を合算して付与。
70															保険種別3	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」は1、それ以外は0を付与。
71															診療実日数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「診療実日数」を合算して付与。
72															合計点数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「合計点数」を合算して付与。
73															保険種別4	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」は1、それ以外は0を付与。
74															診療実日数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「診療実日数」を合算して付与。

図表 12 データマート IYCD におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
75															合計点数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「合計点数」を合算して付与。
76								5							保険種別5	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」は1、それ以外は0を付与。
77															診療実日数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「診療実日数」を合算して付与。
78															合計点数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「合計点数」を合算して付与。
79								6							保険種別6	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」は1、それ以外は0を付与。
80															診療実日数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「診療実日数」を合算して付与。
81															合計点数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「合計点数」を合算して付与。
82															診療実日数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「診療実日数」を合算して付与。
83															合計点数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」を合算して付与。
84												2			入院1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
85													2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
86											2				入院1件当たり点数階級	tinyint		入院レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
87													2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
88							1								傷病分類	varchar	4	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」から傷病名マスタを用いて変換した「ICD - 10 - 1」を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換して付与。

図表 13 データマート Yakka7 におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1										1					ikadpc	tinyint		1:医科レセプト、2:DPCレセプトを付与。
2										2					レセプト通番	varchar	16	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト通番」より付与。
3															cocd	varchar	10	NDBデータ提供時の医療機関コードを付与。
4											1	1			nyu	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院関連のコードは1、それ以外は0を付与。
5													1	1	gai	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院外関連のコードは1、それ以外は0を付与。
6															seiy	varchar	6	IR「請求年月」を西暦に変換して付与。
7					1										shiny	varchar	6	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「診療年月」を西暦に変換して付与。
8															nyuymd1	varchar	8	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、同一レセプト内の対象レセプトに記載されているRE「入院年月日」(DPCレセプトでRE「入院年月日」の記録が省略されている場合にはBU「今回入院年月日」を使用)を西暦に変換し、最も過去の年月日を付与。
9															IY	tinyint		レセプト単位、薬価基準7コード単位で、IY「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
10															CD	tinyint		レセプト単位、薬価基準7コード単位で、CD「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
13									1						薬価基準7コード	varchar	7	日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「薬価基準収載医薬品コード」の上7桁の情報を付与。
14															後発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「後発品」があれば1、なければ0を付与。
15															後発のない先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「後発のない先発品」があれば1、なければ0を付与。
16															先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「先発品」があれば1、なければ0を付与。
17															同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「同一剤形・規格の後発品がある先発品」があれば1、なければ0を付与。
18															同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		日本医薬品一般名称データベース (JAN) マスタ「薬価基準収載医薬品コード」の上4桁の情報と成分別番号の組み合わせごとに、後発品があれば1、なければ0を付与。
20															算定日数	float		各日の算定情報をもとに、レセプト単位、薬価基準7コード単位で算定日数を算出して付与。
22															算定金額M	float		医薬品マスタを用いて、IY/CD「使用量」とIY/CD「回数」をもとに、マスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コードで合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
23															算定金額	float		IY「点数」とIY「回数」をもとに算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。
24															los base	float		上記の「nyuymd1」から当該レセプトの診療年月の1日時点差を引いた日数情報を付与。
25															算定日bit	int		別途記載する方法にもとづき、算定日bitを付与。
26															入院後日数bit	int		別途記載する方法にもとづき、入院後日数bitを付与。
27															受診曜日bit	int		別途記載する方法にもとづき、受診曜日bitを付与。
28															1日の算定金額	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「01」のCD「使用量」、CD「回数」をもとにマスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。

図表 14 データマート Yakka7 におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
29															2日の算定金額	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「02」のCD「使用量」、CD「回数」をもとにマスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
30															3日の算定金額	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「03」のCD「使用量」、CD「回数」をもとにマスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
...	4日の算定金額～28日の算定金額																	
56															29日の算定金額	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「29」のCD「使用量」、CD「回数」をもとにマスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
57															30日の算定金額	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「30」のCD「使用量」、CD「回数」をもとにマスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
58															31日の算定金額	float		IY「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「31」のCD「使用量」、CD「回数」をもとにマスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、薬価基準7コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でIYとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、IYを優先してCDは除外。
59	1														都道府県	varchar	2	IR「都道府県」より付与。
60		1													施設特性	tinyint		NDBデータ提供時の施設特性コードを付与。
61			1												DPC対象準備病院	tinyint		NDBデータ提供時のDPC対象・準備病院コードを付与。
62				1											病床規模	tinyint		NDBデータ提供時の病床規模コードを付与。
63					1										年齢階級	tinyint		NDBデータ提供時の年齢階級コードを付与。
64								1							保険種別1	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」は1、それ以外は0を付与。
65															診療実日数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「診療実日数」を合算して付与。
66															合計点数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「合計点数」を合算して付与。
67								2							保険種別2	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」は1、それ以外は0を付与。
68															診療実日数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
69															合計点数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「合計点数」を合算して付与。
70								3							保険種別3	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」は1、それ以外は0を付与。
71															診療実日数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「診療実日数」を合算して付与。
72															合計点数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「合計点数」を合算して付与。
73								4							保険種別4	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」は1、それ以外は0を付与。
74															診療実日数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
75															合計点数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「合計点数」を合算して付与。

図表 15 データマート Yakka7 におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
76								5							保険種別5	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」は1、それ以外は0を付与。
77															診療実日数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「診療実日数」を合算して付与。
78															合計点数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「合計点数」を合算して付与。
79								6							保険種別6	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」は1、それ以外は0を付与。
80															診療実日数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「診療実日数」を合算して付与。
81															合計点数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「合計点数」を合算して付与。
82															診療実日数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「診療実日数」を合算して付与。
83															合計点数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」を合算して付与。
84												2			入院1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
85													2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
86											2				入院1件当たり点数階級	tinyint		入院レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
87													2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
88								1							傷病分類	varchar	4	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」から傷病名マスタを用いて変換した「ICD - 10 - 1」を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換して付与。

図表 16 データマート TOCD におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1									1						ikadpc	tinyint		1:医科レセプト、2:DPCレセプトを付与。
2									2						レセプト通番	varchar	16	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト通番」より付与。
3															cocd	varchar	10	NDBデータ提供時の医療機関コードを付与。
4										1	1				nyu	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院関連のコードは1、それ以外は0を付与。
5												1	1		gai	tinyint		レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「レセプト種別」が入院外関連のコードは1、それ以外は0を付与。
6															seiy	varchar	6	IR「請求年月」を西暦に変換して付与。
7					1										shiny	varchar	6	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、RE「診療年月」を西暦に変換して付与。
8															nyuymd1	varchar	8	レセプト単位 (DPCレセプトは総括レセプトベース) で、同一レセプト内の対象レセプトに記載されているRE「入院年月日」(DPCレセプトでRE「入院年月日」の記録が省略されている場合にはBU「今回入院年月日」を使用)を西暦に変換し、最も過去の年月日を付与。
9															TO	tinyint		レセプト単位、レセ電算コード単位で、TO「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
10															CD	tinyint		レセプト単位、レセ電算コード単位で、CD「レコード識別情報」があれば1、なければ0を付与。
11															特定器材コード	varchar	9	レセプト単位、レセ電算コード単位で、TO「特定器材コード」/CD「レセプト電算処理システム用コード」を付与。
12															特定器材名称	nvarchar	64	特定器材マスタより特定器材名・規格名の「漢字名称」を付与。
13															金額単価	float		特定器材マスタより新又は現金額の「金額識別」が1、4の場合に「新又は現金額」を付与。
14															算定日数	float		各日の算定情報をもとに、レセプト単位、レセ電算コード単位で算定日数を算出して付与。
15															算定使用量	float		TO/CD「使用量」とTO/CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
16															算定金額M	float		医薬品マスタを用いて、TO/CD「使用量」とTO/CD「回数」をもとに、マスタにもとづく算定金額を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一の総括対象レセプト等内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
17															算定金額	float		TO「点数」とTO「回数」をもとに算定金額を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。
18															los_base	float		上記の「nyuymd1」から当該レセプトの診療年月の1日時点を引き出した日数情報を付与。
19															算定日bit	int		別途記載する方法にもとづき、算定日bitを付与。
20															入院後日数bit	int		別途記載する方法にもとづき、入院後日数bitを付与。
21															受診曜日bit	int		別途記載する方法にもとづき、受診曜日bitを付与。
22															1日の算定使用量	float		TO「使用量」と「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「01」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
23															2日の算定使用量	float		TO「使用量」と「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「02」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。

図表 17 データマート TOCD におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
24															3日の算定使用量	float		TO「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「03」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
...															4日の算定使用量～28日の算定使用量			
50															29日の算定使用量	float		TO「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「29」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
51															30日の算定使用量	float		TO「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「30」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
52															31日の算定使用量	float		TO「使用量」とIY「算定日情報の各日の情報」、CD「実施年月日」の下2桁が「31」のCD「使用量」、CD「回数」をもとに算定使用量を算出し、レセプト単位、レセ電算コード単位で合算して付与。なお、DPCレセプトにおいて、同一レセプト内でTOとCDの両方に同一のレセ電算コードが同日で記録されていた場合には、TOを優先してCDは除外。
53	1														都道府県	varchar	2	IR「都道府県」より付与。
54		1													施設特性	tinyint		NDBデータ提供時の施設特性コードを付与。
55			1												DPC対象準備病院	tinyint		NDBデータ提供時のDPC対象・準備病院コードを付与。
56				1											病床規模	tinyint		NDBデータ提供時の病床規模コードを付与。
57						1									年齢階級	tinyint		NDBデータ提供時の年齢階級コードを付与。
58							1								保険種別1	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」は1、それ以外は0を付与。
59															診療実日数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「診療実日数」を合算して付与。
60															合計点数1	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「協会けんぽ」のHO「合計点数」を合算して付与。
61							2								保険種別2	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」は1、それ以外は0を付与。
62															診療実日数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
63															合計点数2	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「組合健保」のHO「合計点数」を合算して付与。
64							3								保険種別3	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」は1、それ以外は0を付与。
65															診療実日数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「診療実日数」を合算して付与。
66															合計点数3	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「共済等」のHO「合計点数」を合算して付与。
67							4								保険種別4	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」は1、それ以外は0を付与。
68															診療実日数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「診療実日数」を合算して付与。
69															合計点数4	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「国保」のHO「合計点数」を合算して付与。
70							5								保険種別5	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」は1、それ以外は0を付与。
71															診療実日数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「診療実日数」を合算して付与。
72															合計点数5	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「後期高齢者医療制度」のHO「合計点数」を合算して付与。
73							6								保険種別6	tinyint		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」は1、それ以外は0を付与。
74															診療実日数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「診療実日数」を合算して付与。

図表 18 データマート TOCD におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
75															合計点数6	float		NDBデータ提供時の保険種別コードが「その他」のHO「合計点数」を合算して付与。
76															診療実日数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「診療実日数」を合算して付与。
77															合計点数計	float		レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」を合算して付与。
78											2				入院1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
79													2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値と「診療実日数」の合算値から1日当たり点数を算出し、あらかじめ定める点数階級に変換して付与。
80										2					入院1件当たり点数階級	tinyint		入院レセプトについて、レセプト単位(DPCレセプトは総括レセプトベース)で、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
81												2			入院外1件当たり点数階級	tinyint		入院外レセプトについて、HO「合計点数」の合算値をあらかじめ定める点数階級に変換して付与。
82							1								傷病分類	varchar	4	レセプト単位で、別途記載する主傷病選択ルールにもとづき、SY/SB「傷病名コード」、SY「診療開始日」、SY「主傷病」、SB「傷病名区分」、SY/SBのレコード出現順序から主傷病を確定し、主傷病情報のSY/SB「傷病名コード」から傷病名マスタを用いて変換した「ICD - 10 - 1」を傷病分類表を用いて「傷病(中分類)」に変換して付与。

図表 19 データマート subSIYTOCD におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
1															ikadpc	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
2															レセプト通番	varchar	16	データマートREIRHOSYより付与。
3															cocd	varchar	10	データマートREIRHOSYより付与。
4										1	1				nyu	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
5											1	1			gai	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
6															seiy	varchar	6	データマートREIRHOSYより付与。
7					1										shiny	varchar	6	データマートREIRHOSYより付与。
8															nyuymd1	varchar	8	データマートREIRHOSYより付与。
9															入院後日数bit	int		上記で構築したデータマートSICD.A、データマートSICD.B、データマートSICD.O、データマートIYCD、データマートTOCDの入院後日数bitについて、レセプト単位で同じ位置のビット毎に論理的ORを行い、出力したビットパターンを付与。
10															受診曜日bit	int		上記で構築したデータマートSICD.A、データマートSICD.B、データマートSICD.O、データマートIYCD、データマートTOCDの受診曜日bitについて、レセプト単位で同じ位置のビット毎に論理的ORを行い、出力したビットパターンを付与。
11	1														都道府県	varchar	2	データマートREIRHOSYより付与。
12		1													施設特性	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
13			1												DPC対象準備病院	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
14				1											病床規模	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
15						1									年齢階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
16								1							保険種別1	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
17															診療実日数1	float		データマートREIRHOSYより付与。
18															合計点数1	float		データマートREIRHOSYより付与。
19								2							保険種別2	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
20															診療実日数2	float		データマートREIRHOSYより付与。
21															合計点数2	float		データマートREIRHOSYより付与。
22								3							保険種別3	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
23															診療実日数3	float		データマートREIRHOSYより付与。
24															合計点数3	float		データマートREIRHOSYより付与。
25								4							保険種別4	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
26															診療実日数4	float		データマートREIRHOSYより付与。
27															合計点数4	float		データマートREIRHOSYより付与。
28								5							保険種別5	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
29															診療実日数5	float		データマートREIRHOSYより付与。
30															合計点数5	float		データマートREIRHOSYより付与。
31								6							保険種別6	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
32															診療実日数6	float		データマートREIRHOSYより付与。
33															合計点数6	float		データマートREIRHOSYより付与。
34															診療実日数計	float		データマートREIRHOSYより付与。

図表 20 データマート subSIYTOCD におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index														COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
35															合計点数計	float		データマートREIRHOSYより付与。
36											2				入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
37													2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
38										2					入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
39												2			入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
40								1							傷病分類	varchar	4	データマートREIRHOSYより付与。

図表 21 facttable01RE におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートREIRHOSYより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートREIRHOSY「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートREIRHOSY「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートREIRHOSY「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートREIRHOSY「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートREIRHOSYより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
12									2				保険種別2	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
13									3				保険種別3	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
14									4				保険種別4	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
15									5				保険種別5	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
16									6				保険種別6	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
19										2			入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
20												2	入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートREIRHOSYより付与。
21													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートREIRHOSYの行数を付与。
22													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートREIRHOSY「診療実日数計」を合算して付与。
23													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートREIRHOSY「合計点数計」を合算して付与。

図表 22 facttable02RE_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートsubSIYTOCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートsubSIYTOCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートsubSIYTOCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートsubSIYTOCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートsubSIYTOCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートsubSIYTOCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIYTOCDより付与。
21													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートsubSIYTOCDの行数を付与。
22													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの行数を付与。
23													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの行数を付与。
24													03件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの行数を付与。
...													04件数～28件数			
50													29件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの行数を付与。
51													30件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの行数を付与。
52													31件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目以上の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの行数を付与。
53													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートsubSIYTOCD「診療実日数計」を合算して付与。
54													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算して付与。

図表 23 facttable02RE_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
55													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院データマート日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
56													03診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
...	04診療実日数～28診療実日数															
82													29診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
83													30診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
84													31診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目以上の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
85													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートsubSIYTOCD「合計点数計」を合算して付与。
86													01合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
87													02合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院データマート日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
88													03合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
...	04合計点数～28合計点数															
114													29合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
115													30合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
116													31合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目以上の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。

図表 24 facttable03RE_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートsubSIITYOCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートsubSIITYOCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートsubSIITYOCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートsubSIITYOCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートsubSIITYOCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートsubSIITYOCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
19										2			入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートsubSIITYOCDより付与。
21													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートsubSIITYOCDの行数を付与。
22													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートsubSIITYOCDの行数を付与。
23													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートsubSIITYOCDの行数を付与。
...													03件数～05件数			
27													06件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートsubSIITYOCDの行数を付与。
28													07件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートsubSIITYOCDの行数を付与。
29													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートsubSIITYOCD「診療実日数計」を合算して付与。
30													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートsubSIITYOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
31													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートsubSIITYOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
...													03診療実日数～05診療実日数			

図表 25 facttable03RE_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
35													06診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
36													07診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
37													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートsubSIYTOCD「合計点数計」を合算して付与。
38													01合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
39													02合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
...													03合計点数～05合計点数			
43													06合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。
44													07合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートsubSIYTOCDの「合計点数」を合算してを付与。

図表 26 facttable01SI_A、facttable01SI_B、facttable01SI_O におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
21													診療行為コード	varchar	9	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
22													診療行為名称	nvarchar	64	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
23													解釈番号	varchar	10	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
24													加算	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
25													点数単価	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
26													きざみ値計算識別	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
27													きざみ値	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
28													きざみ点数単価	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
29													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
30													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「診療実日数計」を合算して付与。
31													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「合計点数計」を合算して付与。
32													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定日数」を合算して付与。
33													算定数量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定数量」を合算して付与。

図表 27 facttable01SI_A、facttable01SI_B、facttable01SI_O におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定基本回数」を合算して付与。
35													算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定きざみ回数」を合算して付与。
36													算定基本点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定基本点数M」を合算して付与。
37													算定きざみ点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定きざみ点数M」を合算して付与。
38													算定点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定点数M」を合算して付与。
39													算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定点数」を合算して付与。

facttableSI_A、facttableSI_B、facttableSI_Oは、それぞれ医科診療行為マスタ「コード表用番号」がAの情報、B～Nの情報、それ以外の情報を用いて作成。

図表 28 facttable02SI_A_nyu_day、facttable02SI_B_nyu_day、facttable02SI_O_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
21													診療行為コード	varchar	9	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
22													診療行為名称	nvarchar	64	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
23													解釈番号	varchar	10	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
24													加算	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
25													点数単価	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
26													きざみ値計算識別	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
27													きざみ値	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
28													きざみ点数単価	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
29													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
30													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「診療実日数計」を合算して付与。
31													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「合計点数計」を合算して付与。
32													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定日数」を合算して付与。
33													算定数量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定数量」を合算して付与。

図表 29 facttable02SI_A_nyu_day、facttable02SI_B_nyu_day、facttable02SI_O_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定基本回数」を合算して付与。
35													算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定きざみ回数」を合算して付与。
36													算定基本点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定基本点数M」を合算して付与。
37													算定きざみ点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定きざみ点数M」を合算して付与。
38													算定点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定点数M」を合算して付与。
39													算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定点数」を合算して付与。
40													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
41													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
42													01算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定基本回数を合算して付与。
43													01算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定きざみ回数を合算して付与。
44													01算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定基本点数を合算して付与。
45													01算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定きざみ回数を合算して付与。
46													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
47													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
48													02算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定基本回数を合算して付与。
49													02算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定きざみ回数を合算して付与。

図表 30 facttable02SI_A_nyu_day、facttable02SI_B_nyu_day、facttable02SI_O_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
50													02算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定基本点数を合算して付与。
51													02算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定きざみ回数を合算して付与。
52													03件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
53													03診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算してを付与。
54													03算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定基本回数を合算して付与。
55													03算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定きざみ回数を合算して付与。
56													03算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定基本点数を合算して付与。
57													03算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定きざみ回数を合算して付与。
...																04件数、04診療実日数、04算定基本回数、04算定きざみ回数、04算定基本点数、04算定きざみ点数～28件数、28診療実日数、28算定基本回数、28算定きざみ回数、28算定基本点数、28算定きざみ点数
208													29件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
209													29診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算してを付与。
210													29算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定基本回数を合算して付与。
211													29算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定きざみ回数を合算して付与。
212													29算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定基本点数を合算して付与。
213													29算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定きざみ回数を合算して付与。

図表 31 facttable02SI_A_nyu_day、facttable02SI_B_nyu_day、facttable02SI_O_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
214													30件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
215													30診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
216													30算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定基本回数を合算して付与。
217													30算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定きざみ回数を合算して付与。
218													30算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定基本点数を合算して付与。
219													30算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定きざみ回数を合算して付与。
220													31件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
221													31診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
222													31算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定基本回数を合算して付与。
223													31算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定きざみ回数を合算して付与。
224													31算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定基本点数を合算して付与。
225													31算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定きざみ回数を合算して付与。

facttableSI_A_nyu_day、facttableSI_B_nyu_day、facttableSI_O_nyu_dayは、入院レセプトについてそれぞれ医科診療行為マスタ「コード表用番号」がAの情報、B～Nの情報、それ以外の情報をを用いて作成。

図表 32 facttable03SI_A_gai_day、facttable03SI_B_gai_day、facttable03SI_O_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
21													診療行為コード	varchar	9	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
22													診療行為名称	nvarchar	64	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
23													解釈番号	varchar	10	データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
24													加算	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
25													点数単価	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
26													きざみ値計算識別	tinyint		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
27													きざみ値	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
28													きざみ点数単価	float		データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oより付与。
29													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
30													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「診療実日数計」を合算して付与。
31													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「合計点数計」を合算して付与。
32													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定日数」を合算して付与。
33													算定数量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_O「算定数量」を合算して付与。

図表 33 facttable03SI_A_gai_day、facttable03SI_B_gai_day、facttable03SI_O_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定基本回数」を合算して付与。
35													算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定きざみ回数」を合算して付与。
36													算定基本点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定基本点数M」を合算して付与。
37													算定きざみ点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定きざみ点数M」を合算して付与。
38													算定点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定点数M」を合算して付与。
39													算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「算定点数」を合算して付与。
40													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
41													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
42													01算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定基本回数を合算して付与。
43													01算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
44													01算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定基本点数を合算して付与。
45													01算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
46													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
47													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
48													02算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定基本回数を合算して付与。
49													02算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
50													02算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定基本点数を合算して付与。

図表 34 facttable03SI_A_gai_day、facttable03SI_B_gai_day、facttable03SI_O_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
51													02算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
...	03件数、03診療実日数、03算定基本回数、03算定きざみ回数、03算定基本点数、03算定きざみ点数～05件数、05診療実日数、05算定基本回数、05算定きざみ回数、05算定基本点数、05算定きざみ点数															
70													06件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
71													06診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
72													06算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定基本回数を合算して付与。
73													06算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
74													06算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定基本点数を合算して付与。
75													06算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
76													07件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの行数を付与。
77													07診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「診療実日数」を合算して付与。
78													07算定基本回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定基本回数を合算して付与。
79													07算定きざみ回数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定きざみ回数を合算して付与。
80													07算定基本点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定基本回数」、「点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定基本点数を合算して付与。
81													07算定きざみ点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートSICD_A、データマートSICD_B、データマートSICD_Oの「los_base」、「各日の算定きざみ回数」、「きざみ点数単価」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定きざみ回数を合算して付与。

facttableSI_A_gai_day、facttableSI_B_gai_day、facttableSI_O_gai_dayは、入院外レセプトについてそれぞれ医科診療行為マスタ「コード表用番号」がAの情報、B～Nの情報、それ以外の情報を用いて作成。

図表 35 facttable01Kaisyaku におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートKaisyakuより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートKaisyaku「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートKaisyaku「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートKaisyaku「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートKaisyaku「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートKaisyakuより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
18												2	入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
20												2	入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
21													解釈番号	varchar	10	データマートKaisyakuより付与。
22													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの行数を付与。
23													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「診療実日数計」を合算して付与。
24													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「合計点数計」を合算して付与。
25													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定日数」を合算して付与。
26													算定点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定点数M」を合算して付与。
27													算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定点数」を合算して付与。

図表 36 facttable02Kaisyaku_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートKaisyakuより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートKaisyaku「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートKaisyaku「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートKaisyaku「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートKaisyaku「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートKaisyakuより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
21													解釈番号	varchar	10	データマートKaisyakuより付与。
22													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの行数を付与。
23													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「診療実日数計」を合算して付与。
24													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「合計点数計」を合算して付与。
25													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定日数」を合算して付与。
26													算定点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定点数M」を合算して付与。
27													算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定点数」を合算して付与。
28													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
29													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算して付与。
30													01算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の入院01日目における算定点数を合算して付与。
31													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
32													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算して付与。
33													02算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の入院02日目における算定点数を合算して付与。

図表 37 facttable02Kaisyaku_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													03件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
35													03診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算してを付与。
36													03算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の入院03日目における算定点数を合算して付与。
...													04件数、04診療実日数、04算定点数 ~ 28件数、28診療実日数、28算定点数			
112													29件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
113													29診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算してを付与。
114													29算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の入院29日目における算定点数を合算して付与。
115													30件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
116													30診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算してを付与。
117													30算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の入院30日目における算定点数を合算して付与。
118													31件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
119													31診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算してを付与。
120													31算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の入院31日目における算定点数を合算して付与。

図表 38 facttable03Kaisyaku_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートKaisyakuより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートKaisyaku「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートKaisyaku「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートKaisyaku「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートKaisyaku「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートKaisyakuより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートKaisyakuより付与。
21													解釈番号	varchar	10	データマートKaisyakuより付与。
22													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの行数を付与。
23													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「診療実日数計」を合算して付与。
24													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「合計点数計」を合算して付与。
25													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定日数」を合算して付与。
26													算定点数M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定点数M」を合算して付与。
27													算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyaku「算定点数」を合算して付与。
28													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
29													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算して付与。
30													01算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の日曜日における算定点数を合算して付与。
31													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
32													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算して付与。
33													02算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の月曜日における算定点数を合算して付与。
...	03件数、03診療実日数、03算定点数～05件数、05診療実日数、05算定点数															

図表 39 facttable03Kaisyaku_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
43													06件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
44													06診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算してを付与。
45													06算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の金曜日における算定点数を合算して付与。
46													07件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの行数を付与。
47													07診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートKaisyakuの「診療実日数」を合算してを付与。
48													07算定点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートKaisyakuの「los_base」、「各日の算定点数」をもとに、当該解釈番号の土曜日における算定点数を合算して付与。

図表 40 facttable01IY におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートIYCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートIYCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートIYCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートIYCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートIYCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートIYCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートIYCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートIYCD「shinyym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートIYCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートIYCDより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートIYCDより付与。
13									3				保険種別3	tinyint		データマートIYCDより付与。
14									4				保険種別4	tinyint		データマートIYCDより付与。
15									5				保険種別5	tinyint		データマートIYCDより付与。
16									6				保険種別6	tinyint		データマートIYCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
21													医薬品コード	varchar	9	データマートIYCDより付与。
22													医薬品名称	nvarchar	64	データマートIYCDより付与。
23													薬価基準7コード	varchar	7	データマートIYCDより付与。
24													後発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
25													後発のない先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
26													先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
27													同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
28													同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
29													金額単価	float		データマートIYCDより付与。
30													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの行数を付与。
31													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「診療実日数計」を合算して付与。
32													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「合計点数計」を合算して付与。
33													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定日数」を合算して付与。
34													算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定使用量」を合算して付与。
35													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定金額M」を合算して付与。
36													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定金額」を合算して付与。

図表 41 facttable02IY_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートIYCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートIYCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートIYCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートIYCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートIYCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートIYCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートIYCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートIYCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートIYCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートIYCDより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートIYCDより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートIYCDより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートIYCDより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートIYCDより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートIYCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
21													医薬品コード	varchar	9	データマートIYCDより付与。
22													医薬品名称	nvarchar	64	データマートIYCDより付与。
23													薬価基準7コード	varchar	7	データマートIYCDより付与。
24													後発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
25													後発のない先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
26													先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
27													同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
28													同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
29													金額単価	float		データマートIYCDより付与。
30													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの行数を付与。
31													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「診療実日数計」を合算して付与。
32													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「合計点数計」を合算して付与。
33													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定日数」を合算して付与。
34													算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定使用量」を合算して付与。
35													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定金額M」を合算して付与。

図表 42 facttable02IY_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
36													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定金額」を合算して付与。
37													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
38													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
39													01算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定使用量を合算して付与。
40													01算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定金額を合算して付与。
41													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
42													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
43													02算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定使用量を合算して付与。
44													02算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定金額を合算して付与。
45													03件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
46													03診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
47													03算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定使用量を合算して付与。
48													03算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定金額を合算して付与。
...													04件数、04診療実日数、04算定使用量、04算定金額～28件数、28診療実日数、28算定使用量、28算定金額			
149													29件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
150													29診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
151													29算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定使用量を合算して付与。
152													29算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定金額を合算して付与。
153													30件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。

図表 43 facttable02IY_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
154													30診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算してを付与。
155													30算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定使用量を合算して付与。
156													30算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定金額を合算して付与。
157													31件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
158													31診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算してを付与。
159													31算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定使用量を合算して付与。
160													31算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定金額を合算して付与。

図表 44 facttable03IY_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートIYCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートIYCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートIYCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートIYCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートIYCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートIYCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートIYCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートIYCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートIYCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートIYCDより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートIYCDより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートIYCDより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートIYCDより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートIYCDより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートIYCDより付与。
17									2				入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
18										2			入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
20										2			入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートIYCDより付与。
21													医薬品コード	varchar	9	データマートIYCDより付与。
22													医薬品名称	nvarchar	64	データマートIYCDより付与。
23													薬価基準7コード	varchar	7	データマートIYCDより付与。
24													後発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
25													後発のない先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
26													先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
27													同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
28													同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		データマートIYCDより付与。
29													金額単価	float		データマートIYCDより付与。
30													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの行数を付与。
31													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「診療実日数計」を合算して付与。
32													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「合計点数計」を合算して付与。
33													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定日数」を合算して付与。
34													算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定使用量」を合算して付与。

図表 45 facttable03IY_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
35													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定金額M」を合算して付与。
36													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCD「算定金額」を合算して付与。
37													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
38													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
39													01算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定使用量を合算して付与。
40													01算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定金額を合算して付与。
41													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
42													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
43													02算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定使用量を合算して付与。
44													02算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定金額を合算して付与。
...													03件数、03診療実日数、03算定使用量、03算定金額～05件数、05診療実日数、05算定使用量、05算定金額			
57													06件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
58													06診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
59													06算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定使用量を合算して付与。
60													06算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定金額を合算して付与。
61													07件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの行数を付与。
62													07診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートIYCDの「診療実日数」を合算して付与。
63													07算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定使用量を合算して付与。
64													07算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートIYCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定金額を合算して付与。

図表 46 facttable01Yakka7 におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートYakka7より付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートYakka7「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートYakka7より付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートYakka7より付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートYakka7より付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートYakka7「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートYakka7「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートYakka7「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートYakka7より付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートYakka7より付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートYakka7より付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートYakka7より付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートYakka7より付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートYakka7より付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートYakka7より付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
21													薬価基準7コード	varchar	7	データマートYakka7より付与。
22													後発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
23													後発のない先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
24													先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
25													同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
26													同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
27													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の行数を付与。
28													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「診療実日数計」を合算して付与。
29													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「合計点数計」を合算して付与。
30													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定日数」を合算して付与。
31													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定金額M」を合算して付与。
32													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定金額」を合算して付与。

図表 47 facttable02Yakka7_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートYakka7より付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートYakka7「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートYakka7より付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートYakka7より付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートYakka7より付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートYakka7「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートYakka7「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートYakka7「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートYakka7より付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートYakka7より付与。
12									2				保険種別2	tinyint		データマートYakka7より付与。
13										3			保険種別3	tinyint		データマートYakka7より付与。
14											4		保険種別4	tinyint		データマートYakka7より付与。
15												5	保険種別5	tinyint		データマートYakka7より付与。
16												6	保険種別6	tinyint		データマートYakka7より付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
18												2	入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
19											2		入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
20												2	入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
21													薬価基準7コード	varchar	7	データマートYakka7より付与。
22													後発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
23													後発のない先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
24													先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
25													同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
26													同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
27													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の行数を付与。
28													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「診療実日数計」を合算して付与。
29													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「合計点数計」を合算して付与。
30													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定日数」を合算して付与。
31													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定金額M」を合算して付与。
32													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定金額」を合算して付与。
33													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。

図表 48 facttable02Yakka7_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
35													01算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定金額を合算して付与。
36													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
37													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
38													02算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの入院02日目における算定金額を合算して付与。
39													03件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
40													03診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
41													03算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの入院03日目における算定金額を合算して付与。
...													04件数、04診療実日数、04算定金額～28件数、28診療実日数、28算定金額			
117													29件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
118													29診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
119													29算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの入院29日目における算定金額を合算して付与。
120													30件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
121													30診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
122													30算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの入院30日目における算定金額を合算して付与。
123													31件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
124													31診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
125													31算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの入院31日目における算定金額を合算して付与。

図表 49 facttable03Yakka7_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートYakka7より付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートYakka7「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートYakka7より付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートYakka7より付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートYakka7より付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートYakka7「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートYakka7「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートYakka7「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートYakka7より付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートYakka7より付与。
12									2				保険種別2	tinyint		データマートYakka7より付与。
13									3				保険種別3	tinyint		データマートYakka7より付与。
14									4				保険種別4	tinyint		データマートYakka7より付与。
15									5				保険種別5	tinyint		データマートYakka7より付与。
16									6				保険種別6	tinyint		データマートYakka7より付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
19										2			入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートYakka7より付与。
21													薬価基準7コード	varchar	7	データマートYakka7より付与。
22													後発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
23													後発のない先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
24													先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
25													同一剤形・規格の後発品がある先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
26													同一薬効・成分の後発品がある先発品	tinyint		データマートYakka7より付与。
27													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の行数を付与。
28													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「診療実日数計」を合算して付与。
29													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「合計点数計」を合算して付与。
30													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定日数」を合算して付与。

図表 50 facttable03Yakka7_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
31													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定金額M」を合算して付与。
32													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7「算定金額」を合算して付与。
33													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
34													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
35													01算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの日曜日における算定金額を合算して付与。
36													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
37													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
38													02算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの月曜日における算定金額を合算して付与。
...													03件数、03診療実日数、03算定金額～05件数、05診療実日数、05算定金額			
48													06件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
49													06診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
50													06算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの金曜日における算定金額を合算して付与。
51													07件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の行数を付与。
52													07診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートYakka7の「診療実日数」を合算して付与。
53													07算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートYakka7の「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該薬価基準7コードの土曜日における算定金額を合算して付与。

図表 51 facttable01TO におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートTOCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートTOCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートTOCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートTOCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートTOCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートTOCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートTOCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートTOCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートTOCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートTOCDより付与。
12								2					保険種別2	tinyint		データマートTOCDより付与。
13								3					保険種別3	tinyint		データマートTOCDより付与。
14								4					保険種別4	tinyint		データマートTOCDより付与。
15								5					保険種別5	tinyint		データマートTOCDより付与。
16								6					保険種別6	tinyint		データマートTOCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
19									2				入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
20											2		入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
21													特定器材コード	varchar	9	データマートTOCDより付与。
22													特定器材名称	nvarchar	64	データマートTOCDより付与。
23													金額単価	float		データマートTOCDより付与。
24													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの行数を付与。
25													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「診療実日数計」を合算して付与。
26													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「合計点数計」を合算して付与。
27													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定日数」を合算して付与。
28													算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定使用量」を合算して付与。
29													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定金額M」を合算して付与。
30													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定金額」を合算して付与。

図表 52 facttable02TO_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートTOCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートTOCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートTOCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートTOCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートTOCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートTOCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートTOCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートTOCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートTOCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートTOCDより付与。
12									2				保険種別2	tinyint		データマートTOCDより付与。
13										3			保険種別3	tinyint		データマートTOCDより付与。
14											4		保険種別4	tinyint		データマートTOCDより付与。
15												5	保険種別5	tinyint		データマートTOCDより付与。
16												6	保険種別6	tinyint		データマートTOCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
18											2		入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
19												2	入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
20												2	入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
21													特定器材コード	varchar	9	データマートTOCDより付与。
22													特定器材名称	nvarchar	64	データマートTOCDより付与。
23													金額単価	float		データマートTOCDより付与。
24													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの行数を付与。
25													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「診療実日数計」を合算して付与。
26													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「合計点数計」を合算して付与。
27													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定日数」を合算して付与。
28													算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定使用量」を合算して付与。
29													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定金額M」を合算して付与。
30													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定金額」を合算して付与。
31													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
32													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院01日目の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算して付与。
33													01算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定使用量を合算して付与。

図表 53 facttable02TO_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													01算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院01日目における算定金額を合算して付与。
35													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
36													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院02日目の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
37													02算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定使用量を合算して付与。
38													02算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院02日目における算定金額を合算して付与。
39													03件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
40													03診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院03日目の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
41													03算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定使用量を合算して付与。
42													03算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院03日目における算定金額を合算して付与。
...													04件数、04診療実日数、04算定使用量、04算定金額～28件数、28診療実日数、28算定使用量、28算定金額			
143													29件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
144													29診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院29日目の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
145													29算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定使用量を合算して付与。
146													29算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院29日目における算定金額を合算して付与。
147													30件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
148													30診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院30日目の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
149													30算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定使用量を合算して付与。
150													30算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院30日目における算定金額を合算して付与。
151													31件数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。

図表 54 facttable02TO_nyu_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
152													31診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、入院後日数bitをもとに入院31日目の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算して付与。
153													31算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定使用量を合算して付与。
154													31算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの入院31日目における算定金額を合算して付与。

図表 55 facttable03TO_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容

COL	Index												COL 名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
1	1												都道府県	varchar	2	データマートTOCDより付与。
2		1	1	1									病院診療所	tinyint		データマートTOCD「施設特性」が1、2、3、4は1、「施設特性」が5、6は2を付与。
3		2											施設特性	tinyint		データマートTOCDより付与。
4			2										DPC対象準備病院	tinyint		データマートTOCDより付与。
5				2									病床規模	tinyint		データマートTOCDより付与。
6									1	1			入院	tinyint		データマートTOCD「nyu」を付与。
7											1	1	入院外	tinyint		データマートTOCD「gai」を付与。
8					1								診療年月	varchar	6	データマートTOCD「shinym」を付与。
9						1							年齢階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
10							1						傷病分類	varchar	4	データマートTOCDより付与。
11								1					保険種別1	tinyint		データマートTOCDより付与。
12									2				保険種別2	tinyint		データマートTOCDより付与。
13										3			保険種別3	tinyint		データマートTOCDより付与。
14											4		保険種別4	tinyint		データマートTOCDより付与。
15												5	保険種別5	tinyint		データマートTOCDより付与。
16												6	保険種別6	tinyint		データマートTOCDより付与。
17										2			入院1日当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
18												2	入院外1日当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
19											2		入院1件当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
20												2	入院外1件当たり点数階級	tinyint		データマートTOCDより付与。
21													特定器材コード	varchar	9	データマートTOCDより付与。
22													特定器材名称	nvarchar	64	データマートTOCDより付与。
23													金額単価	float		データマートTOCDより付与。
24													件数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの行数を付与。
25													診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「診療実日数計」を合算して付与。
26													合計点数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「合計点数計」を合算して付与。
27													算定日数	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定日数」を合算して付与。
28													算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定使用量」を合算して付与。
29													算定金額M	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定金額M」を合算して付与。
30													算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCD「算定金額」を合算して付与。
31													01件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
32													01診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに日曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算して付与。
33													01算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定使用量を合算して付与。

図表 56 facttable03TO_gai_day におけるテーブル定義および加工・処理内容（つづき）

COL	Index												COL名称	型	size	説明
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
34													01算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの日曜日における算定金額を合算して付与。
35													02件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
36													02診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに月曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
37													02算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定使用量を合算して付与。
38													02算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの月曜日における算定金額を合算して付与。
...													03件数、03診療実日数、03算定使用量、03算定金額～05件数、05診療実日数、05算定使用量、05算定金額			
51													06件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
52													06診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに金曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
53													06算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定使用量を合算して付与。
54													06算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの金曜日における算定金額を合算して付与。
55													07件数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの行数を付与。
56													07診療実日数	float		上記の列を集計のキーとして、受診曜日bitをもとに土曜日の情報が記録されているデータマートTOCDの「診療実日数」を合算してを付与。
57													07算定使用量	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定使用量を合算して付与。
58													07算定金額	float		上記の列を集計のキーとして、データマートTOCDの「los_base」、「各日の算定使用量」、「金額単価」をもとに、当該レセ電算コードの土曜日における算定金額を合算して付与。

2012 年 4 月～2013 年 3 月診療分の NDB データの NDB 格納月別データ領域・行数一覧

(上段:データ領域、下段:行数)

テーブル名	201206	201207	201208	201209	201210	201211	201212	201301	201302	201303	201304	201305	201306以降
NDBikalR	5,904,936KB	6,105,448KB	6,102,088KB	6,090,208KB	5,857,256KB	5,736,728KB	6,290,440KB	6,148,088KB	6,270,264KB	6,080,008KB	6,054,984KB	6,570,232KB	31,856KB
	76,026,047行	78,607,556行	78,564,373行	78,411,403行	75,412,135行	73,860,275行	80,989,402行	79,156,549行	80,729,635行	78,280,049行	77,957,889行	84,591,640行	410,134行
NDBikaRE	16,006,824KB	16,550,352KB	16,541,304KB	16,509,088KB	15,877,672KB	15,550,872KB	17,051,904KB	16,666,000KB	16,997,160KB	16,481,400KB	16,413,600KB	17,810,296KB	86,352KB
	76,026,047行	78,607,556行	78,564,373行	78,411,403行	75,412,135行	73,860,275行	80,989,402行	79,156,549行	80,729,635行	78,280,049行	77,957,889行	84,591,640行	410,134行
NDBikaHO	5,384,824KB	5,567,736KB	5,564,608KB	5,553,832KB	5,341,424KB	5,231,304KB	5,736,560KB	5,606,416KB	5,717,584KB	5,544,344KB	5,521,456KB	5,991,376KB	29,088KB
	76,026,047行	78,607,556行	78,564,373行	78,411,403行	75,412,135行	73,860,275行	80,989,402行	79,156,549行	80,729,635行	78,280,049行	77,957,889行	84,591,640行	410,134行
NDBikaSY	27,082,008KB	27,679,488KB	27,723,248KB	27,843,704KB	27,242,872KB	26,757,840KB	28,873,520KB	28,443,728KB	28,933,552KB	28,173,432KB	28,013,744KB	29,918,592KB	161,592KB
	393,238,734行	401,587,497行	402,003,404行	403,689,812行	395,064,326行	388,171,055行	418,968,396行	413,098,246行	420,279,548行	409,289,794行	406,838,771行	434,264,220行	2,351,919行
NDBikaSI	94,229,368KB	99,477,160KB	97,553,720KB	98,146,840KB	95,135,816KB	91,587,640KB	101,449,472KB	97,481,592KB	97,122,024KB	100,938,616KB	94,683,184KB	104,184,360KB	638,912KB
	769,527,674行	792,859,646行	791,862,457行	790,091,493行	762,621,903行	745,440,095行	816,398,732行	786,338,171行	792,583,165行	794,046,544行	780,309,675行	847,155,994行	5,115,442行
NDBikalY	16,155,056KB	16,862,520KB	16,154,160KB	16,245,376KB	15,720,376KB	15,063,576KB	17,321,424KB	16,942,904KB	17,147,000KB	16,896,728KB	15,887,400KB	17,593,624KB	157,920KB
	128,667,616行	131,480,124行	127,843,588行	127,415,848行	122,871,441行	119,329,818行	135,527,753行	133,538,406行	136,055,389行	130,553,316行	128,285,372行	139,848,657行	1,249,304行
NDBikaTO	746,376KB	797,840KB	763,936KB	764,616KB	731,544KB	705,344KB	773,496KB	739,736KB	717,808KB	748,336KB	681,136KB	730,288KB	13,960KB
	5,353,650行	5,626,706行	5,448,647行	5,420,201行	5,156,805行	5,035,943行	5,488,318行	5,261,129行	5,110,414行	5,228,083行	4,915,251行	5,199,088行	99,293行
NDBdpcIR	67,816KB	71,864KB	72,040KB	74,224KB	75,912KB	70,256KB	75,120KB	75,240KB	72,728KB	70,768KB	72,824KB	75,128KB	2,256KB
	873,060行	925,157行	927,468行	955,625行	977,266行	904,533行	967,155行	968,679行	936,281行	911,072行	937,523行	967,246行	29,003行
NDBdpcRE	228,504KB	245,608KB	245,040KB	254,008KB	259,400KB	239,272KB	256,376KB	255,520KB	246,008KB	239,032KB	245,344KB	254,968KB	7,624KB
	1,079,542行	1,159,469行	1,157,193行	1,199,133行	1,224,706行	1,129,837行	1,210,496行	1,206,842行	1,161,797行	1,128,763行	1,159,147行	1,204,024行	36,065行
NDBdpcHO	78,560KB	84,368KB	84,192KB	87,240KB	89,104KB	82,216KB	88,080KB	87,808KB	84,576KB	82,208KB	84,320KB	87,632KB	2,648KB
	1,079,542行	1,159,469行	1,157,193行	1,199,133行	1,224,706行	1,129,837行	1,210,496行	1,206,842行	1,161,797行	1,128,763行	1,159,147行	1,204,024行	36,065行
NDBdpcBU	71,624KB	76,120KB	76,488KB	78,752KB	80,768KB	74,336KB	79,736KB	79,760KB	77,240KB	74,040KB	76,632KB	79,680KB	2,320KB
	905,921行	965,190行	967,519行	998,204行	1,021,910行	940,889行	1,010,489行	1,010,890行	970,979行	942,226行	973,731行	1,006,853行	29,904行
NDBdpcSB	406,720KB	435,888KB	437,680KB	448,784KB	457,472KB	425,448KB	456,352KB	457,920KB	447,568KB	431,976KB	447,184KB	460,872KB	14,328KB
	5,720,379行	6,130,256行	6,154,434行	6,310,134行	6,431,248行	5,981,939行	6,415,405行	6,437,473行	6,293,434行	6,073,654行	6,286,092行	6,478,507行	201,946行
NDBdpcSY	59,360KB	67,104KB	64,736KB	68,432KB	69,032KB	65,688KB	68,448KB	67,144KB	68,216KB	68,736KB	65,824KB	69,688KB	2,632KB
	871,193行	985,203行	950,074行	1,004,268行	1,013,365行	964,433行	1,004,742行	985,621行	1,001,555行	1,009,657行	966,865行	1,023,361行	38,656行
NDBdpcSI	1,646,000KB	1,823,216KB	1,787,616KB	1,869,352KB	1,915,816KB	1,727,736KB	1,913,168KB	1,889,256KB	1,849,528KB	1,883,432KB	1,780,616KB	1,893,136KB	68,488KB
	12,846,428行	13,928,813行	13,858,803行	14,394,660行	14,761,350行	13,447,888行	14,744,975行	14,643,922行	14,386,356行	14,176,640行	13,993,939行	14,676,285行	515,893行
NDBdpcIY	754,456KB	848,880KB	827,984KB	860,024KB	891,080KB	782,720KB	884,064KB	860,736KB	844,336KB	829,456KB	799,752KB	862,080KB	35,152KB
	6,154,701行	6,730,332行	6,674,349行	6,913,687行	7,151,474行	6,350,427行	7,110,610行	6,947,808行	6,846,001行	6,447,570行	6,540,485行	6,972,829行	276,276行
NDBdpcTO	176,888KB	203,080KB	196,200KB	206,056KB	212,440KB	184,680KB	215,896KB	209,480KB	195,136KB	207,680KB	196,848KB	207,320KB	14,104KB
	1,298,678行	1,445,154行	1,414,770行	1,486,254行	1,528,146行	1,342,876行	1,556,355行	1,511,075行	1,427,624行	1,453,513行	1,436,578行	1,506,236行	99,868行
NDBdpcCD	10,905,456KB	11,812,504KB	11,552,456KB	11,982,368KB	12,178,240KB	11,219,080KB	12,254,616KB	12,219,136KB	12,234,296KB	12,380,944KB	11,678,224KB	12,359,200KB	613,864KB
	124,383,946行	134,712,739行	131,752,730行	136,657,484行	138,891,787行	127,958,367行	139,766,754行	139,354,669行	139,507,685行	141,167,700行	133,179,488行	140,933,396行	6,981,242行

本分析ツールを用いて非定型的な集計・分析を行う際のデータの絞り込みの条件、分析軸、集計対象となる値は、以下のとおり。各項目の区分については、資料末尾を参照。

[絞り込みの条件 1](全集計共通)

- (1)都道府県
- (2)病院診療所
- (3)施設特性
- (4)DPC 対象準備病院
- (5)病床規模
- (6)入院 / (7)入院外
- (8)診療年月
- (9)年齢階級
- (10)傷病分類
- (11)保険種別 1 (協会けんぽ) / (12)保険種別 2 (組合健保) / (13)保険種別 3 (共済等) /
- (14)保険種別 4 (国保) / (15)保険種別 5 (後期高齢者医療制度) / (16)保険種別 6 (その他)
- (17)入院 1 日当たり点数階級
- (18)入院外 1 日当たり点数階級
- (19)入院 1 件当たり点数階級
- (20)入院外 1 件当たり点数階級

[絞り込みの条件 2](診療行為の集計時)

- (21)診療行為コード
- (22)解釈番号
- (23)加算か否かのフラグ
- (24)診療行為の点数単価 (任意の値以上の診療行為を指定できるようにすること) / (25)診療行為の点数単価 (任意の値未満の診療行為を指定できるようにすること)

[絞り込みの条件 3](医薬品の集計時)

- (26)医薬品コード
- (27)薬価基準 7 コード
- (28)後発品か否かのフラグ
- (29)後発のない先発品か否かのフラグ
- (30)先発品か否かのフラグ
- (31)同一剤形・規格の後発品がある先発品か否かのフラグ
- (32)同一薬効・成分の後発品がある先発品か否かのフラグ
- (33)医薬品の金額単価 (任意の値以上の医薬品を指定できるようにすること) / (34)医薬品の金額単価 (任意の値未満の医薬品を指定できるようにすること)

〔 絞り込みの条件 4 〕(特定器材の集計時)

(35) 特定器材コード

(36) 特定器材の金額単価 (任意の値以上の特定器材を指定できるようにすること) / (37) 特定器材の金額単価 (任意の値未満の特定器材を指定できるようにすること)

〔 絞り込みの条件 5 〕(ある診療報酬の算定状況を踏まえた集計時)

(38) ある診療報酬を算定していた施設 (ある診療報酬は任意で指定できるようにすること)

(39) ある診療報酬を算定していたレセプト (ある診療報酬は任意で指定できるようにすること)

(40) ある診療報酬の算定日と同日に他のある診療報酬を算定していたレセプト (ある診療報酬および他のある診療報酬は任意で指定できるようにすること)

〔 分析軸 1 〕(全集計共通)

(41) 上記の (1) ~ (20)

(42) 日数軸 (入院レセプト : 入院 1 日目...入院 31 日目以上、入院外レセプト : 日曜日...土曜日)

〔 分析軸 2 〕(診療行為の集計時)

(43) 診療行為コード、診療行為名称、解釈番号、加算か否かのフラグ、点数単価、きざみ値計算識別、きざみ値、きざみ点数単価

〔 分析軸 3 〕(医薬品の集計時)

(44) 医薬品コード、医薬品名称、薬価基準 7 コード、後発品、後発のない先発品、先発品、同一剤形・規格の後発品がある先発品、同一薬効・成分の後発品がある先発品、金額単価

〔 分析軸 4 〕(特定器材の集計時)

(45) 特定器材コード、特定器材名称、金額単価

〔 分析軸 5 〕(解釈番号単位の診療行為の集計時)

(46) 解釈番号

〔 分析軸 6 〕(薬価基準コード 7 桁単位の医薬品の集計時)

(47) 薬価基準 7 コード、後発品、後発のない先発品、先発品、同一剤形・規格の後発品がある先発品、同一薬効・成分の後発品がある先発品

〔 集計対象となる値 1 〕(レセプトベースの集計時)

(48) レセプトの件数 (分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に何らかの行為が行われたレセプトを抽出し、件数を集計)

(49) レセプトの診療実日数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に何らかの行為が行われたレセプトを抽出し、当該レセプトの診療実日数を集計）

(50) レセプトの合計点数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に何らかの行為が行われたレセプトを抽出し、当該レセプトの合計点数を集計）

〔集計対象となる値 2 〕(診療行為の集計時)

(51) レセプトの件数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、件数を集計）

(52) レセプトの診療実日数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、当該レセプトの診療実日数を集計）

(53) レセプトの合計点数

(54) 診療行為の算定日数

(55) 診療行為の算定数量

(56) 診療行為の算定基本回数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に算定された当該診療行為の算定基本回数を集計）

(57) 診療行為の算定きざみ回数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に算定された当該診療行為の算定きざみ回数を集計）

(58) 診療行為のマスタを用いて算出した算定基本点数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に算定された当該診療行為の算定基本点数を集計）

(59) 診療行為のマスタを用いて算出した算定きざみ点数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に算定された当該診療行為の算定きざみ点数を集計）

(60) 診療行為のマスタを用いて算出した算定点数（算定基本点数と算定きざみ点数の合計）

(61) 診療行為の請求点数を用いて算出した算定点数

〔集計対象となる値 3 〕(医薬品、特定器材の集計時)

(62) レセプトの件数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、件数を集計）

(63) レセプトの診療実日数（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院 31 日目以上あるいは日曜日…土曜日に当該診療行為が算定されたレセプトを抽出し、当該レセプトの診療実日数を集計）

(64) レセプトの合計点数

(65) 医薬品・特定器材の算定日数

(66) 医薬品・特定器材の算定使用量（分析軸で日数軸を指定した場合は、入院 1 日目…入院

31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該医薬品・特定器材の算定使用量を
集計)

(67) 医薬品・特定器材のマスタを用いて算出した算定金額(分析軸で日数軸を指定した場合は、
入院 1 日目...入院 31 日目以上あるいは日曜日...土曜日に算定された当該診療行為の
算定基本点数を集計)

(68) 医薬品・特定器材の請求金額を用いて算出した算定金額

〔集計対象となる値 4 〕(解釈番号単位の診療行為の集計時)

(69) レセプトの件数

(70) レセプトの診療実日数

(71) レセプトの合計点数

(72) 診療行為の算定日数

(73) 診療行為のマスタを用いて算出した算定点数

(74) 診療行為の請求点数を用いて算出した算定点数

〔集計対象となる値 5 〕(薬価基準コード 7 桁単位の医薬品の集計時)

(75) レセプトの件数

(76) レセプトの診療実日数

(77) レセプトの合計点数

(78) 医薬品・特定器材の算定日数

(79) 医薬品・特定器材のマスタを用いて算出した算定金額

(80) 医薬品・特定器材の請求金額を用いて算出した算定金額

〔集計対象となる値 6 〕(絞り込みの条件(40)による集計時は、上記に加え以下を集計)

(81) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為・医薬品・特定器材の同
日算定日数

(82) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定基本回数

(83) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定きざみ回数

(84) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定基本点数

(85) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある診療行為の同日算定きざみ点数

(86) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある医薬品・特定器材の同日算定使用
量

(87) ある診療報酬の算定日と同日に算定していた他のある医薬品・特定器材の同日算定金額

都道府県コード

コード	都道府県名
01	北海道
02	青森
03	岩手
04	宮城
05	秋田
06	山形
07	福島
08	茨城
09	栃木
10	群馬
11	埼玉
12	千葉
13	東京
14	神奈川
15	新潟
16	富山
17	石川
18	福井
19	山梨
20	長野
21	岐阜
22	静岡
23	愛知
24	三重
25	滋賀
26	京都
27	大阪
28	兵庫
29	奈良
30	和歌山
31	鳥取
32	島根
33	岡山
34	広島
35	山口
36	徳島
37	香川
38	愛媛
39	高知
40	福岡
41	佐賀
42	長崎

病院診療所コード

コード	病院診療所
1	病院
2	診療所
3	不明

施設特性コード

コード	施設特性
1	精神科病院
2	特定機能病院
3	療養病床を有する病院
4	一般病院
5	有床診療所
6	無床診療所
7	不明

DPC対象・準備病院コード

コード	DPC対象・準備病院
1	DPC対象・準備病院
2	DPC対象・準備病院以外の病院
3	不明

病床規模コード

コード	病床規模
1	19床以下
2	20～49床
3	50～99床
4	100～199床
5	200～299床
6	300～499床
7	500床以上
8	不明

入院コード

コード	入院
1	入院
0	入院以外

入院外コード

コード	入院以外
1	入院外
0	入院外以外

診療年月コード

コード	診療年月
201204	2012年4月
201205	2012年5月
201206	2012年6月
201207	2012年7月
201208	2012年8月
201209	2012年9月
201210	2012年10月
201211	2012年11月
201212	2012年12月
201301	2013年1月
201302	2013年2月
201303	2013年3月

年齢階級コード

コード	年齢階級
01	0-4歳
02	5-9歳
03	10-14歳
04	15-19歳
05	20-24歳
06	25-29歳
07	30-34歳
08	35-39歳
09	40-44歳
10	45-49歳
11	50-54歳
12	55-59歳
13	60-64歳
14	65-69歳
15	70-74歳
16	75-79歳
17	80-84歳
18	85歳-
19	不明

傷病分類コード

コード	傷病中分類名称
0101	腸管感染症
0102	結核
0103	主として性的伝播様式をとる感染症
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患
0105	ウイルス肝炎
0106	その他のウイルス疾患
0107	真菌症
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症
0201	胃の悪性新生物
0202	結腸の悪性新生物
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物
0206	乳房の悪性新生物
0207	子宮の悪性新生物
0208	悪性リンパ腫
0209	白血病
0210	その他の悪性新生物
0211	良性新生物及びその他の新生物
0301	貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
0401	甲状腺障害
0402	糖尿病
0403	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
0501	血管性及び詳細不明の認知症
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
0506	知的障害<精神遅滞>
0507	その他の精神及び行動の障害
0601	パーキンソン病
0602	アルツハイマー病
0603	てんかん
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群
0605	自律神経系の障害
0606	その他の神経系の疾患
0701	結膜炎
0702	白内障
0703	屈折及び調節の障害
0704	その他の眼及び付属器の疾患

保険種別1コード

コード	保険種別
1	協会けんぽ
0	協会けんぽ以外

保険種別2コード

コード	保険種別
1	組合健保
0	組合健保以外

保険種別3コード

コード	保険種別
1	共済等
0	共済等以外

保険種別4コード

コード	保険種別
1	国保
0	国保以外

保険種別5コード

コード	保険種別
1	後期高齢者医療制度
0	後期高齢者医療制度以外

保険種別6コード

コード	保険種別
1	その他
0	その他以外

コード	傷病中分類名称
0801	外耳炎
0802	その他の外耳疾患
0803	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患
0805	メニエール病
0806	その他の内耳疾患
0807	その他の耳疾患
0901	高血圧性疾患
0902	虚血性心疾患
0903	その他の心疾患
0904	くも膜下出血
0905	脳内出血
0906	脳梗塞
0907	脳動脈硬化(症)
0908	その他の脳血管疾患
0909	動脈硬化(症)
0910	痔核
0911	低血圧(症)
0912	その他の循環器系の疾患
1001	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕<感冒>
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症
1004	肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎
1006	アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息
1011	その他の呼吸器系の疾患
1101	う蝕
1102	歯肉炎及び歯周疾患
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎
1106	アルコール性肝疾患
1107	慢性肝炎(アルコール性のものを除く)
1108	肝硬変(アルコール性のものを除く)
1109	その他の肝疾患
1110	胆石症及び胆のう炎
1111	膵疾患
1112	その他の消化器系の疾患

コード	傷病中分類名
1201	皮膚及び皮下組織の感染症
1202	皮膚炎及び湿疹
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患
1301	炎症性多発性関節障害
1302	関節症
1303	脊椎障害(脊椎症を含む)
1304	椎間板障害
1305	頸腕症候群
1306	腰痛症及び坐骨神経痛
1307	その他の脊柱障害
1308	肩の傷害<損傷>
1309	骨の密度及び構造の障害
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患
1402	腎不全
1403	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患
1405	前立腺肥大(症)
1406	その他の男性生殖器の疾患
1407	月経障害及び閉経周辺期障害
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患
1501	流産
1502	妊娠高血圧症候群
1503	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠、分娩及び産後
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害
1602	その他の周産期に発生した病態
1701	心臓の先天奇形
1702	その他の先天奇形、変形及び染色体異常
1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
1901	骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷
1903	熱傷及び腐食
1904	中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響
9999	傷病分類表において「傷病(中分類)」の分類対象外となるICD10コードであったコード
NULL	未コード化傷病名、その他傷病名マスタに存在しないコード

入院1日当たり点数階級コード

コード	点数階級
01	500点未満
02	500点以上1000点未満
03	1000点以上1500点未満
04	1500点以上2000点未満
05	2000点以上2500点未満
06	2500点以上3000点未満
07	3000点以上3500点未満
08	3500点以上4000点未満
09	4000点以上4500点未満
10	4500点以上5000点未満
11	5000点以上5500点未満
12	5500点以上6000点未満
13	6000点以上6500点未満
14	6500点以上7000点未満
15	7000点以上7500点未満
16	7500点以上8000点未満
17	8000点以上8500点未満
18	8500点以上9000点未満
19	9000点以上9500点未満
20	9500点以上10000点未満
21	10000点以上10500点未満
22	10500点以上11000点未満
23	11000点以上11500点未満
24	11500点以上12000点未満
25	12000点以上12500点未満
26	12500点以上13000点未満
27	13000点以上13500点未満
28	13500点以上14000点未満
29	14000点以上14500点未満
30	14500点以上15000点未満
31	15000点以上
NULL	該当無し

入院外1日当たり点数階級コード

コード	点数階級
01	100点未満
02	100点以上200点未満
03	200点以上300点未満
04	300点以上400点未満
05	400点以上500点未満
06	500点以上600点未満
07	600点以上700点未満
08	700点以上800点未満
09	800点以上900点未満
10	900点以上1000点未満
11	1000点以上1100点未満
12	1100点以上1200点未満
13	1200点以上1300点未満
14	1300点以上1400点未満
15	1400点以上1500点未満
16	1500点以上1600点未満
17	1600点以上1700点未満
18	1700点以上1800点未満
19	1800点以上1900点未満
20	1900点以上2000点未満
21	2000点以上2100点未満
22	2100点以上2200点未満
23	2200点以上2300点未満
24	2300点以上2400点未満
25	2400点以上2500点未満
26	2500点以上2600点未満
27	2600点以上2700点未満
28	2700点以上2800点未満
29	2800点以上2900点未満
30	2900点以上3000点未満
31	3000点以上
NULL	該当無し

入院1件当たり点数階級コード

コード	点数階級
01	10000点未満
02	10000点以上20000点未満
03	20000点以上30000点未満
04	30000点以上40000点未満
05	40000点以上50000点未満
06	50000点以上60000点未満
07	60000点以上70000点未満
08	70000点以上80000点未満
09	80000点以上90000点未満
10	90000点以上100000点未満
11	100000点以上110000点未満
12	110000点以上120000点未満
13	120000点以上130000点未満
14	130000点以上140000点未満
15	140000点以上150000点未満
16	150000点以上160000点未満
17	160000点以上170000点未満
18	170000点以上180000点未満
19	180000点以上190000点未満
20	190000点以上200000点未満
21	200000点以上210000点未満
22	210000点以上220000点未満
23	220000点以上230000点未満
24	230000点以上240000点未満
25	240000点以上250000点未満
26	250000点以上260000点未満
27	260000点以上270000点未満
28	270000点以上280000点未満
29	280000点以上290000点未満
30	290000点以上300000点未満
31	300000点以上
NULL	該当無し

入院外1件当たり点数階級コード

コード	点数階級
01	250点未満
02	250点以上500点未満
03	500点以上750点未満
04	750点以上1000点未満
05	1000点以上1250点未満
06	1250点以上1500点未満
07	1500点以上1750点未満
08	1750点以上2000点未満
09	2000点以上2250点未満
10	2250点以上2500点未満
11	2500点以上2750点未満
12	2750点以上3000点未満
13	3000点以上3250点未満
14	3250点以上3500点未満
15	3500点以上3750点未満
16	3750点以上4000点未満
17	4000点以上4250点未満
18	4250点以上4500点未満
19	4500点以上4750点未満
20	4750点以上5000点未満
21	5000点以上5250点未満
22	5250点以上5500点未満
23	5500点以上5750点未満
24	5750点以上6000点未満
25	6000点以上6250点未満
26	6250点以上6500点未満
27	6500点以上6750点未満
28	6750点以上7000点未満
29	7000点以上7250点未満
30	7250点以上7500点未満
31	7500点以上
NULL	該当無し

研究成果の刊行に関する一覧表

特になし